

第3回いなべ市総合計画審議会事項書  
(第2次いなべ市総合戦略総合計画第2期基本計画策定)

日時 令和元年10月10日(木)  
午後2時から1時間程度  
場所 いなべ市役所 議会棟  
2階 第1委員会室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 説明及び審議事項

(1) スケジュールについて 資料1

(2) アンケート調査報告(一般・中学生・事業所)について 資料2(別冊)

(3) 総合計画第2期基本計画・第2期総合戦略の施策体系について 資料3

4. 意見交換

5. 次回の会議について

令和元年11月26日(火) 午後2時から いなべ市役所議会棟2階第1委員会室

6. 閉会

# 総合計画審議委員名簿

(敬称略)

| 大 分 野 | 小 分 野    | 氏 名    | 役 職 等              |
|-------|----------|--------|--------------------|
| 有識者   | 学識経験者    | ◎丸山 康人 | 四日市看護医療大学学長        |
| 有識者   | 学識経験者    | ○中澤 政直 | 中澤会計事務所所長          |
| 生活基盤  | 市民協働     | 田中 佳奈  | いなべ市民活動センター        |
| 生活基盤  | 地域コミュニティ | 近藤 忠彦  | いなべ市自治会連合会 会長      |
| 生活基盤  | 防災・防犯    | 神谷 清   | いなべ市消防団 団長         |
| 保健福祉  | 地域福祉     | 岩花 まつ子 | 員弁地区民生委員児童委員協議会    |
| 保健福祉  | 高齢者      | 福本 美津子 | 社会福祉法人モモ 理事長       |
| 保健福祉  | 障がい者     | 中村 弘樹  | 障がい者総合相談支援センターそういん |
| 保健福祉  | 人権       | 二井 加代子 | 員弁地区更生保護女性会        |
| 保健福祉  | 地域医療     | 相田 直隆  | いなべ総合病院 院長         |
| 保健福祉  | 子育て      | 小林 久里子 | NPO法人こどもぱれっと       |
| 産業    | 農業       | 伊藤 和雄  | いなべ市農業委員会 会長       |
| 産業    | 商工業      | 伊藤 由佳  | いなべ市商工会            |
| 産業    | 観光       | 佐藤 忠生  | いなべ市観光協会 会長        |
| 産業    | 労働       | 小川 好彦  | 連合三重桑員地域協議会        |
| 産業    | 金融       | 川上 修   | 百五銀行員弁支店長兼阿下喜出張所長  |
| 教育文化  | 教育       | 水貝 和代  | いなべ市教育委員           |
| 教育文化  | 文化・芸術    | 弓矢 孝己  | いなべ市芸術文化協会 会長      |
| 教育文化  | スポーツ     | 山本 たか代 | スポーツ推進委員           |
| 教育文化  | 青少年      | 小川 時生  | いなべ市子ども会連合会        |

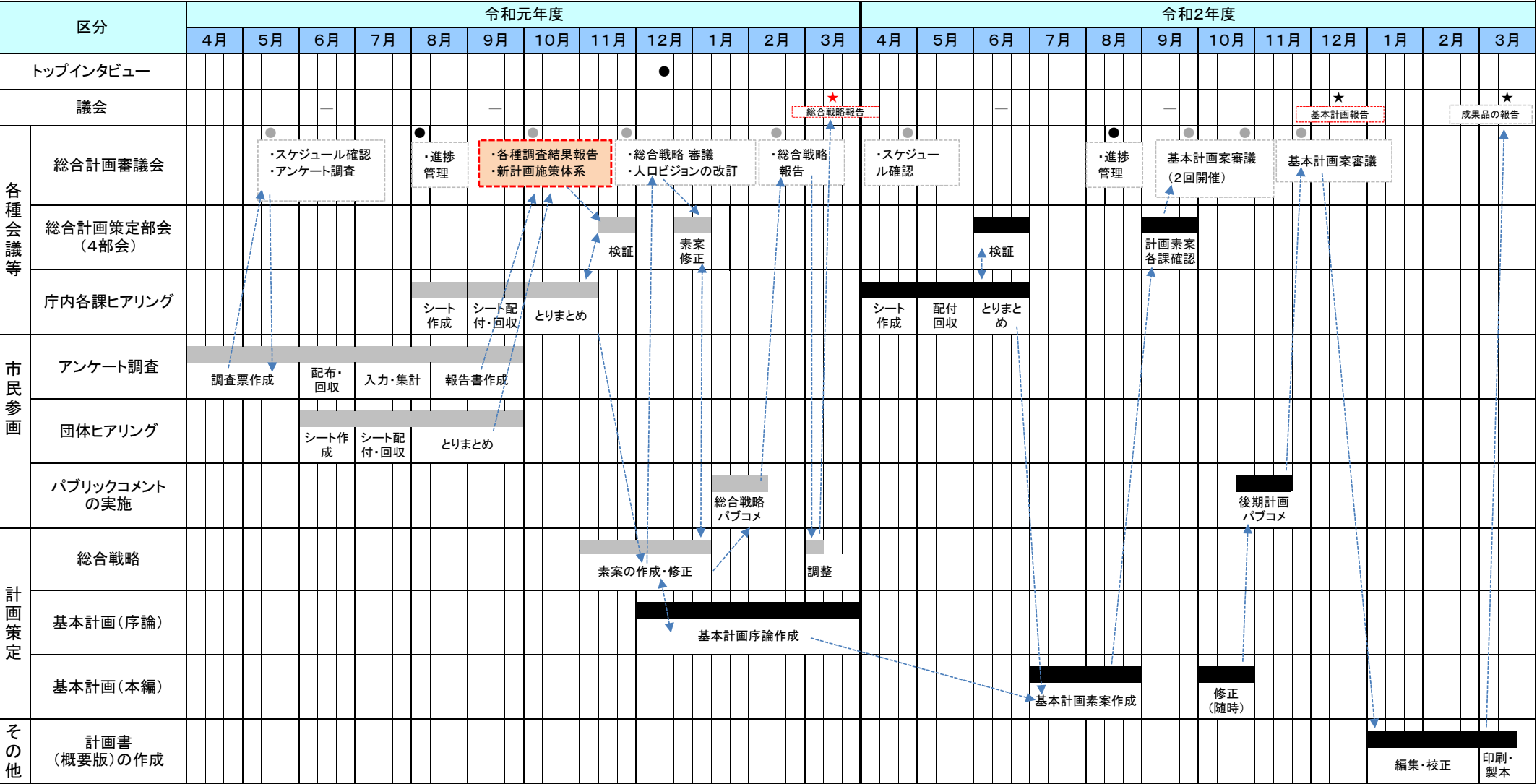
◎：会長、○：副会長

# 第3回 いなべ市総合計画審議会 座席表

|        |  |       |        |        |  |
|--------|--|-------|--------|--------|--|
| 会長席    |  | 副会長席  |        |        |  |
| 丸山 康人  |  | 中澤 政直 |        |        |  |
| 伊藤 和雄  |  |       | 田中 佳奈  | 傍聴席    |  |
| 伊藤 由佳  |  |       | 近藤 忠彦  |        |  |
| 佐藤 忠生  |  |       | 神谷 清   |        |  |
| 小川 好彦  |  |       | 岩花 まつ子 |        |  |
| 川上 修   |  |       | 福本 美津子 |        |  |
| 水貝 和代  |  |       | 中村 弘樹  |        |  |
| 弓矢 孝己  |  |       | 二井 加代子 |        |  |
| 山本 たか代 |  |       | 相田 直隆  |        |  |
| 小川 時生  |  |       | 小林 久里子 |        |  |
| 舘 康平   |  |       | 二井 春樹  | 東松 大司  |  |
| 岡本 浩一  |  |       | 種村 明広  | 佐藤 祐孝  |  |
| 鈴木 信   |  |       | 服部 郁夫  | 堀田 彰宏  |  |
| 水谷 喜広  |  |       | 小林 幸次  | 小林 真歩  |  |
| 水谷 浩   |  |       | 佐野 英明  |        |  |
| オブザーバー |  | 相馬 雅史 | 吉田 桂治  | 長崎 十九八 |  |

第2次いなべ市総合戦略・第2次いなべ総合計画後期基本計画 スケジュール（案）

資料1



令和元年 いなべ市総合計画審議会 会議開催予定

| 回数  | 日程            | 時間     | 場所                          |
|-----|---------------|--------|-----------------------------|
| 第1回 | 令和元年 5月16日(木) | 午後2時から | いなべ市役所 シビックコア 1階 研修室1       |
| 第2回 | 令和元年 8月 8日(木) | 午後2時から | いなべ市役所 議会棟 2階 第1委員会室        |
| 第3回 | 令和元年10月10日(木) | 午後2時から | いなべ市役所 議会棟 2階 第1委員会室        |
| 第4回 | 令和元年11月26日(火) | 午後2時から | <u>いなべ市役所 議会棟 2階 第1委員会室</u> |
| 第5回 | 令和2年 2月18日(火) | 午後2時から | <u>いなべ市役所 議会棟 2階 第1委員会室</u> |

審議会の日程は、本日現在の予定であり、変更になる場合があります。変更の場合は、ご連絡いたします。

また、毎回、開催前に開催通知によりご連絡させていただきます。

欠席の際は、お電話でご連絡ください。

# 第2次いなべ市総合戦略・第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定のための

## まちづくり市民満足度調査報告書

---

〈一般調査、中学生調査、事業所調査〉

令和元年 10 月  
いなべ市



## 【目次】

|                         |    |
|-------------------------|----|
| I 調査結果のまとめ              | 7  |
| 1. 一般市民調査               | 8  |
| （1）いなべ市の誇り・魅力、住み心地      | 8  |
| （2）いなべ市のイメージ            | 8  |
| （3）まちづくりの重要度、満足度について    | 8  |
| （4）理想の子どもの数について         | 9  |
| （5）日常生活                 | 9  |
| （6）まちづくりへの参加意識          | 9  |
| （7）幸せについて               | 9  |
| 2. 中学生調査                | 9  |
| （1）いなべ市のイメージ            | 9  |
| （2）いなべ市の誇り・魅力、住み心地      | 10 |
| （3）将来のまちへの期待            | 10 |
| （4）学校や地域での生活            | 10 |
| （5）幸せについて               | 10 |
| 3. 事業者調査                | 10 |
| （1）企業活動上の地域環境について       | 10 |
| （2）今後の企業活動に必要なことについて    | 11 |
| （3）環境問題への取り組みについて       | 11 |
| （4）誰もが働きやすい環境づくりについて    | 11 |
| （5）情報化について              | 11 |
| （6）地域活動等について            | 11 |
| II 一般市民調査               | 13 |
| 1 あなたご自身について            | 14 |
| 1－（1）性別について             | 14 |
| 1－（2）年齢について             | 14 |
| 1－（3）居住地について            | 15 |
| 1－（4）職業について             | 15 |
| 1－（5）通勤先について            | 16 |
| 1－（6）居住年数について           | 16 |
| 1－（7）家族構成について           | 16 |
| 1－（8）居住形態について           | 17 |
| 2 いなべ市のまちづくりについて        | 18 |
| 2－（1）愛着・親しみについて         | 18 |
| 2－（2）住みやすさについて          | 20 |
| 2－（3）住みやすいと感じる理由について    | 24 |
| 2－（4）住みにくいと感じる理由について    | 25 |
| 2－（5）今後の希望について          | 26 |
| 2－（6）移り住みたい理由           | 28 |
| 2－（7）移り住みたい理由           | 29 |
| 2－（8）市のイメージについて         | 30 |
| 2－（9）市の将来について           | 32 |
| 2－（8）理想の子どもの数について       | 34 |
| 2－（9）実際の子どもの数について       | 34 |
| 2－（10）まちづくりの重要度・満足度について | 35 |
| 2－（11）出かける場所について        | 38 |

|                                        |           |
|----------------------------------------|-----------|
| 2-（12）交通手段について.....                    | 40        |
| 3 協働のまちづくりについて.....                    | 42        |
| 3-（1）市のあり方について.....                    | 42        |
| 3-（2）まちづくり活動への市民参加について.....            | 43        |
| 3-（3）どの機会に参加したいかについて.....              | 44        |
| 3-（4）参加できない要因について.....                 | 45        |
| 4 幸福感について.....                         | 46        |
| 4-（1）幸福度について.....                      | 46        |
| 4-（2）幸せであるために重要なことについて.....            | 48        |
| <b>Ⅲ 中学生調査.....</b>                    | <b>49</b> |
| （1）性別について.....                         | 50        |
| （2）住まいについて.....                        | 50        |
| （3）いなべ市のイメージについて.....                  | 51        |
| （4）いなべ市が誇れるもの・魅力について.....              | 56        |
| （5）いなべ市への愛着や親しみについて.....               | 57        |
| （6）いなべ市での住みやすさについて.....                | 58        |
| （7）住みやすい理由について.....                    | 59        |
| （8）住みにくい理由について.....                    | 62        |
| （9）いなべ市での永住について.....                   | 63        |
| （10）いなべ市の将来について.....                   | 64        |
| （11）学校や地域での生活について.....                 | 66        |
| （12）幸福度について.....                       | 70        |
| （13）幸せであるため重要だと思うことについて.....           | 72        |
| <b>Ⅳ 事業所調査.....</b>                    | <b>75</b> |
| 1 事業所について.....                         | 76        |
| 1-（1）事業所について.....                      | 76        |
| 1-（2）従業員数について.....                     | 76        |
| 1-（3）事業所の業種について.....                   | 77        |
| 2 企業活動上の地域環境について.....                  | 78        |
| 2-（1）企業活動について.....                     | 78        |
| 2-（2）企業活動上でいなべ市の良い面について.....           | 79        |
| 3 今後の企業活動に必要なことについて.....               | 81        |
| 3-（1）企業経営について.....                     | 81        |
| 3-（2）必要な交通基盤の整備について.....               | 82        |
| 3-（3）事業所周辺に必要な整備について.....              | 83        |
| 4 環境問題への取り組みについて.....                  | 84        |
| 4-（1）環境問題への取り組みについて.....               | 84        |
| 5 誰もが働きやすい環境づくりについて.....               | 85        |
| 5-（1）少子・高齢化を踏まえた誰もが働きやすい環境づくりについて..... | 85        |
| 6 情報化について.....                         | 86        |
| 6-（1）企業活動や産業発展に役立つ情報化の方向性について.....     | 86        |
| 7 地域活動等について.....                       | 87        |
| 7-（1）地域活動等への取り組み状況.....                | 87        |
| 7-（2）取り組んでいる地域活動等について.....             | 88        |
| 7-（3）事業所の福利厚生施設や人材との交流について.....        | 89        |

## <調査概要>

本調査は、第2次いなべ市総合戦略・第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定のための基礎資料として実施しました。

- ・調査地域 : いなべ市全域
- ・調査対象者 : 18歳以上の方 3,000人（無作為抽出）  
: 市内の中学2年生（悉皆調査）  
: いなべ市内の69事業所（無作為抽出）
- ・調査期間 : 18歳以上の方〈令和元年5月30日～6月21日〉  
: 市内の中学2年生〈令和元年7月1日～7月19日〉  
: 事業所〈令和元年7月3日～7月19日〉
- ・調査方法 : 18歳以上の方 郵送配布・回収  
: 市内の中学2年生 学校を通じた配布回収  
: 郵送配布・回収

### ■配布回収数

|           | 配布数   | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 18歳以上の方   | 3,000 | 1,446 | 48.2% |
| 中学2年生     | 388   | 374   | 96.4% |
| いなべ市内の事業所 | 69    | 47    | 68.1% |

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。



# I 調査結果のまとめ

---

## 1. 一般市民調査

### (1) いなべ市の誇り、魅力、住み心地

---

○市民の6割強の人が、「いなべ市に自分のまちといった愛着・親しみを感じている」と回答しています。今後も市民のいなべ市への愛着を喚起するとともに、「感じていない」「どちらともいえない」と回答している4割弱の層に対しても愛着や親しみを感じてもらえる施策の展開が必要です。また、前回調査と比べて同様の傾向がみられますが、「感じている」がわずかに減少し、年齢別では「30歳代」「40歳代」で「感じている」がやや増加し、「感じていない」がやや減少しています。一方で「50歳代以上」では、「感じている」がやや減少し、「感じていない」がやや増加しており、若い世代の割合がやや増加、高齢世代がやや減少という傾向がみられます。

○市民の7割弱の人が『住みやすい』と感じていますが、平成26年調査と比較すると『住みやすい』と感じる人は約4.5%減少しています。年齢別にみると、50歳代で『住みやすい』と回答した割合が低くなっており、幅広い世代に住みやすいと感じてもらえるような取り組みが求められています。また、前回調査と年齢別で比べると、18～40歳代までの各年代で『住みやすい』がやや増加し、50歳代以上の年代で『住みやすい』がやや減少しており、若い世代の割合がやや増加、高齢世代がやや減少という傾向がみられます。

○住みよさの理由は「自然に恵まれているから」「友人・知人が多いから」の割合が高くなっており、自然環境と地域における地縁の強さをまちの利点と感じている市民が多くなっています。一方で、住みにくい理由は「交通事情や交通の便が良くないから」「通勤・通学に不便だから」「買い物に不便だから」となっており、周辺地域や市内での移動が円滑に行えるよう、今後も道路網や公共交通機関の整備が求められています。

○市民の約6割の人がこれからも「ずっと住み続けたい」と回答しており、「他市に移り住みたい」は8.0%となっています。しかしながら、若い世代や居住年数が少ない層では「ずっと住み続けたい」の割合が他と比べて低く、男性と比べて女性の回答の割合も低くなっています。若い世代や女性に対する定住促進の施策が求められています。また、他市に移り住みたいと回答した人の理由をみると「利便性の高い地域で住環境を良くするため」「高齢期にも住みやすい住宅・環境にするため」の割合が高くなっており、どのような条件を整えばこれからも住み続けたいかについては、「交通・通勤の利便性のよさ」が67.8%と最も高く、次いで「日ごろの買い物などの便利さ」への回答がそれぞれ5割を超えて高くなっています。こうした意見に対応するとともに、広域連携の視点も含めて、いなべ市におけるライフスタイルの在り方について市民との共通認識を築き上げていく必要があります。

---

### (2) いなべ市のイメージ

---

○市民の市に対するイメージでは、『保育・教育に積極的な子育てしやすいまち』『スポーツと健康づくりを推進するまち』『伝統や歴史を感じる文化の香り高いまち』『自然と都市機能が調和しているまち』で、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が3割を超えており、保健・教育、健康づくり、伝統・歴史、自然等へのイメージが強いことがうかがえます。

○将来どのようなまちになってほしいかでは、「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」「医療や福祉が充実したまち」「若者にとって魅力的なまち」の割合が高くなっているため、健康づくりや生きがいづくりの推進や、若者が住み、活躍できるまちづくりが求められています。

---

### (3) まちづくりの重要度、満足度について

---

○重要度は、『医療体制の充実』『ゴミ（リサイクル）・し尿処理』『交通機関の利便性』『高齢者福祉体制の充

実』『防犯対策の充実』『防災対策の充実』『交通安全対策（信号・標識・街灯など）の充実』で、「重要である」と「まあ重要である」を合わせた『重要である』が8割を超えています。

○満足度は、『上水道の整備』『下水道の整備』『ゴミ（リサイクル）・し尿処理』で、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が5割を超えています。

---

#### （４）理想の子どもの数について

○理想の子どもの数は、全体では「２人」が最も高く46.6%、次いで「３人」が40.9%、回答者の平均は2.44人となっています。一方で、実際の子どもの数については回答者の平均が2.15人となっており、理想の子どもの数がかなえられるよう、多面的な子育て支援策が必要となります。

---

#### （５）日常生活

○日常的な買い物や医療関係、体育施設の利用については、ほぼいなべ市内で行動されています。一方、娯楽施設や行楽、高級衣料品や電化製品、家具などの購入については、主に桑名市に出かけているという結果となっています。市内においても、ある程度これらの目的を満たせるようにしていくことが必要です。

○前回調査と比較すると、「通勤通学」を除き、いずれの行動も微減しています。

○頻繁に利用する交通手段は、自家用車が最も多くなっています。また、鉄道の割合が3割と前回調査時から倍増しています。

---

#### （６）まちづくりへの参加意識

○これからのいなべ市のまちづくりのあり方としては、6割強の人が市民と行政が協力してまちづくりを進めるべきと考えています。また、3割強の人が何らかの形でまちづくりに参加したいと考えているため、市民協働を推進し、市民のまちづくりへの意識を醸成しながら、取り組みを進めていくことが求められています。

○どのような機会に参加したいかでは、市民の6割弱の人が自治会などの地域活動への参加を通じて関わりたいと考えており、地域における多様な活動への参加がしやすい環境を整備していくことが必要です。

○仕事が忙しくて参加する時間がない人が5割弱と最も高くなっており、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進とともに、それぞれの活動の参加しやすい曜日や時間の設定も必要となっています。

---

#### （７）幸せについて

○10点を満点とした幸せの程度は、平均で6.67点となっています。前回調査は6.78点となっており0.11点の減少がみられています。

○市民の7割前後の人が、幸せのためには「自分や家族の健康状況」や「家計（所得・消費）の状況」「家族関係」が重要と回答しています。市民の幸福感を高められるよう、他分野における施策の推進が必要です。

## 2. 中学生調査

---

#### （１）いなべ市のイメージ

○「明るいまちである」「住みよい（住みやすそうな）まちである」「ふれあいや連帯感のあるあたたかなまちである」「清潔なまちである」「郷土に誇りを持っているまちである」「活気のあるまちである」で「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』が6割を超えています。一方で、「素朴なまちである」「特色の

あるまちである」で「さほど思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が1割を超えています。地区別でみると、藤原地区で『思う』の割合が全体的に高くなっています。また、前回調査と比べると、全体的に「強くそう思う」が高くなっており、中でも「明るいまちである」「ふれあいや連帯感のあるあたかなまちである」「郷土に誇りを持っているまちである」「特色のあるまちである」は、20 ポイント以上高くなっています。

---

#### (2) いなべ市の誇り・魅力、住み心地

- 誇り・魅力と思うものは、お茶、いなべ公園、青川峡キャンプパークとなっており、性別では、男性が「青川峡キャンプパーク」、女性が「お茶」がそれぞれ最も高くなっています。
  - 中学生の約7割の人が、いなべ市に愛着や親しみを感じていると回答しており、前回調査と比較すると「感じている」が12.1 ポイント高くなっています。また、いなべ市の住みやすさについては、7割以上が「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答しており、前回調査と比べると「とても住みやすい」が16.5 ポイント高くなっています。
  - 住みよさの理由は「豊かな自然に恵まれているところ」、住みにくい理由は「買い物と交通が不便なところ」となっています。将来もいなべ市に『住みたい』と思っている人は3割となっており、若者が住み続けたいと思うまちづくりを行っていくことが必要です。
- 

#### (3) 将来のまちへの期待

- 将来のまちへの期待では、「活気のあるにぎやかなまち」「防災、防犯体制が整った安全なまち」「自然と都市機能が調和しているまち」という回答が多くなっています。自然と都市機能の調和を保ちながら、安心安全で活気があり若者が魅力を感じるまちづくりを行っていくことが求められています。
- 

#### (4) 学校や地域での生活

- 中学生の8割強の人が、学校生活は楽しいかについて「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。
  - 「地域の祭りや行事を楽しみにしている」「日ごろから、家族とよく話をしている」について「そう思う」「ややそう思う」の割合は6割を超えています。
  - 前回調査と比べると、全ての項目で『思う』の割合が高くなっています。
- 

#### (5) 幸せについて

- 10点を満点とした幸せの程度は、平均で、7.41点となっています。一般調査の平均点は6.67点となっており、中学生の幸福感が高いことがうかがえます。また、中学生の約2割が、10点（現在「とても幸せ」）と回答しています。前回調査と比べると平均点は0.35点高くなっています。
  - 幸せであるために重要だと思うこととして「友人関係」「健康」「自由な時間」の割合が高くなっています。
- 

## 3. 事業者調査

#### (1) 企業活動上の地域環境について

- 前回調査と比べると事業所の規模は「30～49人」及び「100～299」の割合が高く、「0～4人」「5～9人」の割合が低くなっています。業種は「製造業」が85.1%と53.5ポイント高くなっています。事業所

の規模、業種が前回調査と異なるため、回答の経年変化に影響があることが予測されます。

○いなべ市が企業活動しやすい地域かどうかについて前々回調査と比較すると、「企業活動が行いやすい」と「どちらかといえば企業活動が行いやすい」を合わせた『企業活動が行いやすい』と思う事業所は平成26年の37.9%から令和元年では53.2%に増加しています。

○いなべ市の良い面の「地価や人件費が安い」「交通が便利である」が高くなっています。「地価や人件費が安い」については、前回調査の5.3%から36.2%に大幅に増加しました。一方で、悪い面として「従業員の確保が難しい」が前回調査の21.1%から72.3%と大幅に増加しており、景気の動向が回答の割合の変化に影響を及ぼしていることがうかがえます。

---

#### （２）今後の企業活動に必要なことについて

---

○今後、事業所は「物流の効率化」や「新技術の開発・導入」に取り組む必要があると考えており、特に「物流の効率化」は前回調査から70%近く増加し、必要性が高くなっています。

○今後の交通基盤について、「公共交通（鉄道、バス）」「高速道路」の割合が高くなっています。特に「公共交通（鉄道、バス）」は前回調査から大きく増加しており、必要性が高まっています。

○事業所周辺には、「商店街やショッピングセンター」「保育園・幼稚園や小・中・高等学校」「住宅や宅地」「スポーツ・レクリエーション施設」が前回調査と比べて増加しています。

---

#### （３）環境問題への取り組みについて

---

○環境問題への取り組みについては「エネルギーの節減」「産業廃棄物（事業所ごみ）の減量・活用及びその技術開発」が高くなっています。一方で「地域における環境保全活動の実施、協力」が減少しており、事業所の環境問題についての意識の向上を促進する必要があります。

---

#### （４）誰もが働きやすい環境づくりについて

---

○働きやすい環境づくりについては、「定年延長や女性等の再雇用の普及」「育児、介護、家事等に対する支援」「外国人労働者の就業環境の整備」が高くなっています。前回調査と比べると、「外国人労働者の就業環境の整備」の増加が大きくなっており、外国人の労働環境を充実する必要があります。

---

#### （５）情報化について

---

○情報化については、「企業が情報化を進めることに対する技術的・財政的支援」「光ファイバー網など情報通信基盤の整備」の割合が高くなっています。前回調査と比較すると「光ファイバー網など情報通信基盤の整備」の割合が大きく増加しています。

---

#### （６）地域活動等について

---

○地域活動等には7割強の事業所が取り組んでおり、前回調査時より2割程度増加しています。活動内容は、「清掃・美化」が最も多く5割を超え、次いで「交通安全・防犯」「ごみ・リサイクル」の活動が多くなっています。

○施設の市民利用や市民との連携が可能なのは15%程度となっており、前回調査よりも10%ほど増加しています。

---



## II 一般市民調査

---

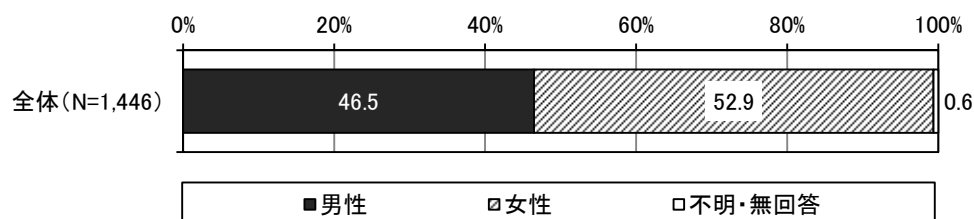
# 1 あなたご自身について

## 1－（１）性別について

### 問1 あなたの性別をお答えください。（いずれかに○）

性別は、全体で「男性」が46.5%、「女性」が52.9%となっています。

（単数回答）



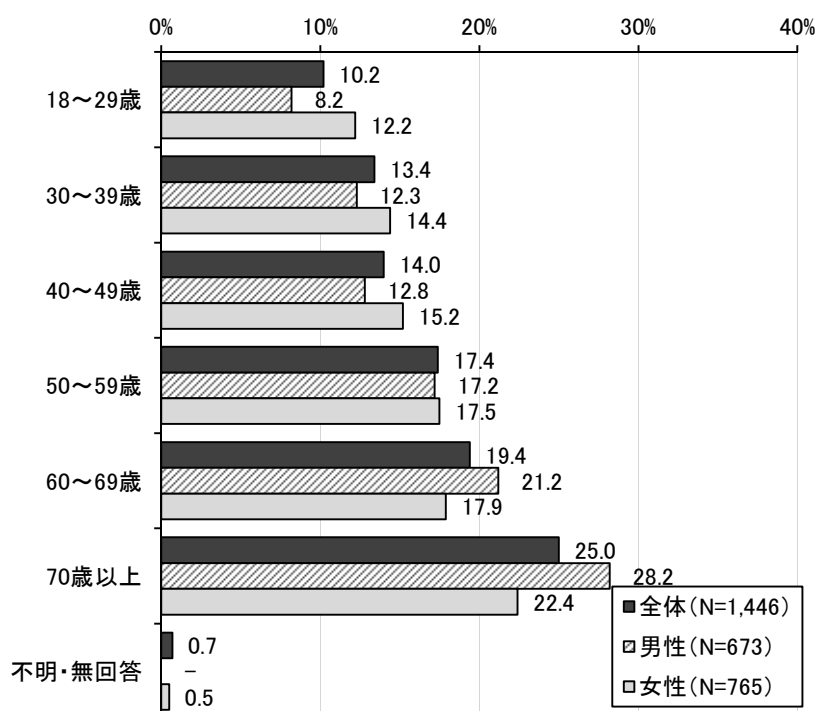
## 1－（２）年齢について

### 問2 あなたは何歳ですか。（数字を記入）

年齢は、全体で「70 歳以上」が 25.0%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 19.4%、「50～59 歳」が 17.4%となっています。

性別では、男性で「70 歳以上」が 28.2%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 21.2%、「50～59 歳」が 17.2%、女性で「70 歳以上」が 22.4%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 17.9%、「50～59 歳」が 17.5%となっています。

（数量回答）

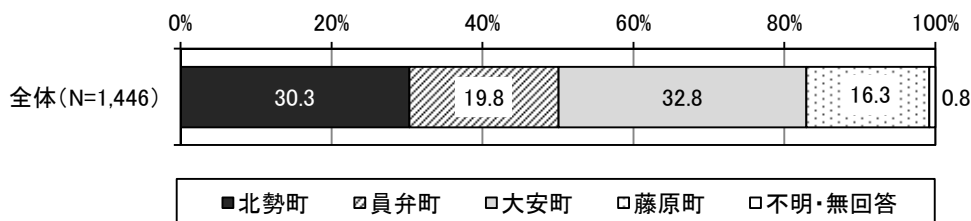


## 1－（3）居住地について

### 問3 あなたがお住まいの町はどちらですか。（〇は1つ）

居住地は、全体で「大安町」が32.8%と最も高く、次いで「北勢町」が30.3%、「員弁町」が19.8%、「藤原町」が16.3%となっています。

（単数回答）



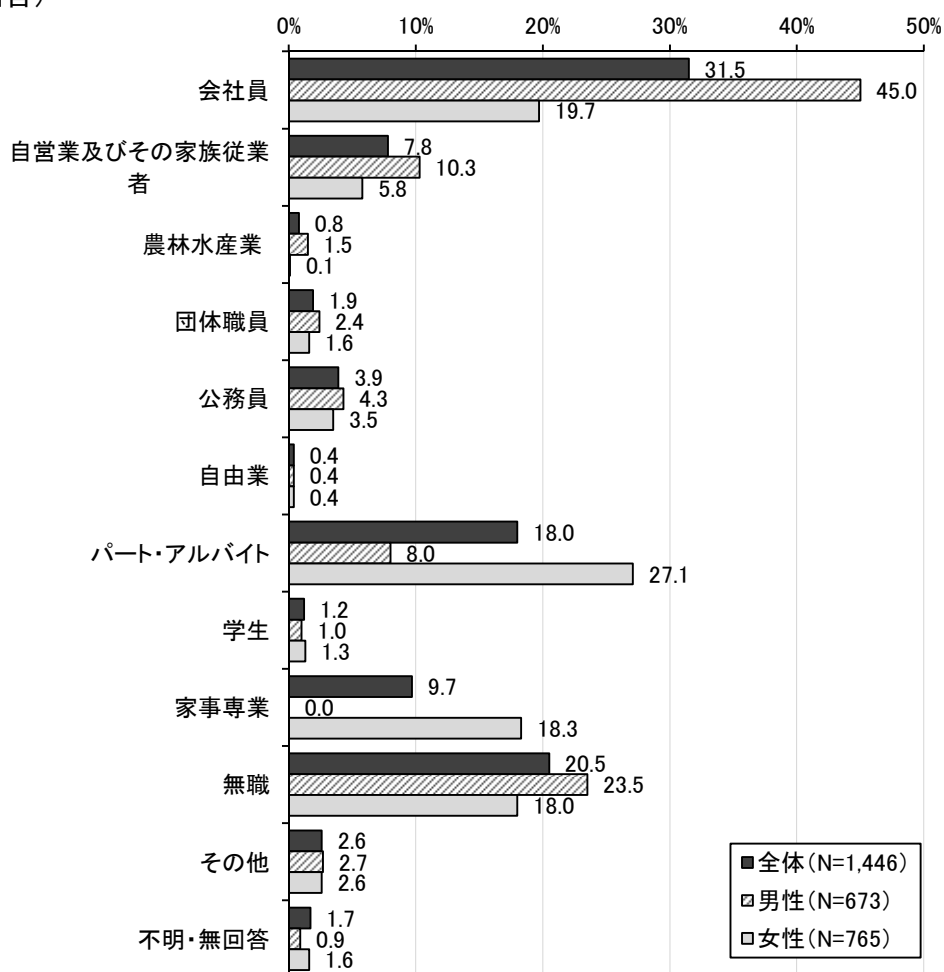
## 1－（4）職業について

### 問4 あなたのご職業を教えてください。（〇は1つ）

職業は、全体で「会社員」が31.5%と最も高く、次いで「無職」が20.5%、「パート・アルバイト」が18.0%となっています。

性別では、男性で「会社員」が45.0%と最も高く、次いで「無職」が23.5%、「自営業」が10.3%、女性で「パート・アルバイト」が27.1%と最も高く、次いで「会社員」が19.7%、「家事専業」が18.3%となっています。

（単数回答）



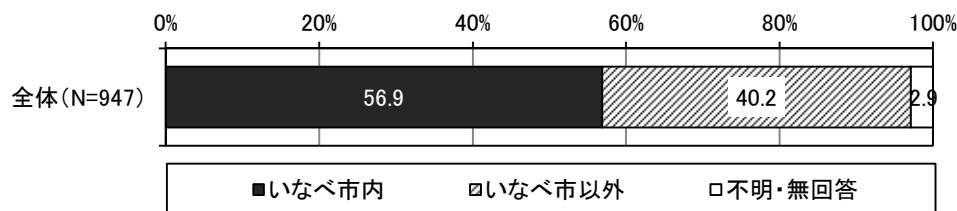
## 1－（５）通勤先について

<問4で「1」～「8」と回答した方におたずねします。>

**問5** あなたの通勤(または通学)先はどちらですか。(いずれかに○)

通勤先は、全体で「いなべ市内」が56.9%、「いなべ市以外」が40.2%となっています。

(単数回答)



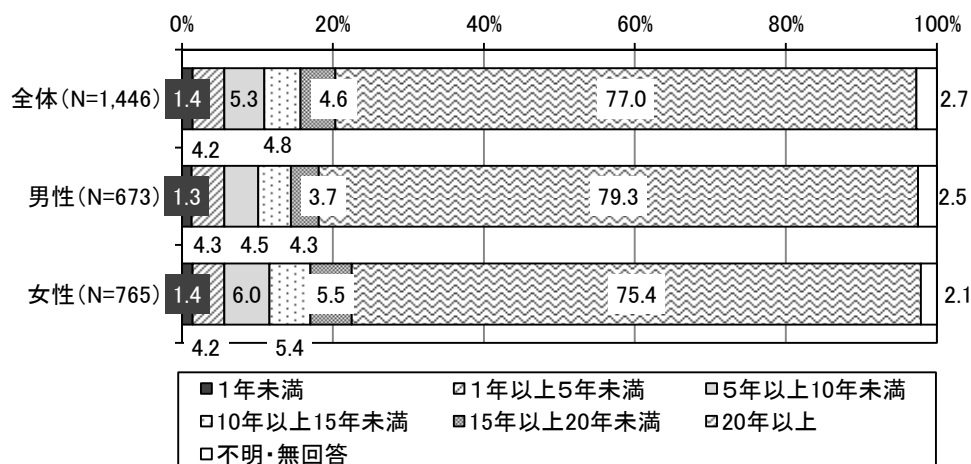
## 1－（６）居住年数について

**問6** あなたのいなべ市での居住年数をお答えください。※合併前の旧町での居住年数を含む(○は1つ)

居住年数は、全体で「20 年以上」が77.0%と最も高く、次いで「5 年以上 10 年未満」が5.3%、「10 年以上 15 年未満」が4.8%となっています。

男女別では、男女ともに「20 年以上」が最も高く、男性で79.3%、女性で75.4%となっています。

(単数回答)

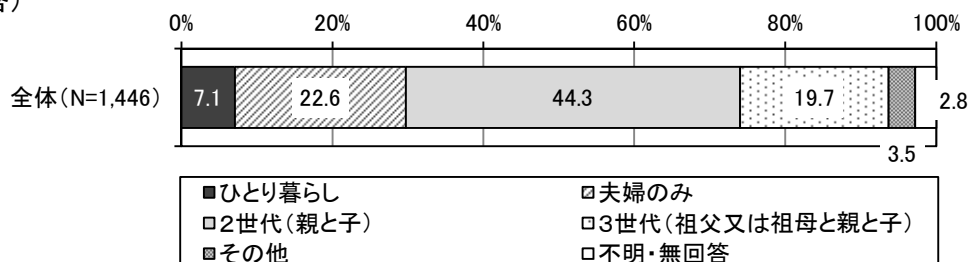


## 1－（７）家族構成について

**問7** あなたのご家族はどのような構成ですか。(○は1つ)

家族構成は、「2世代（親と子）」が44.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が22.6%、「3世代（祖父又は祖母と親と子）」が19.7%となっています。「ひとり暮らし」は6.2%となっています。

(単数回答)

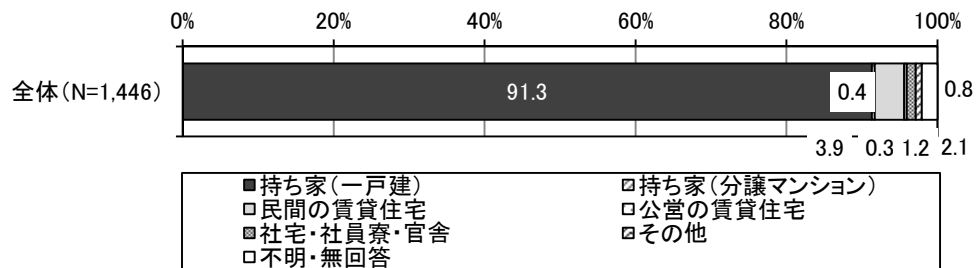


## 1－（８）居住形態について

**問8** あなたがお住まいの住居はどのような形態ですか。（○は1つ）

居住形態は、全体で「一戸建て持ち家」が91.3%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」が3.9%となっています。

（単数回答）



## 2 いなべ市のまちづくりについて

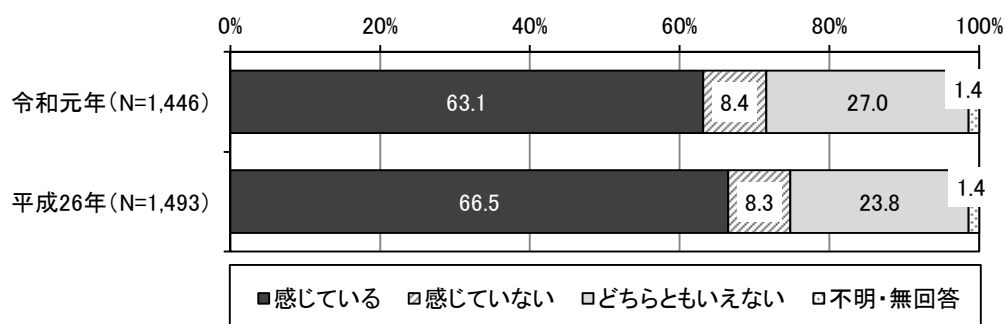
### 2－（１）愛着・親しみについて

#### 問9 いなべ市に「自分のまち」といった愛着、親しみを感ずますか。（○は1つ）

いなべ市への愛着・親しみを感ずているかは、全体で「感ずている」が 63.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.0%となっています。

前回調査と比べても同様の傾向がみられますが、「感ずている」が 2.4 ポイントとわずかに減少しています。

（単数回答）

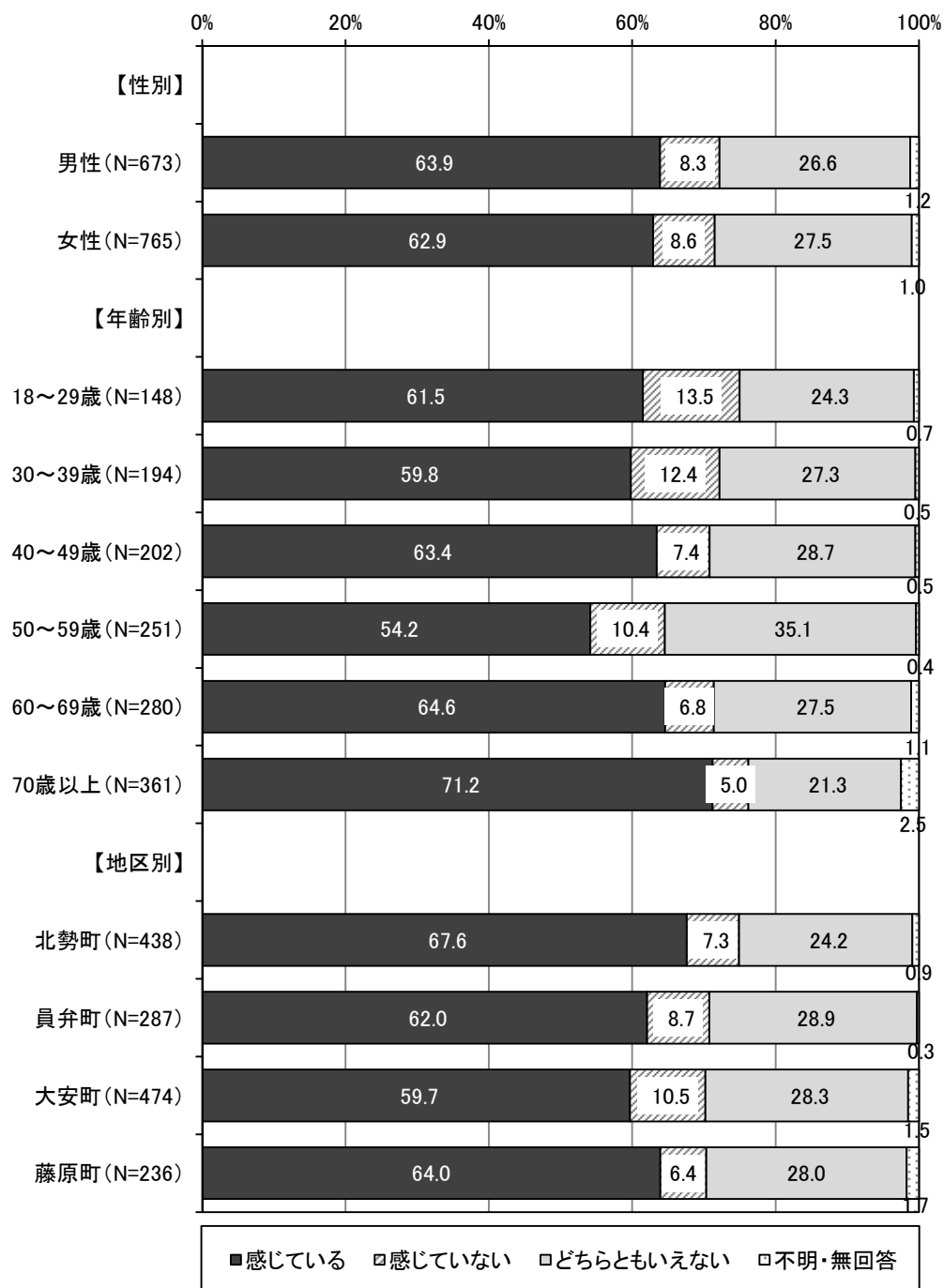


#### ■2－（１）のクロス集計（性別、年齢別、地区別）

性別では、「感ずている」が、男性 63.9%、女性 62.9%とそれぞれ最も高くなっています。

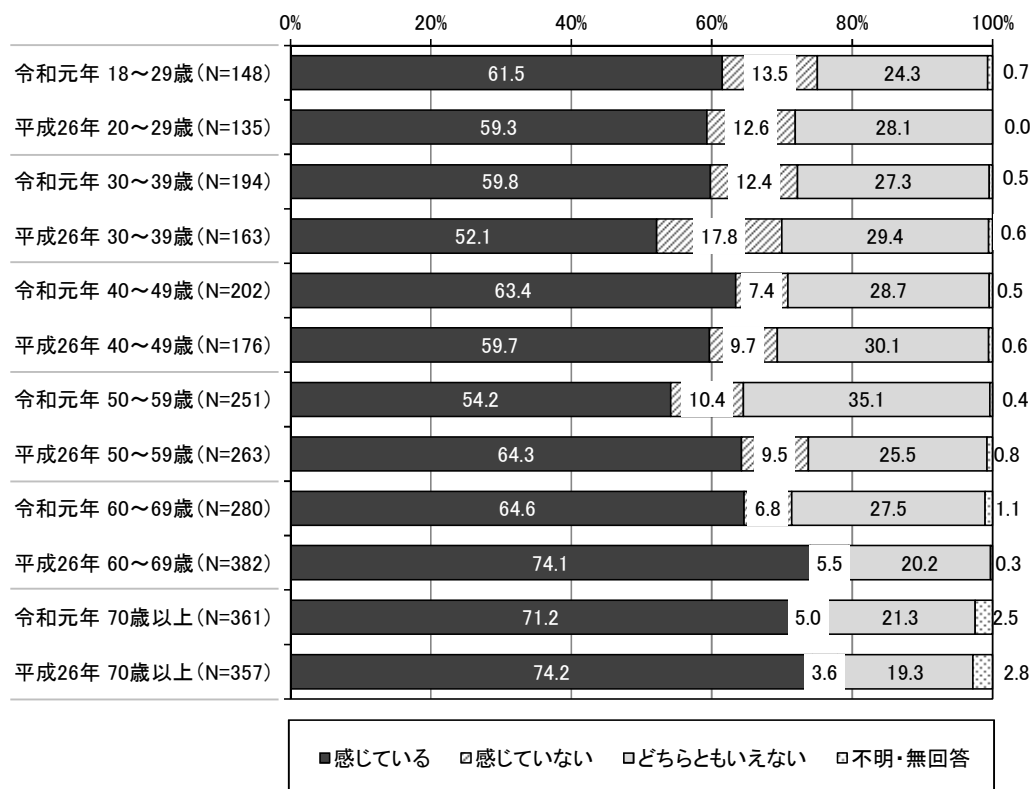
年齢別では、「70 歳以上」が「感ずている」の割合が最も高く 71.2%となっています。

地区別では、「北勢町」が「感ずている」の割合が最も高く 67.6%となっています。



## ■2-(1)の年齢別経年比較

年齢別では、「30～40 歳代」が「感じている」がやや増加し、「感じていない」がやや減少しています。一方で「50 歳代以上」では、「感じている」のやや減少し、「感じていない」の割合がやや増加しています。

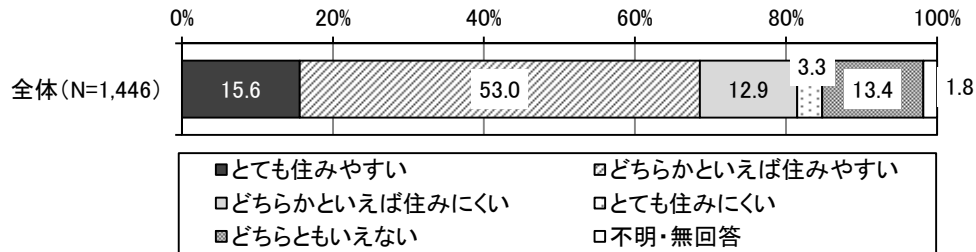


## 2－（2）住みやすさについて

### 問 10 あなたは、いなべ市の住みやすさについてどのように感じますか。（○は1つ）

いなべ市での住みやすさは、全体で「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が68.6%となっています。

（単数回答）



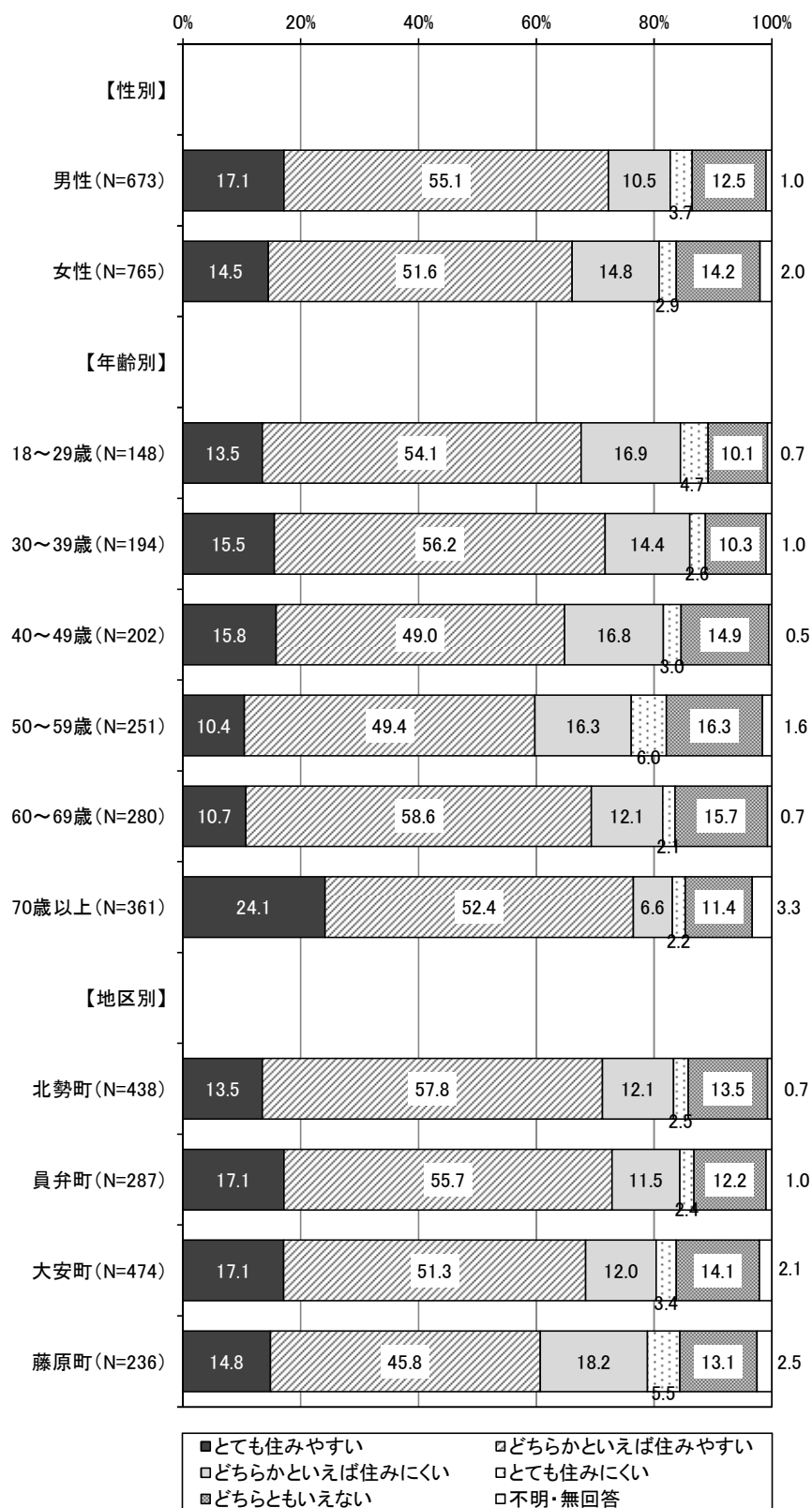
### ■2－（2）のクロス集計（性別、年齢別、地区別）

性別では、「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が男性で72.2%、女性で66.1%となっています。

年齢別では、「70歳以上」が『住みやすい』の割合が最も高く76.5%となっています。

地区別では、「員弁町」が『住みやすい』の割合が最も高く72.8%となっています。

(単数回答)

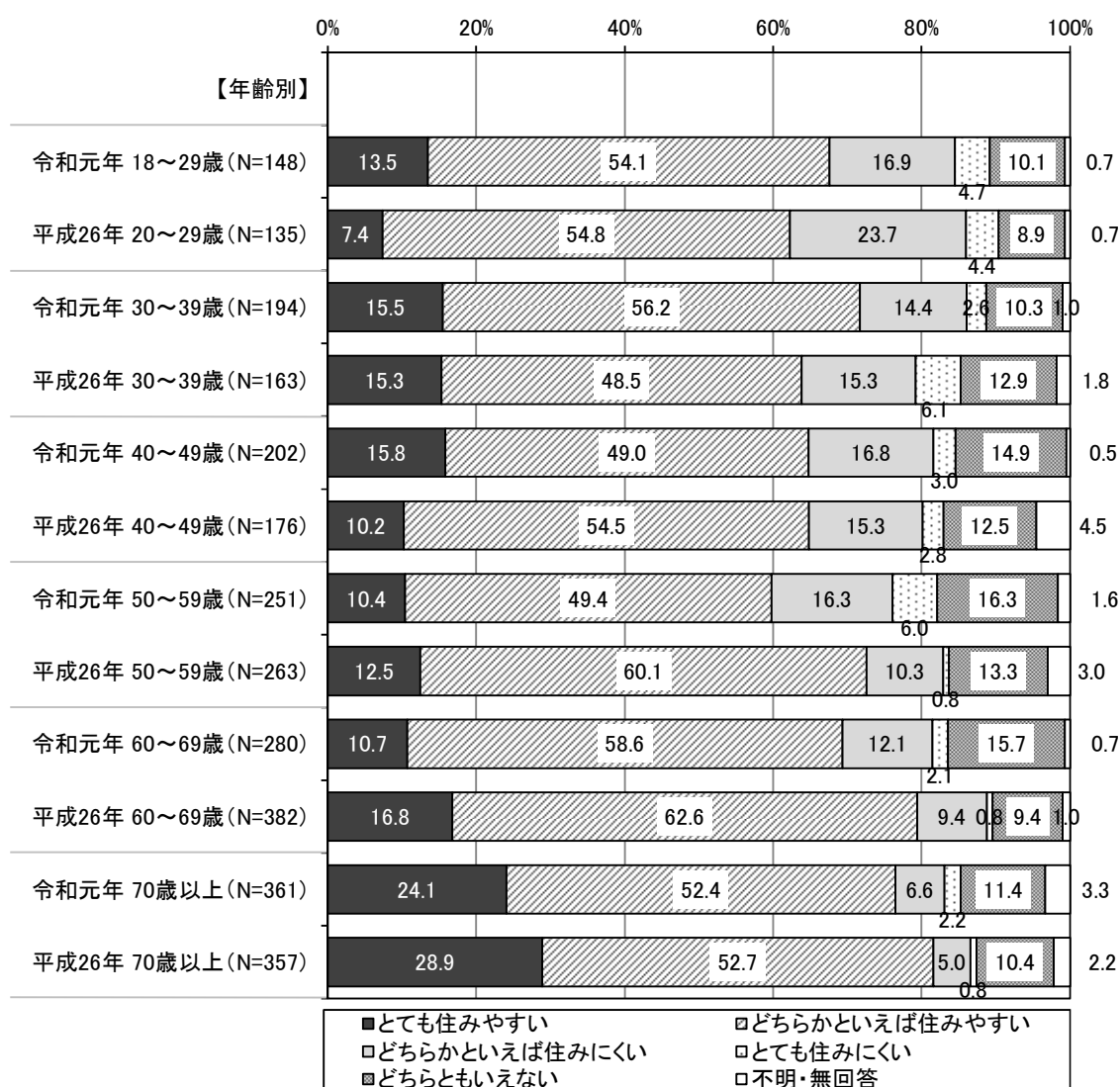
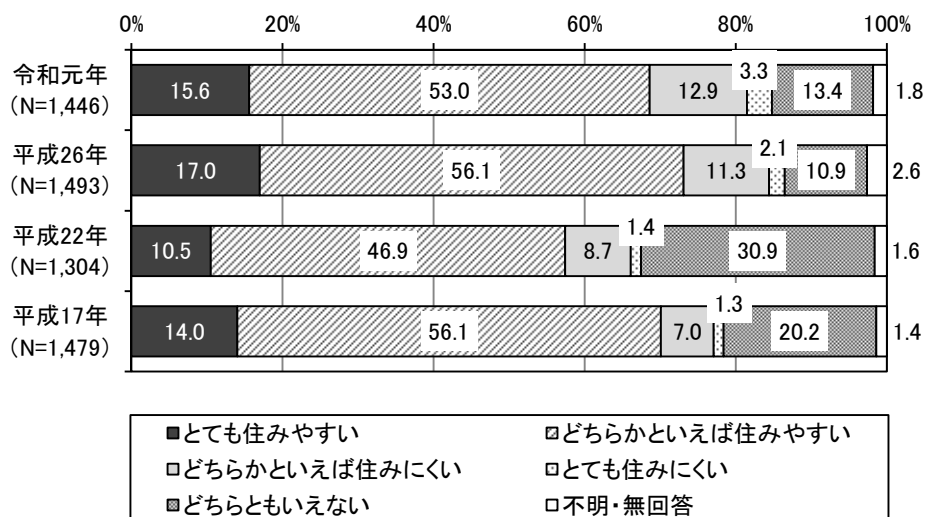


## ■2-(2)の経年比較

経年比較では、「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が、平成26年の73.1%と比べて、令和元年は68.6%と4.5ポイント減少しています。

年齢別では、18～40歳代までの各年代で『住みやすい』がやや増加し、50歳代以上の年代で『住みやすい』がやや減少しています。

(単数回答)



## 2－（3）住みやすいと感じる理由について

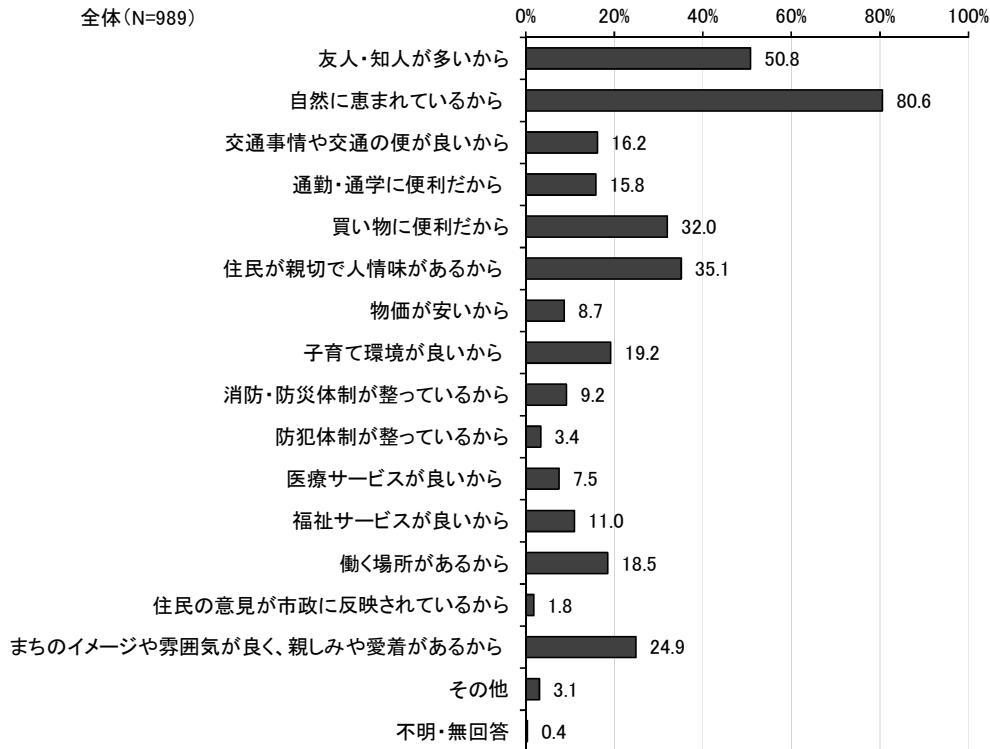
＜問 10 で「1. とても住みやすい」または「2. どちらかといえば住みやすい」と回答した方におたずねします。＞

### 問 11 住みやすいと感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

住みやすいと感じる理由は、全体で「自然に恵まれているから」が 80.6%と最も高く、次いで「友人・知人が多いから」が 50.8%、「住民が親切で人情味があるから」が 35.1%となっています。

地区別では、いずれの地区でも「自然に恵まれているから」が最も高くなっています。

（複数回答）



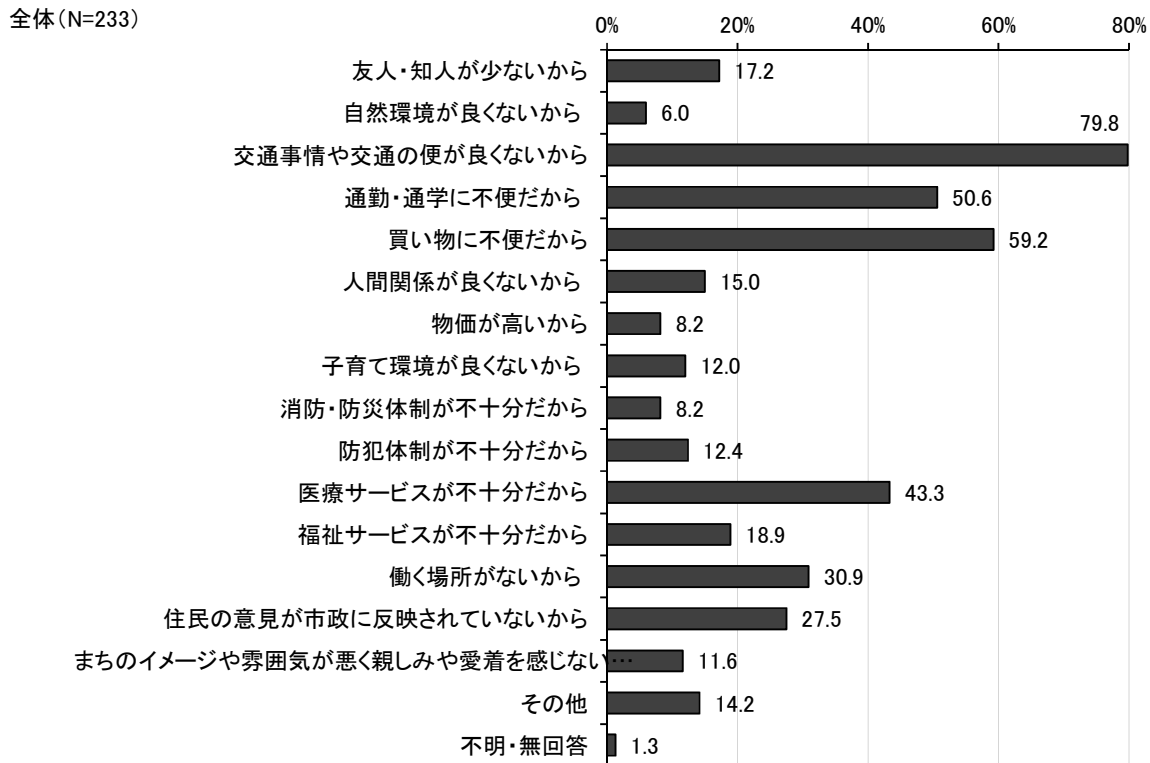
## 2－（４）住みにくいとを感じる理由について

＜問 10 で「3. どちらかといえば住みにくい」または「4. とても住みにくい」と回答した方におたずねします。＞

### 問 12 住みにくいとを感じる理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

住みにくいとを感じる理由は、「交通事情や交通の便が良くないから」が 79.8%と最も高く、次いで「買い物に不便だから」が 59.2%「通勤・通学に不便だから」が 50.6%となっています。

（複数回答）

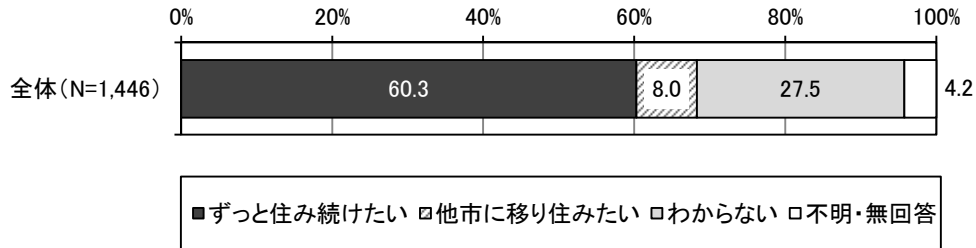


## 2－（5）今後の希望について

### 問 13 あなたは、これからいなべ市に住みたいと思いますか。（○は1つ）

いなべ市に住み続けたいかは、全体で「ずっと住み続けたい」が60.3%、「他市に移り住みたい」が8.0%、「わからない」が27.5%となっています。

（単数回答）



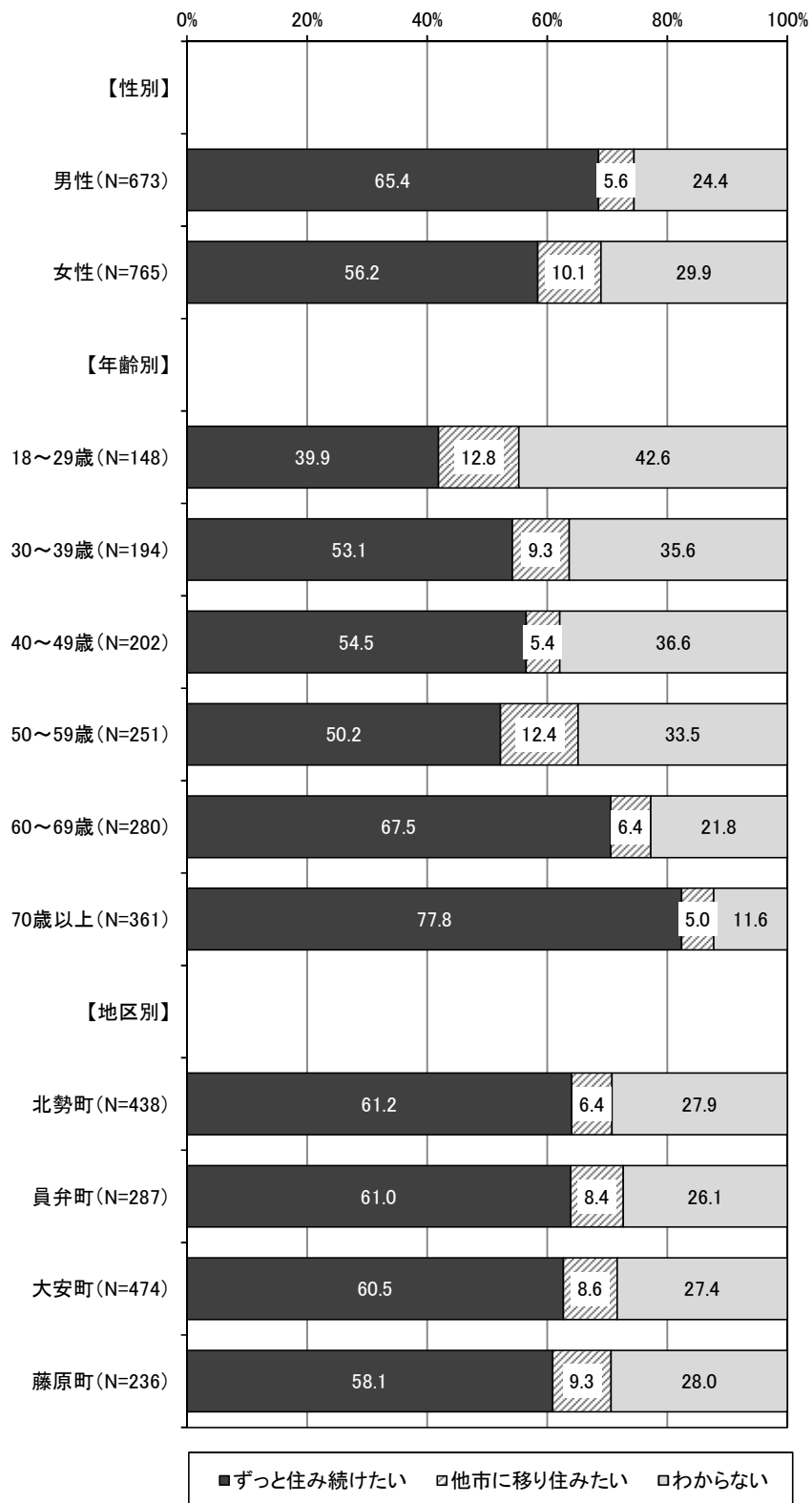
### ■2－（5）のクロス集計（性別、年齢別、地区別）

性別では、「ずっと住み続けたい」が男性で65.4%、女性で56.2%となっています。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがい「ずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で77.8%となっています。

地区別では、いずれの地区でも「ずっと住み続けたい」が6割前後と高くなっています。

## ■2-(5)のクロス集計(性別・年齢別・地区別)

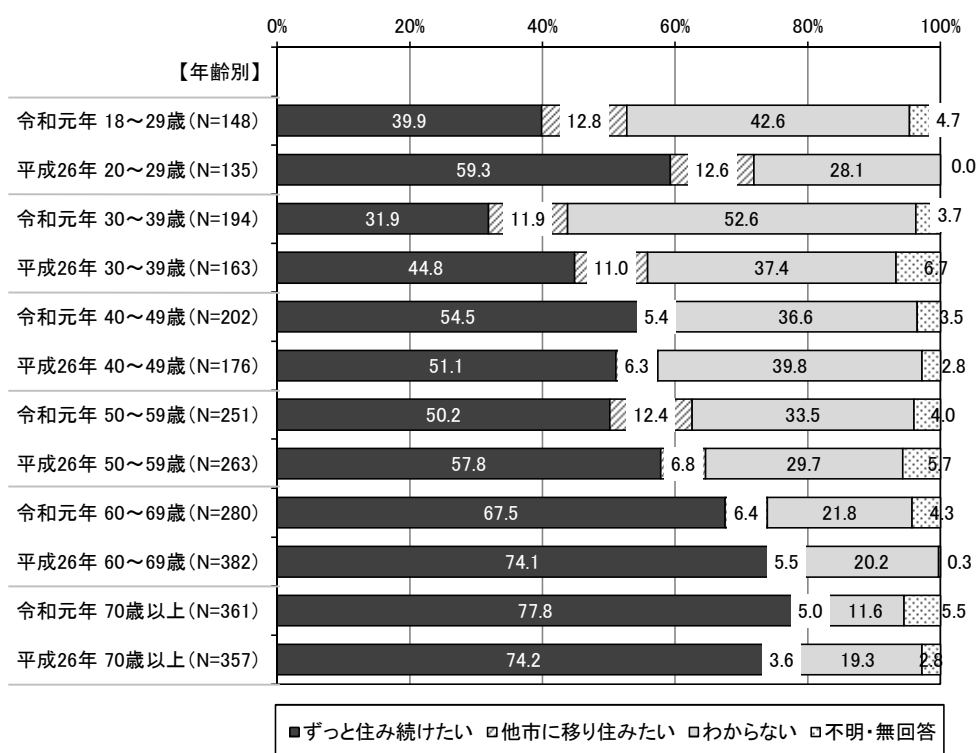
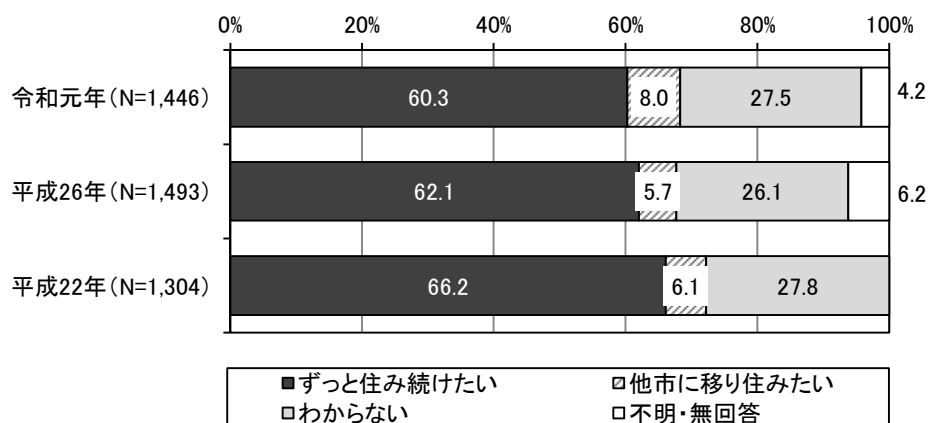


## ■2-(5)の経年比較

経年比較では、「ずっと住み続けたい」が、平成26年の62.1%と比べて、令和元年は60.3%と1.8ポイント減少しています。

年齢別では40歳代、70歳代以上を除いて「ずっと住み続けたい」の割合が減少しています。

(単数回答)

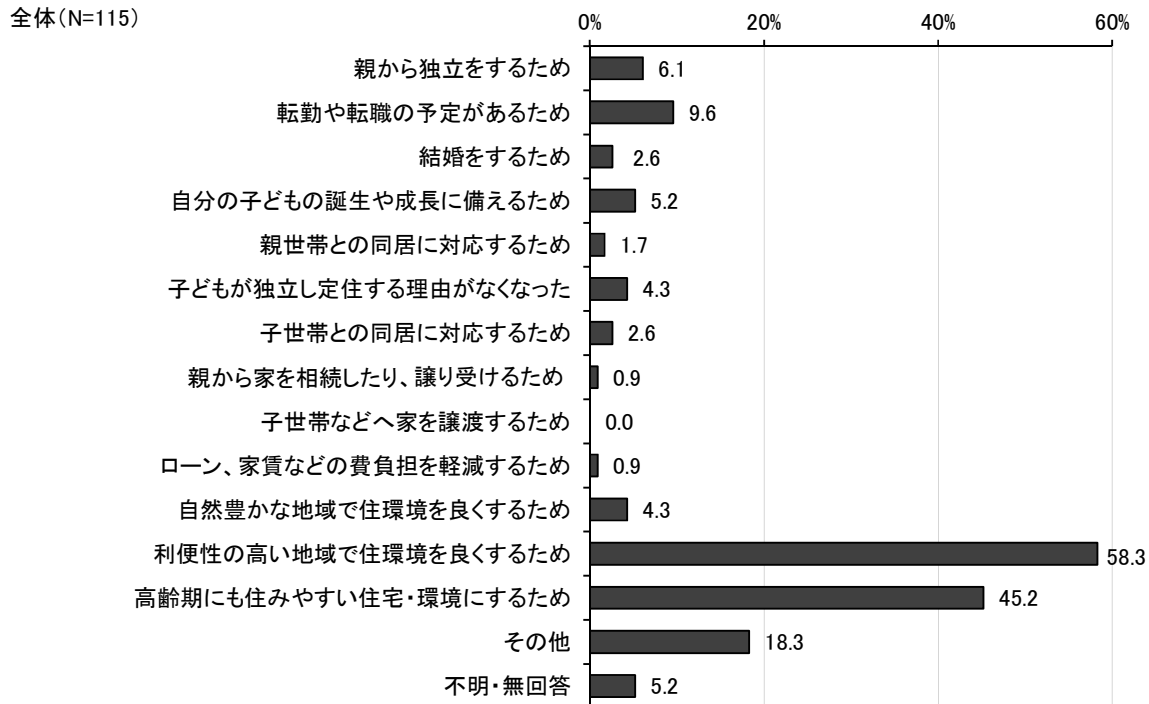


## 2－（6）移り住みたい理由

**問 14** 問 13 で「他市に移り住みたい」と回答した方におたずねします。他市に移り住みたいと感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

他市に移り住みたい理由については、「利便性の高い地域で住環境を良くするため」が58.3%と最も高く、次いで「高齢期にも住みやすい住宅・環境にするため」が45.2%となっています。

（複数回答）

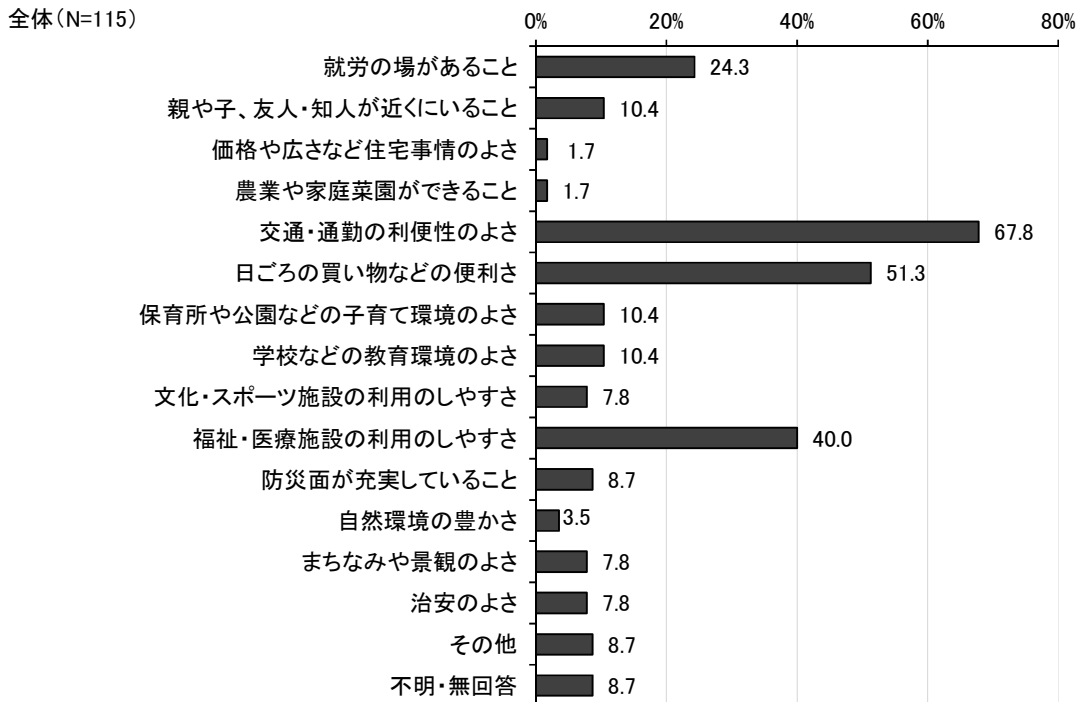


## 2－（7）移り住みたい理由

**問 15** 問 13 で「他市に移り住みたい」と回答した方におたずねします。どのような条件が整えばこれからもしなべ市に住み続けたいですか。（あてはまるものすべてに○）

どのような条件が整えばこれからもしなべ市に住み続けたいかについては、「交通・通勤の利便性のよさ」が67.8%と最も高く、次いで「日ごろの買い物などの便利さ」が51.3%、「福祉・医療施設の利用のしやすさ」が40.0%となっています。

（複数回答）



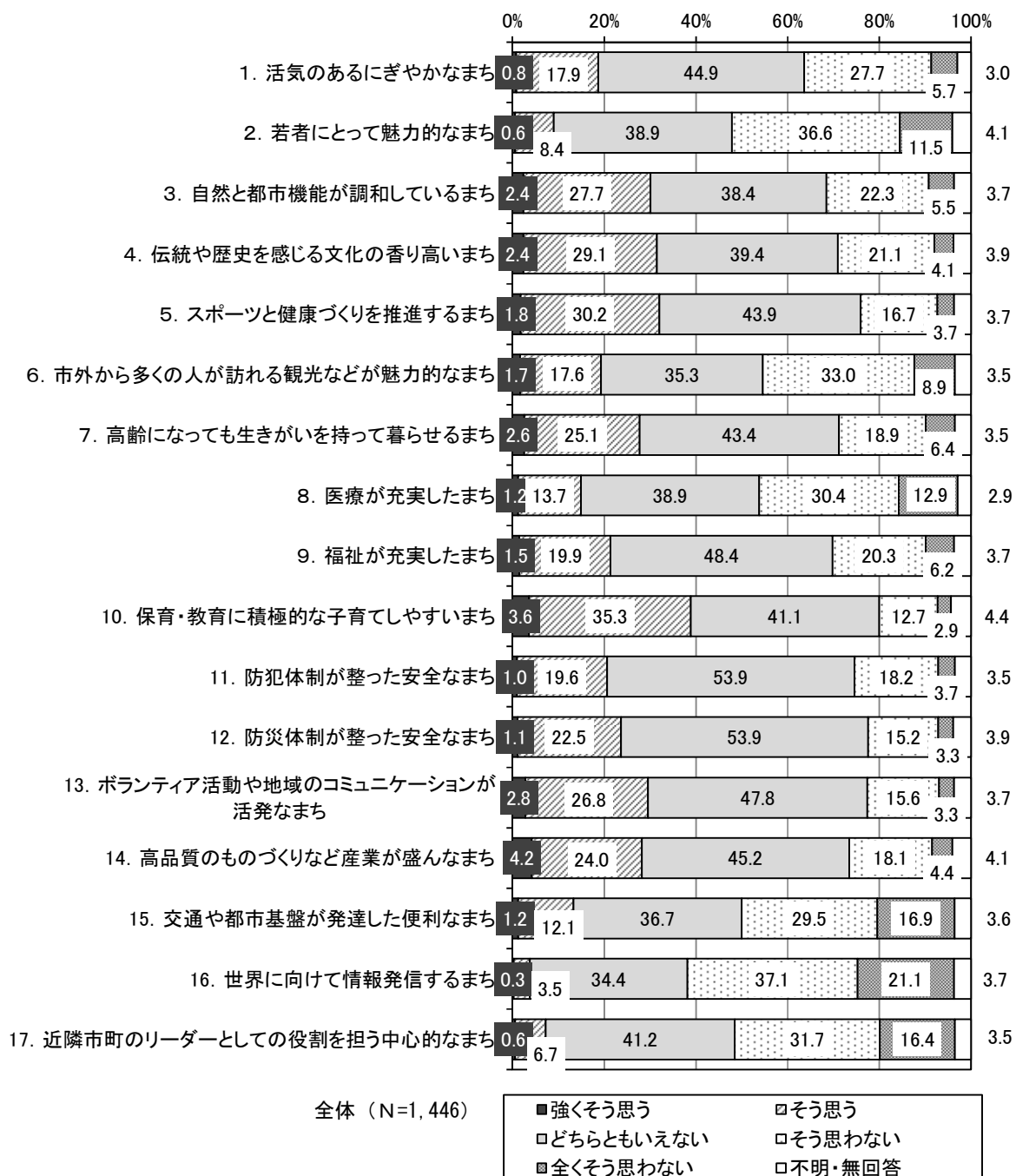
## 2-(8) 市のイメージについて

**問 16** いなべ市のイメージについてどう思いますか。(1～15 までの項目について、それぞれあてはまるもの1つに○)

市のイメージについて、全体で『保育・教育に積極的な子育てしやすいまち』『スポーツと健康づくりを推進するまち』『伝統や歴史を感じる文化の香り高いまち』『自然と都市機能が調和しているまち』で、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が3割を超えています。

一方、『世界に向けて情報発信するまち』『近隣市町のリーダーとしての役割を担う中心的なまち』『交通や都市基盤が発達した便利なまち』『若者に魅力的なまち』『市外から多くの人が訪れる観光などが魅力的なまち』『医療が充実したまち』で、「そう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が4割を超えています。

(複数回答)



## 2-(9) 市の将来について

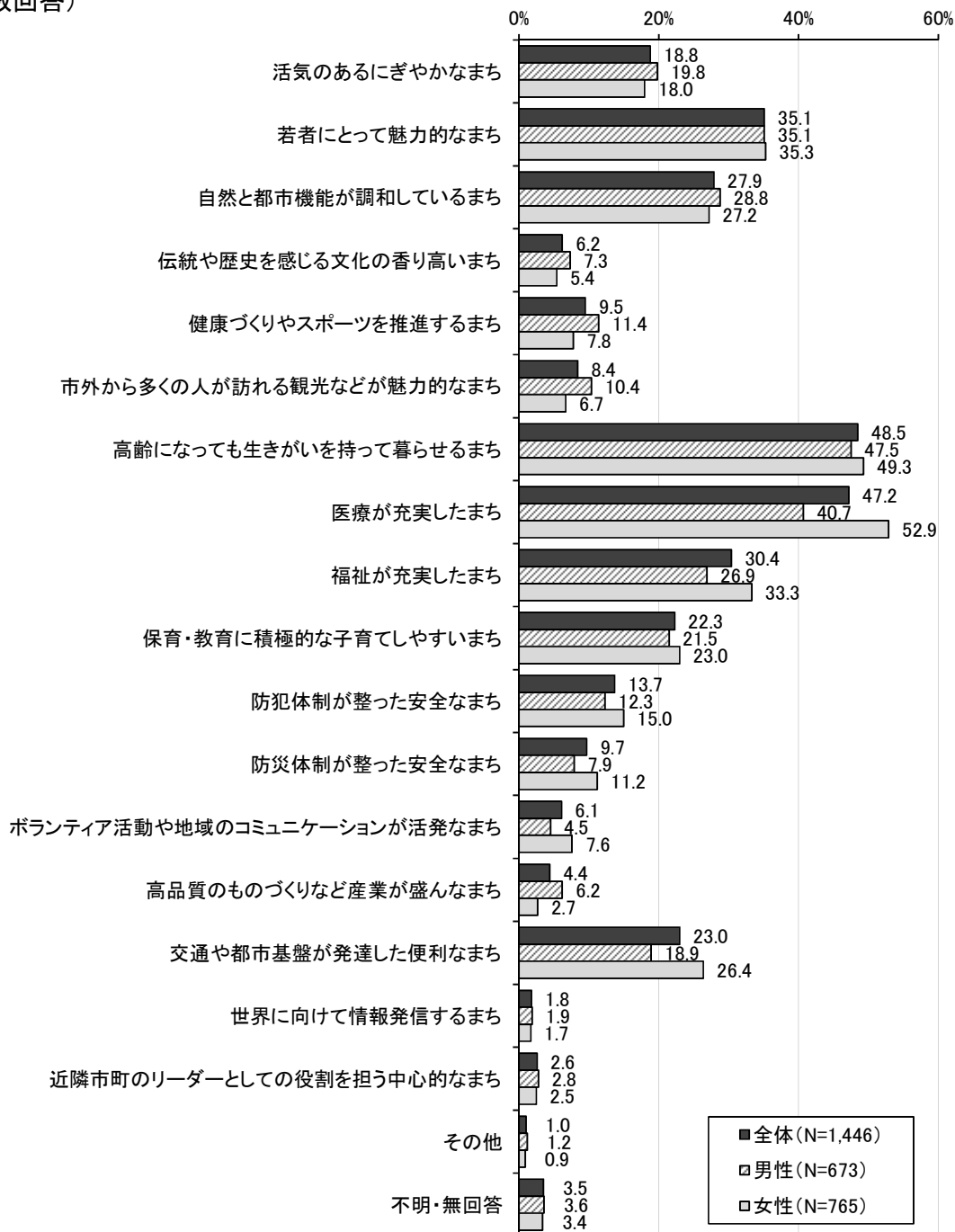
**問 17** あなたは、いなべ市が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。(あてはまる主なもの3つまでに○)

市の将来について、全体で「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」が48.5%と最も高く、次いで「医療や福祉が充実したまち」が47.2%、「若者にとって魅力的なまち」が35.1%となっています。

性別では、女性で「医療や福祉が充実したまち」が52.9%、男性で「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」が47.5%と最も高くなっています。

年齢別では、18～49歳で「医療や福祉が充実したまち」、50歳以上で「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」が最も高くなっています。

(複数回答)



## ■2-(7)のクロス集計(年齢別、地区別)

| 【年齢別】         | 活気のある<br>にぎやかな<br>まち | 若者にとっ<br>て魅力的<br>なまち | 自然と都市<br>機能が調<br>和している<br>まち | 伝統や歴<br>史を感じる<br>文化の香り<br>高いまち | 健康づくり<br>やスポーツ<br>を推進する<br>まち | 市外から<br>多くの人<br>が訪れる<br>観光など<br>が魅力的<br>なまち | 高齢にな<br>っても生<br>きがい<br>を持って<br>暮らせる<br>まち | 医療が充<br>実したま<br>ち | 福祉が充<br>実したま<br>ち | 保育・教<br>育に積極<br>的な子育<br>てしやす<br>いまち |
|---------------|----------------------|----------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 18～29歳(N=148) | 26.4                 | 42.6                 | 31.8                         | 4.7                            | 6.1                           | 8.8                                         | 32.4                                      | 45.3              | 18.9              | 38.5                                |
| 30～39歳(N=194) | 24.7                 | 36.1                 | 37.1                         | 8.2                            | 10.3                          | 12.4                                        | 33.0                                      | 52.1              | 24.2              | 36.6                                |
| 40～49歳(N=202) | 15.3                 | 32.2                 | 28.7                         | 5.0                            | 13.4                          | 13.4                                        | 38.6                                      | 47.5              | 24.3              | 24.8                                |
| 50～59歳(N=251) | 15.1                 | 33.9                 | 27.5                         | 3.2                            | 7.2                           | 5.6                                         | 48.2                                      | 52.6              | 37.1              | 14.7                                |
| 60～69歳(N=280) | 15.0                 | 38.9                 | 22.5                         | 7.9                            | 9.3                           | 5.0                                         | 54.3                                      | 46.4              | 35.4              | 21.8                                |
| 70歳以上(N=361)  | 19.9                 | 31.3                 | 24.9                         | 7.2                            | 10.2                          | 8.0                                         | 64.3                                      | 42.1              | 33.0              | 12.2                                |

| 【年齢別】         | 防犯体制<br>が整った<br>安全なま<br>ち | 防災体制<br>が整った<br>安全なま<br>ち | ボランティ<br>ア活動や<br>地域のコ<br>ミュニケー<br>ションが活<br>発なまち | 高品質の<br>ものづくり<br>など産業<br>が盛んな<br>まち | 交通や都<br>市基盤が<br>発達した<br>便利なま<br>ち | 世界に向<br>けて情報<br>発信する<br>まち | 近隣市町<br>のリーダー<br>としての役<br>割を担う中<br>心的なまち | その他 | 不明・無<br>回答 |
|---------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|------------------------------------------|-----|------------|
| 18～29歳(N=148) | 13.5                      | 7.4                       | 6.1                                             | 4.1                                 | 28.4                              | 2.7                        | 2.7                                      | 0.7 | 2.7        |
| 30～39歳(N=194) | 15.5                      | 13.9                      | 6.7                                             | 4.6                                 | 19.6                              | 3.1                        | 2.1                                      | 1.0 | 3.6        |
| 40～49歳(N=202) | 14.9                      | 10.9                      | 3.0                                             | 3.5                                 | 26.2                              | 1.5                        | 1.5                                      | 2.0 | 3.5        |
| 50～59歳(N=251) | 12.0                      | 7.2                       | 6.0                                             | 3.6                                 | 28.3                              | 0.8                        | 0.8                                      | 0.8 | 3.2        |
| 60～69歳(N=280) | 12.5                      | 9.6                       | 4.6                                             | 3.6                                 | 19.6                              | 2.1                        | 2.1                                      | 0.4 | 2.5        |
| 70歳以上(N=361)  | 14.1                      | 9.4                       | 8.9                                             | 6.1                                 | 19.1                              | 1.4                        | 5.3                                      | 1.4 | 4.7        |

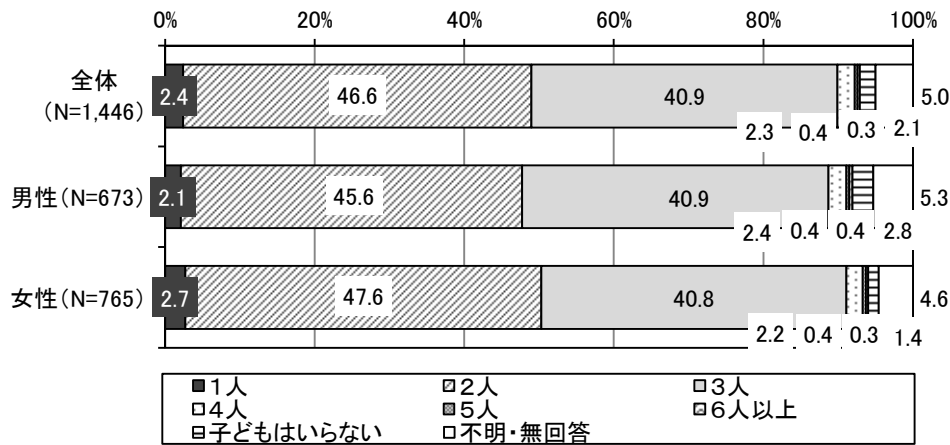
2－（8）理想の子どもの数について

問 19 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。（○は1つ）

理想の子どもの数は、全体では「2人」が最も高く 46.6%、次いで「3人」が 40.9%となっています。性別でも同様の傾向がみられます。

理想の子どもの数の平均は 2.44 人となっています（※「6人以上」は「6人」とカウント）。

（単数回答）

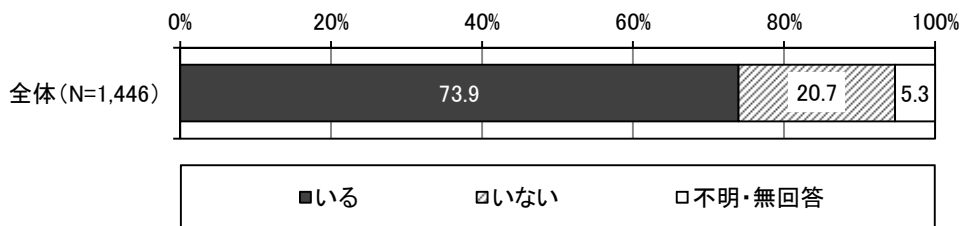


2－（9）実際の子どもの数について

問 20 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。（○は1つ）

子どもが「いる」が 73.9%となっており、「いる」と回答した人の子どもの数の平均は、2.15 人となっています。

（単数回答）



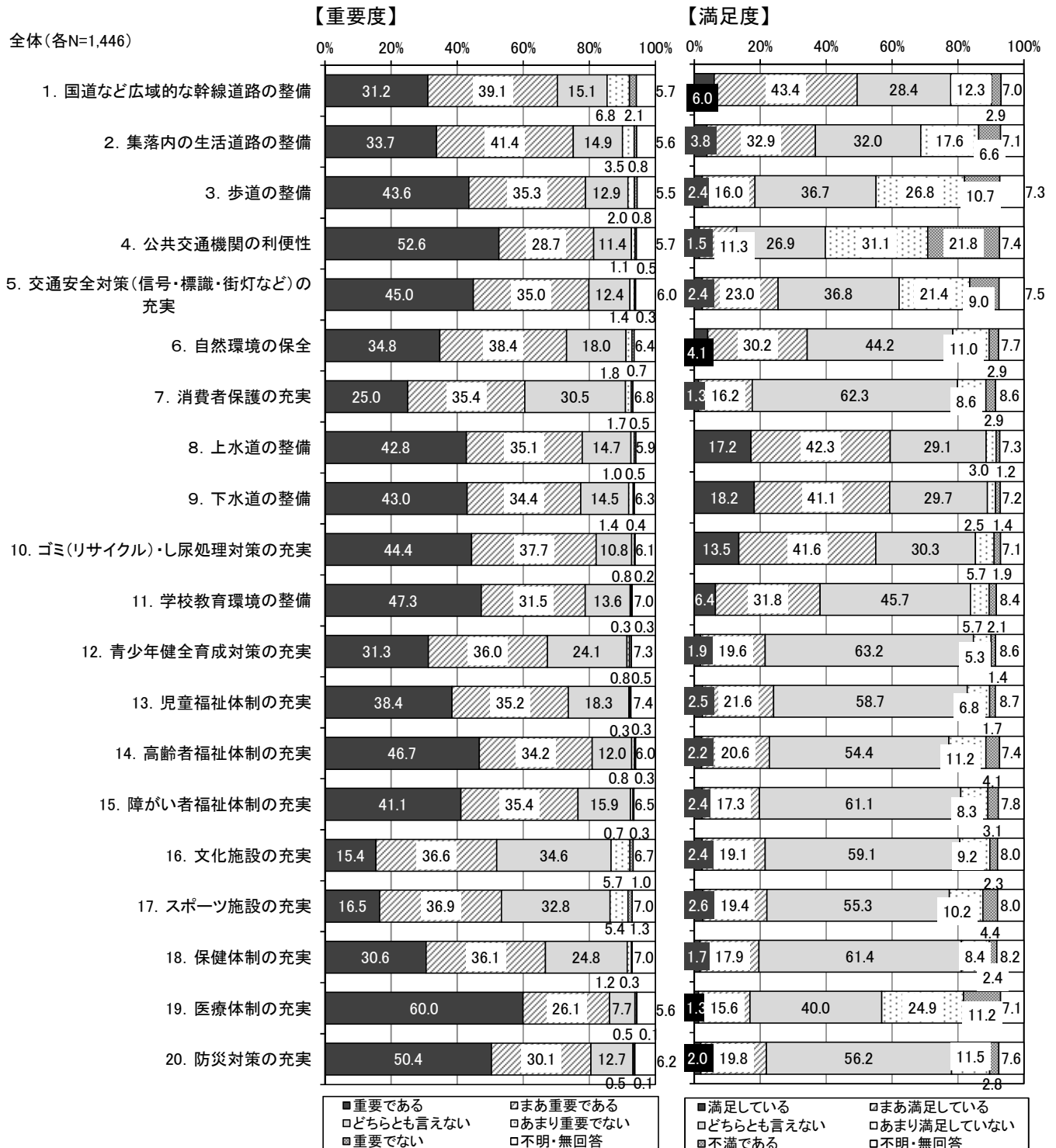
## 2-(10) まちづくりの重要度・満足度について

**問 21** いなべ市のまちづくりについて「あなたが考える、それぞれの『重要度』と『満足度』を教えてください。（以下の項目について、重要度、満足度それぞれ1つずつ○）」

まちづくりの重要度は、『医療体制の充実』『ゴミ（リサイクル）・し尿処理』『交通機関の利便性』『高齢者福祉体制の充実』『防犯対策の充実』『防災対策の充実』『交通安全対策（信号・標識・街灯など）の充実』で、「重要である」と「まあ重要である」を合わせた『重要である』が8割を超えています。

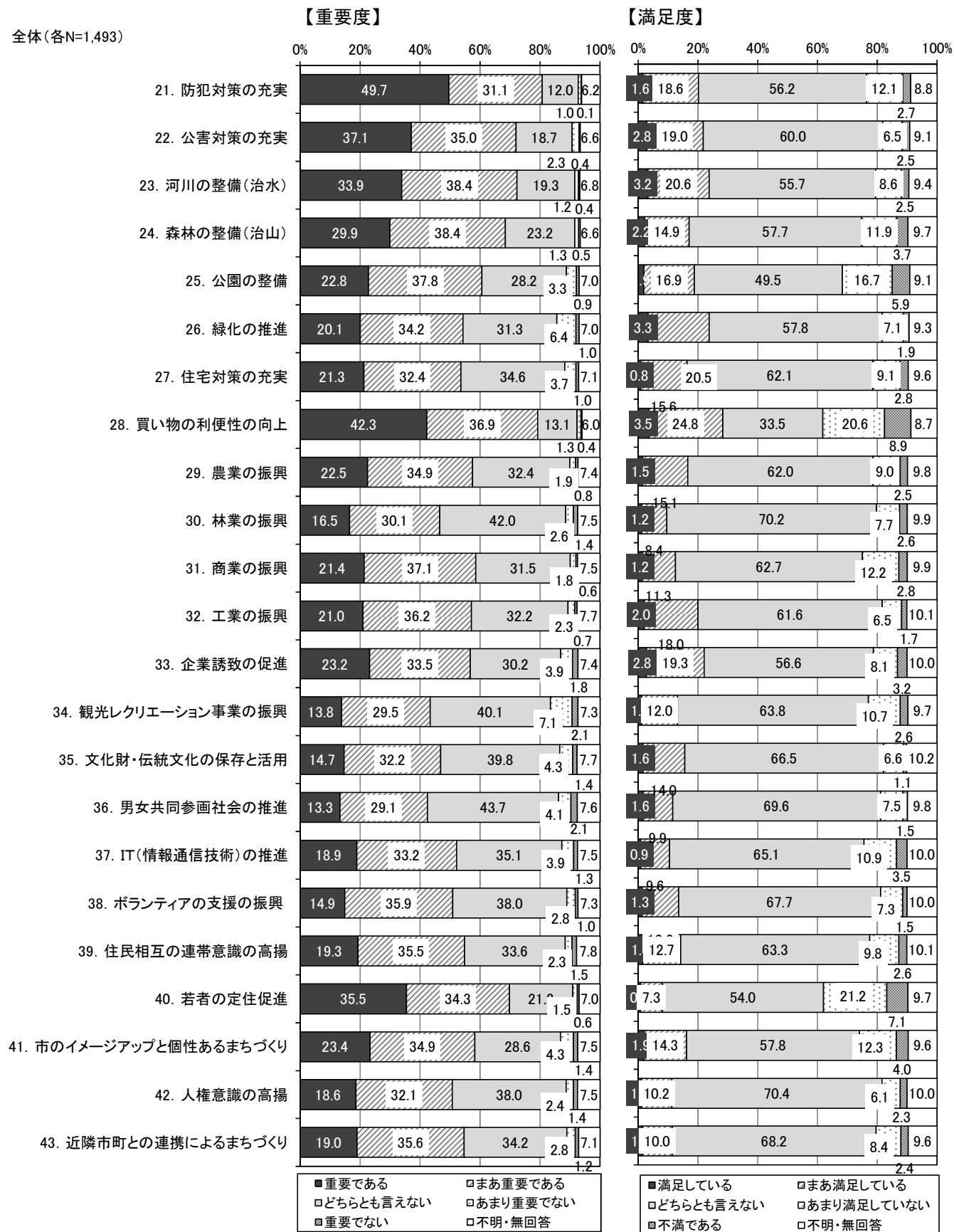
満足度は、『上水道の整備』『下水道の整備』『ゴミ（リサイクル）・し尿処理』で、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が5割を超えています。

（単数回答）



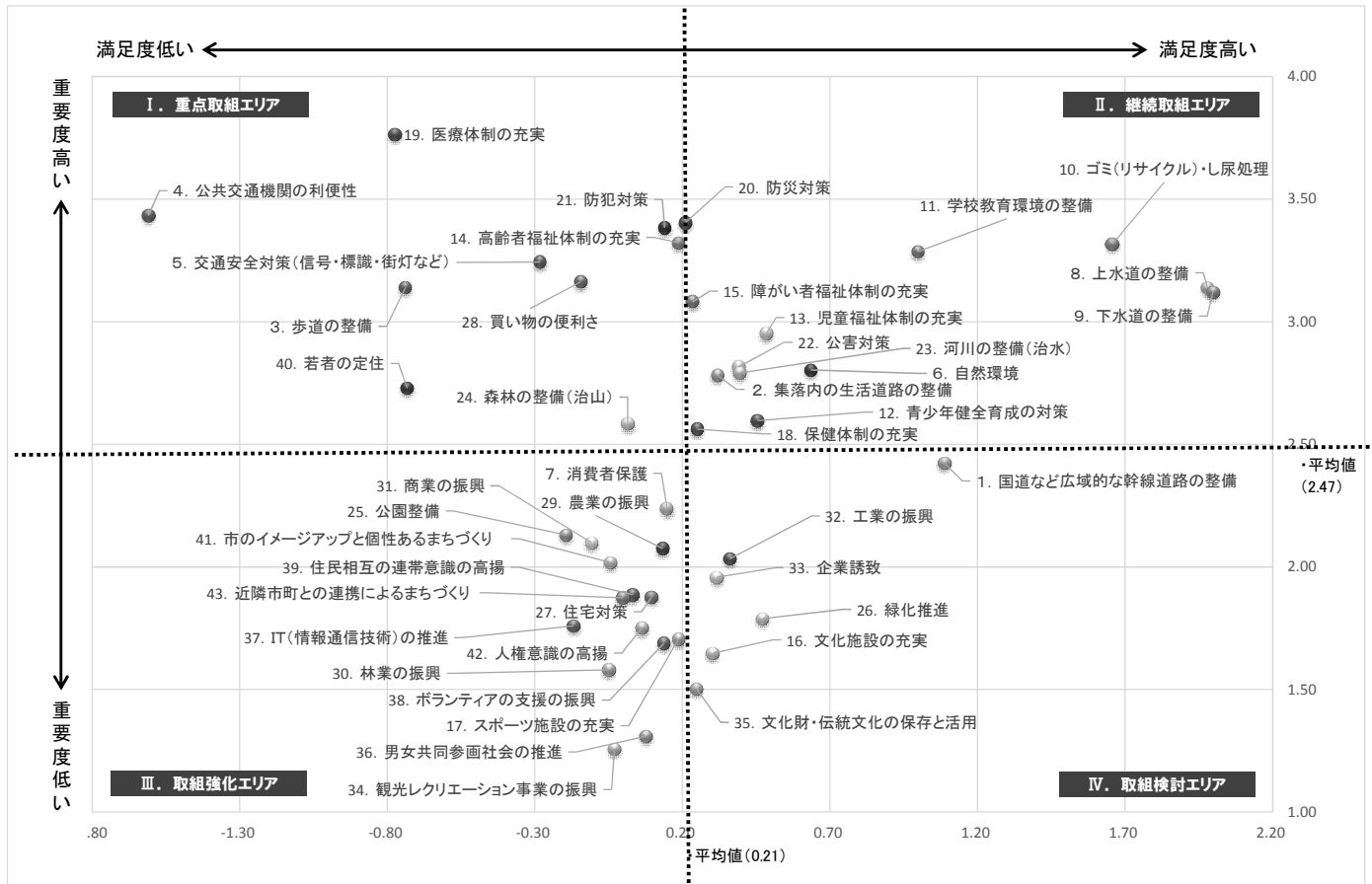
(単数回答)

全体(各N=1,493)



## ■2-(10) まちづくりで満足していること・重要だと思うこと(散布図)

満足度が低く、重要度が高いのは、『公共交通機関の利便性』『医療体制の充実』『歩道の整備』『交通安全対策（信号・標識・街灯など）』『若者の定常』『買い物の便利さ』『防犯対策』『高齢者福祉体制の充実』『森林の整備（治山）』となっています。

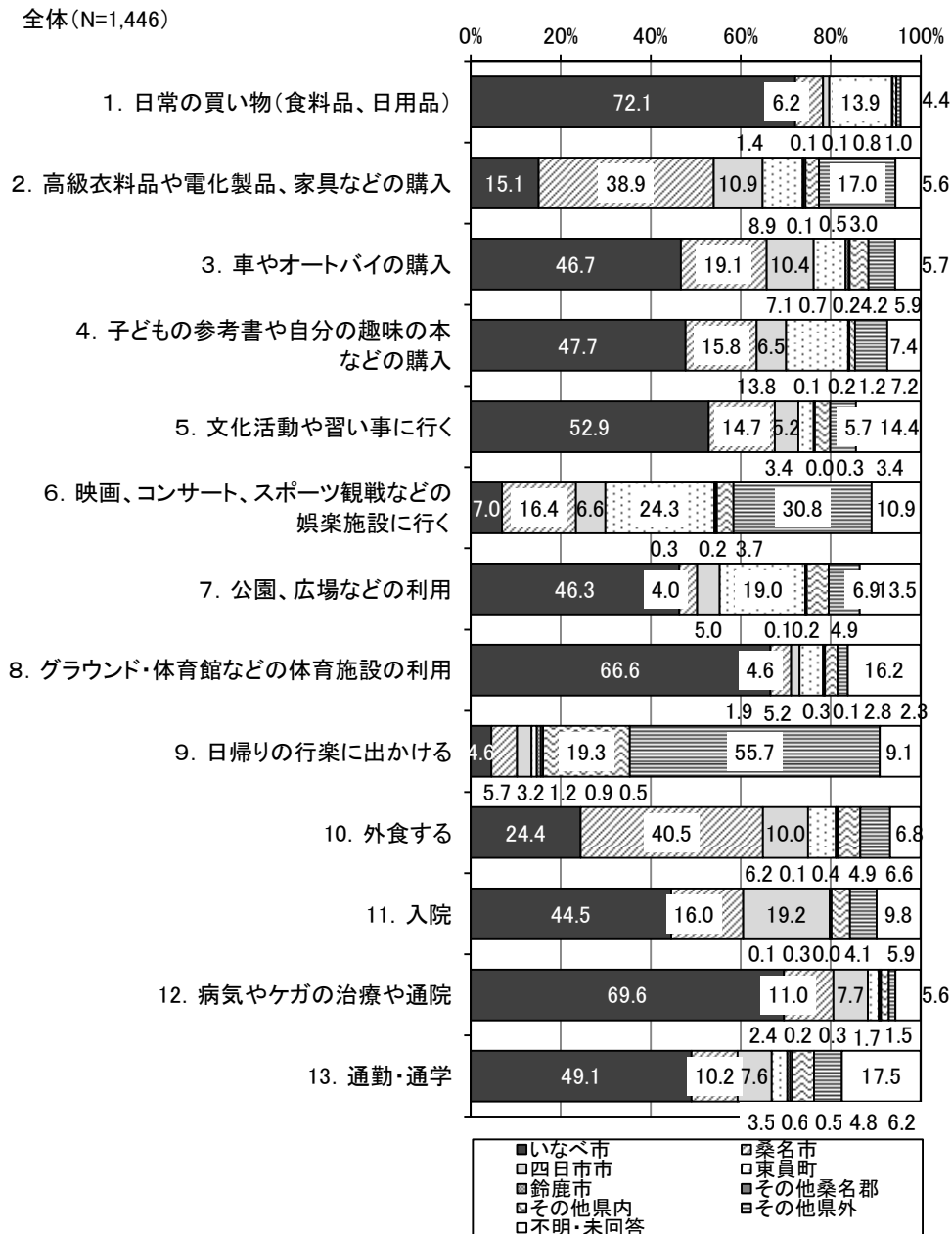


## 2-(11) 出かける場所について

**問 22** 以下のような行動をとる場合、あなたはそれぞれどこへ出かけますか。(1～13のうち、最も多く利用する地域をそれぞれ1つ選び番号に○)

出かける場所は、『高級衣料品や電化製品、家具などの購入』『外食する』場合では「桑名市」が、『映画、コンサート、スポーツ観戦などの娯楽施設に行く』『日帰りの行楽に出かける』の場合では「その他県外」が、その他の項目では「いなべ市」がそれぞれ最も高くなっています。

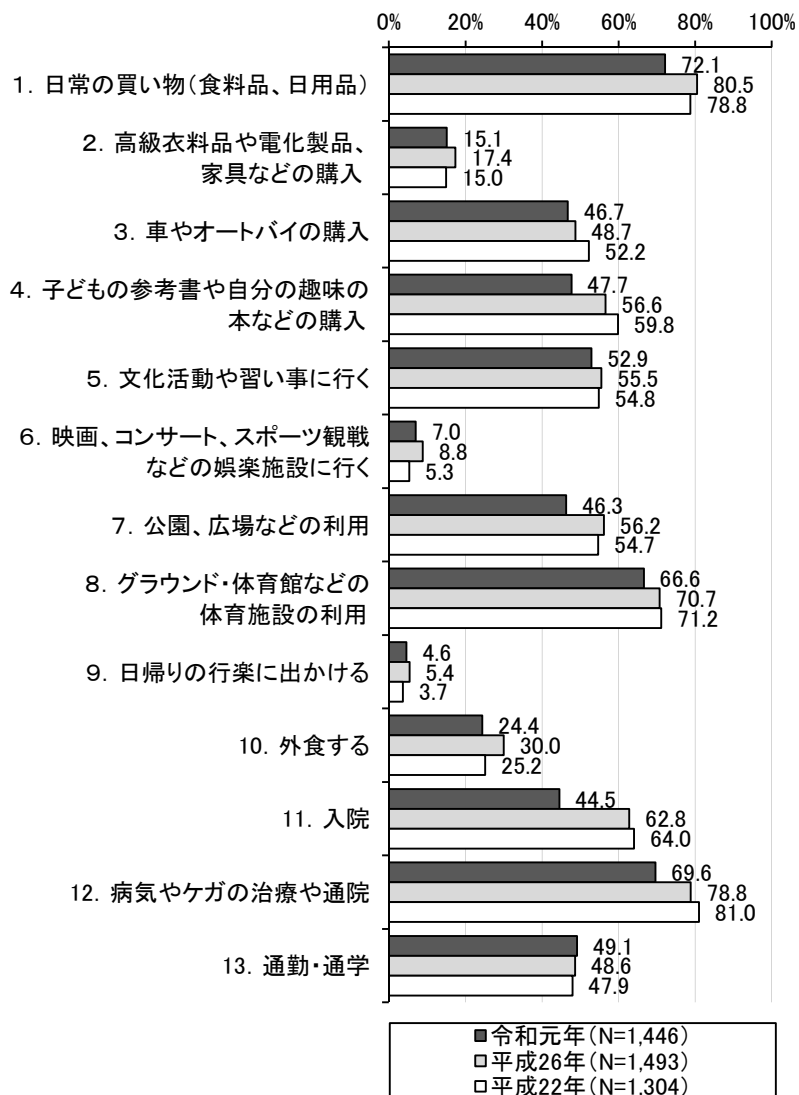
(単数回答)



## ■2-(11)の経年比較

経年比較で、各行動をいなべ市で行う場合をみると、「通勤通学」を除き、いずれの行動も微減しています。

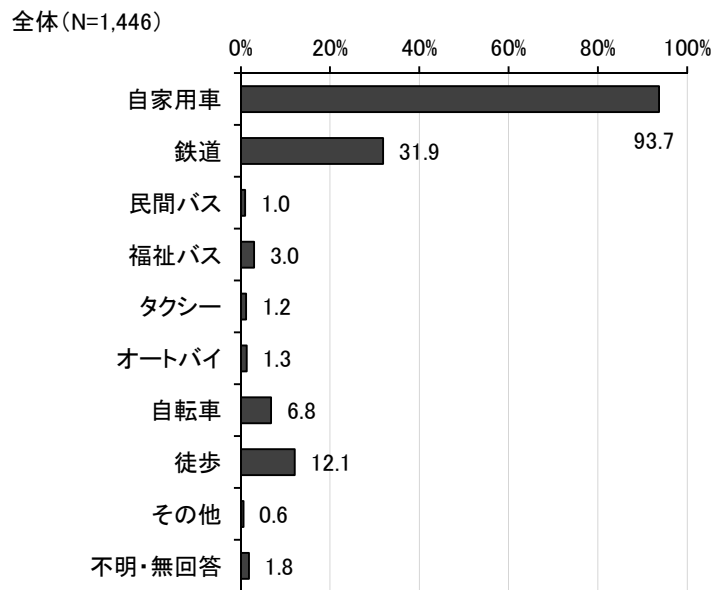
(単数回答)



2－（12）交通手段について

**問 23** あなたが最も頻繁に利用する交通手段は何ですか。2つまで選んでください。○は1つ)

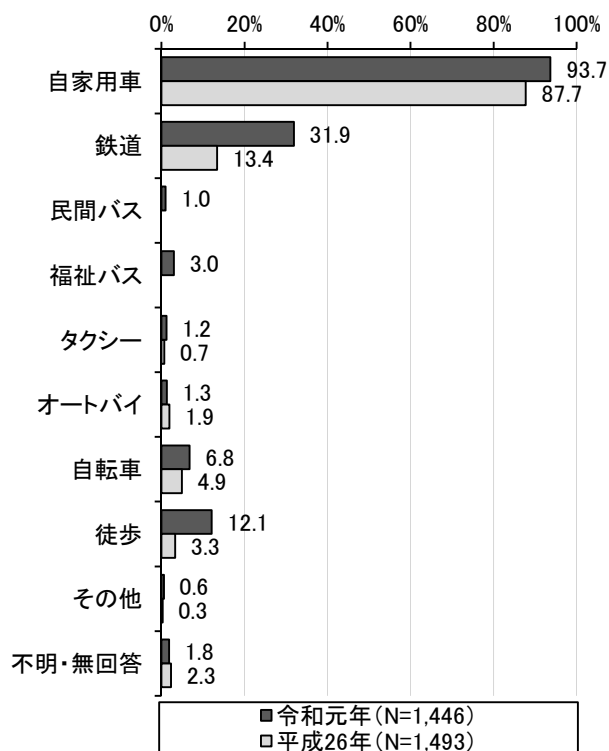
交通手段は、全体で「自家用車」が93.7%と最も高く、次いで「鉄道」が31.9%となっています。  
(単数回答)



## ■2-(12)の経年比較

交通手段を経年で比較すると、「鉄道」が31.9%と前回の13.4%と比べて28.5ポイント、次いで「徒歩」が12.1%と前回の3.3%と比べて8.8ポイント増加しています。

(単数回答)



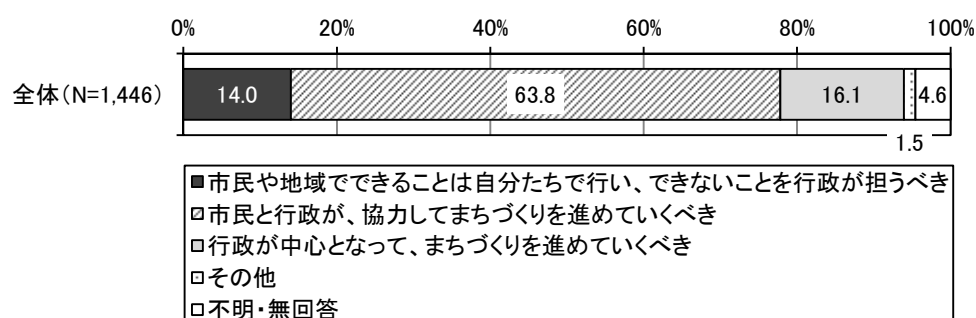
### 3 協働のまちづくりについて

#### 3－（１）市のあり方について

**問 24** これからのいなべ市のまちづくりのあり方はどうあるべきだと思いますか。（○は1つ）

これからのいなべ市のまちづくりのあり方は、「市民と行政が、協力してまちづくりを進めていくべき」が63.8%と最も高く、次いで「行政が中心となって、まちづくりを進めていくべき」が16.1%、「市民や地域でできることは自分たちで行い、できないことを行政が担うべき」が14.0%となっています。

（単数回答）



### 3-(2) まちづくり活動への市民参加について

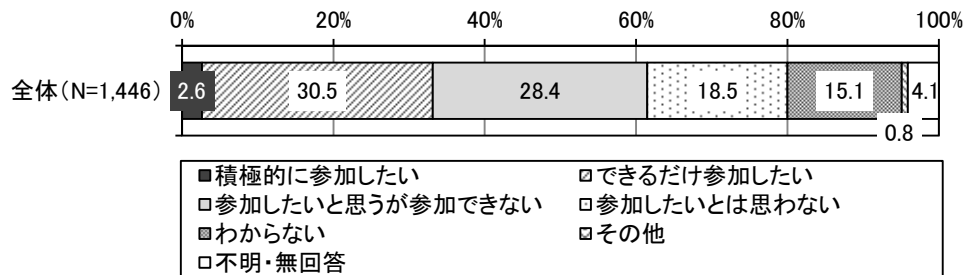
#### 問 25 あなたは、まちづくり活動に対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思いますか。(〇は1つ)

まちづくり活動への市民参加意向は、「積極的に参加したい」と「できるだけ参加したい」を合わせた『参加したい』が33.1%となっています。

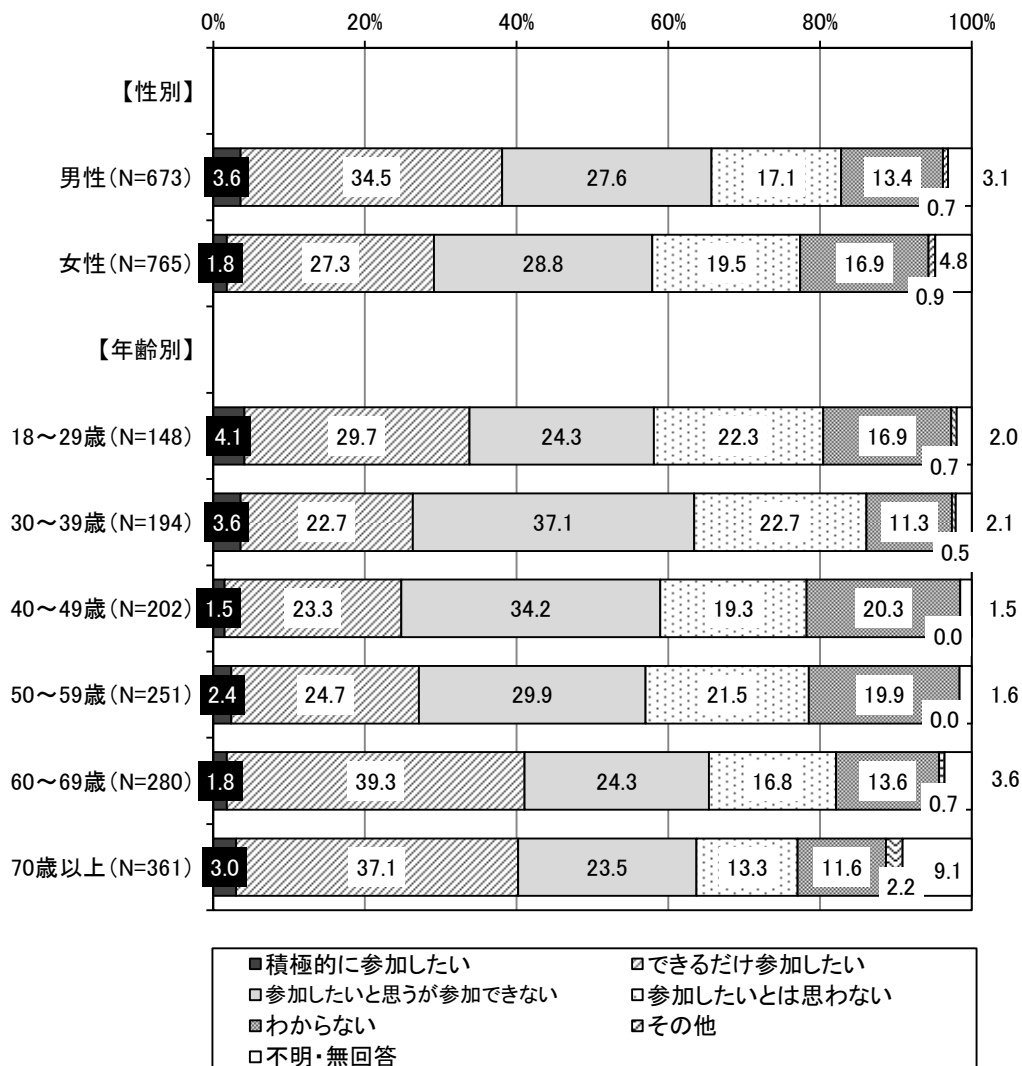
性別では、『参加したい』が男性で38.1%、女性で29.1%と、男性は女性と比べて9.0ポイント高くなっています。

年齢別では、『参加したい』が18～29歳が3割強、30～59歳は3割未満、60歳以上は4割を超えています。

(単数回答)



#### ■3-(2)のクロス集計(性別・年齢別)



### 3-(3) どの機会に参加したいかについて

<問 25 で「1. 積極的に参加したい」または「2. できるだけ参加したい」と回答した方におたずねします。>

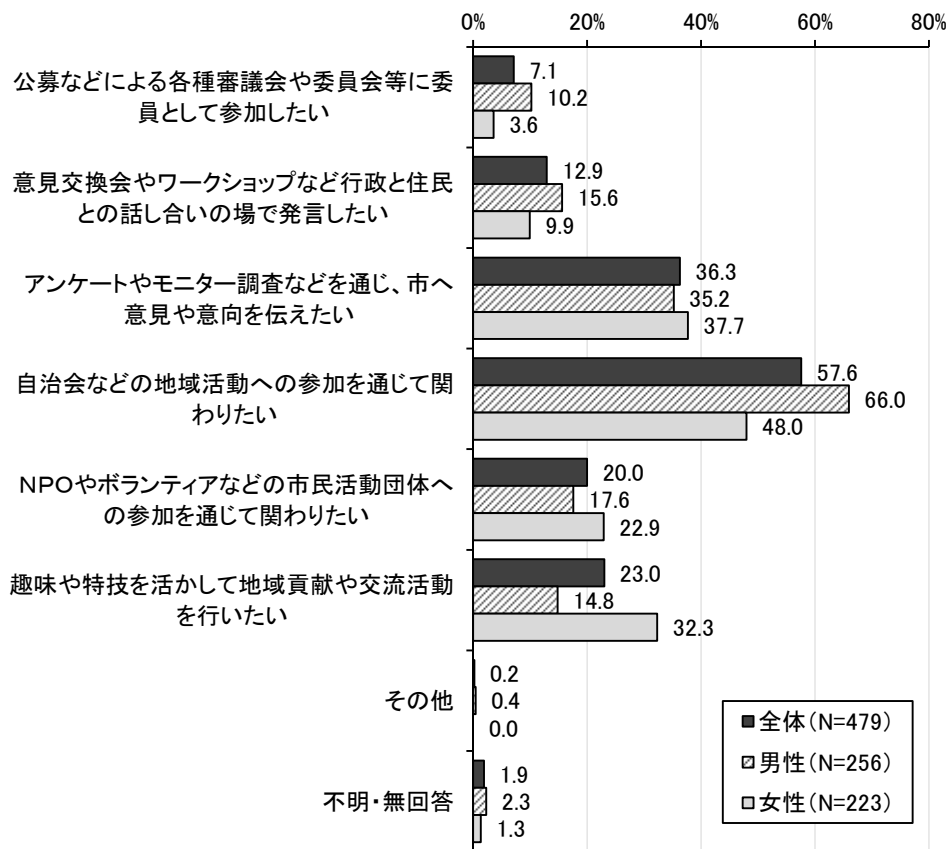
#### 問 26 参加する場合、どのような機会に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

参加する場合、どの機会に参加したいかは、全体で「自治会などの地域活動への参加を通じて関わりたい」が57.6%と最も高く、次いで「アンケートやモニター調査などを通じ、市へ意見や意向を伝えたい」が36.3%、「趣味や特技を活かして地域貢献や交流活動を行いたい」が23.0%となっています。

性別では、男女ともに「自治会などの地域活動への参加を通じて関わりたい」が最も高く、男性で66.0%、女性で48.0%となっており、男性は女性と比べて18.0ポイント高くなっています。

年齢別では、18～49歳では「アンケートやモニター調査などを通じ、市へ意見や意向を伝えたい」、50歳以上では「自治会などの地域活動への参加を通じて関わりたい」がそれぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



#### ■3-(3)のクロス集計(年齢別)

| 【年齢別】          | 公募などによる各種審議会や委員会等に委員として参加したい | 意見交換会やワークショップなど行政と住民との話し合いの場で発言したい | アンケートやモニター調査などを通じ、市へ意見や意向を伝えたい | 自治会などの地域活動への参加を通じて関わりたい | NPOやボランティアなどの市民活動団体への参加を通じて関わりたい | 趣味や特技を活かして地域貢献や交流活動を行いたい | その他 | 不明・無回答 |
|----------------|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-------------------------|----------------------------------|--------------------------|-----|--------|
| 18～29歳 (N=50)  | 4.0                          | 12.0                               | 44.0                           | 34.0                    | 16.0                             | 34.0                     | 0.0 | 2.0    |
| 30～39歳 (N=51)  | 13.7                         | 21.6                               | 56.9                           | 31.4                    | 13.7                             | 35.3                     | 2.0 | 2.0    |
| 40～49歳 (N=50)  | 6.0                          | 18.0                               | 38.0                           | 40.0                    | 18.0                             | 20.0                     | 0.0 | 0.0    |
| 50～59歳 (N=68)  | 11.8                         | 11.8                               | 32.4                           | 66.2                    | 25.0                             | 27.9                     | 0.0 | 2.9    |
| 60～69歳 (N=115) | 7.8                          | 9.6                                | 35.7                           | 60.9                    | 27.0                             | 20.9                     | 0.0 | 0.9    |
| 70歳以上 (N=145)  | 3.4                          | 11.7                               | 28.3                           | 74.5                    | 16.6                             | 15.2                     | 0.0 | 2.8    |

### 3－（４）参加できない要因について

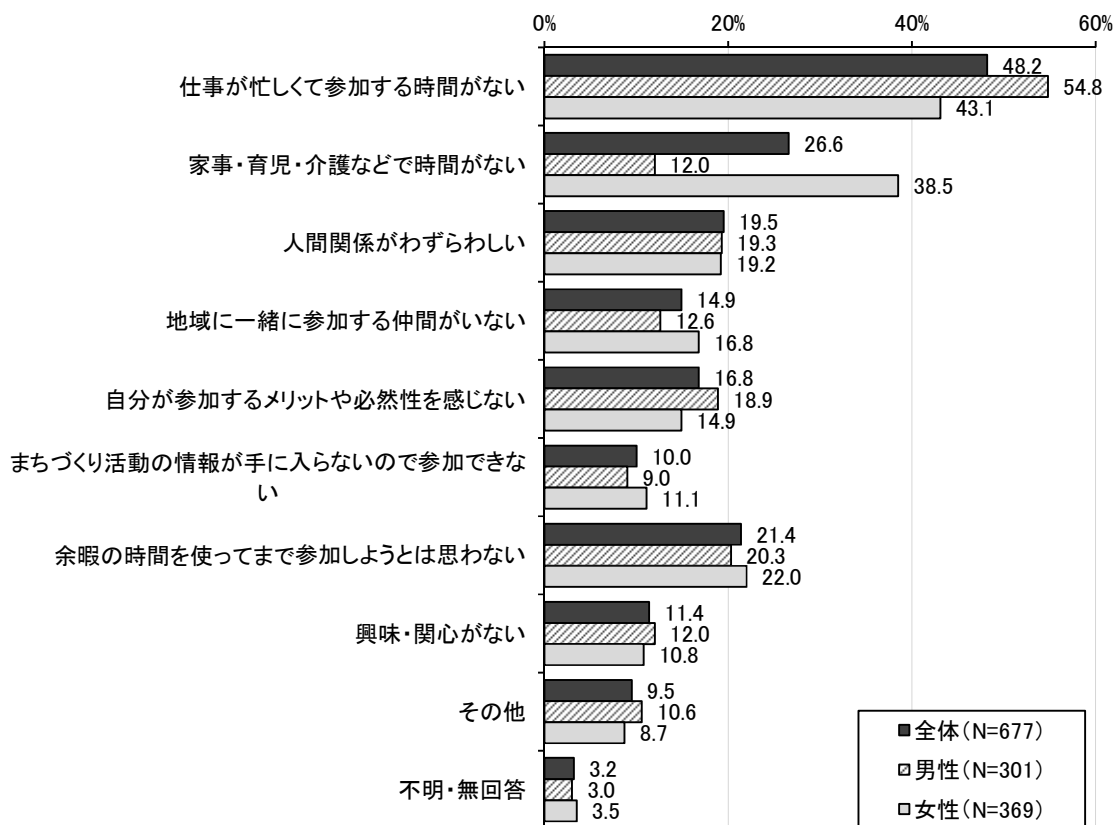
＜問 25 で「3. 参加したいと思うが参加できない」または「4. 参加したいとは思わない」と回答した方におたずねします。＞

**問 27** まちづくり活動への参加を妨げる要因はどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

まちづくり活動へ参加できない要因は、全体で「仕事が忙しくて参加する時間がない」が 48.2%と最も高く、次いで「家事・育児・介護などで時間がない」が 26.6%、「余暇の時間を使ってまで参加しようとは思わない」が 21.4%となっています。

性別では、男女ともに「仕事が忙しくて参加する時間がない」が最も高く、男性で 54.8%、女性で 43.1%となっており、男性は女性と比べて 11.7 ポイント高くなっています。

（複数回答）



## 4 幸福感について

### 4－（１）幸福度について

**問 28** 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点として、何点くらいになると思いますか。（0～10 点までの間で、1 つに○）

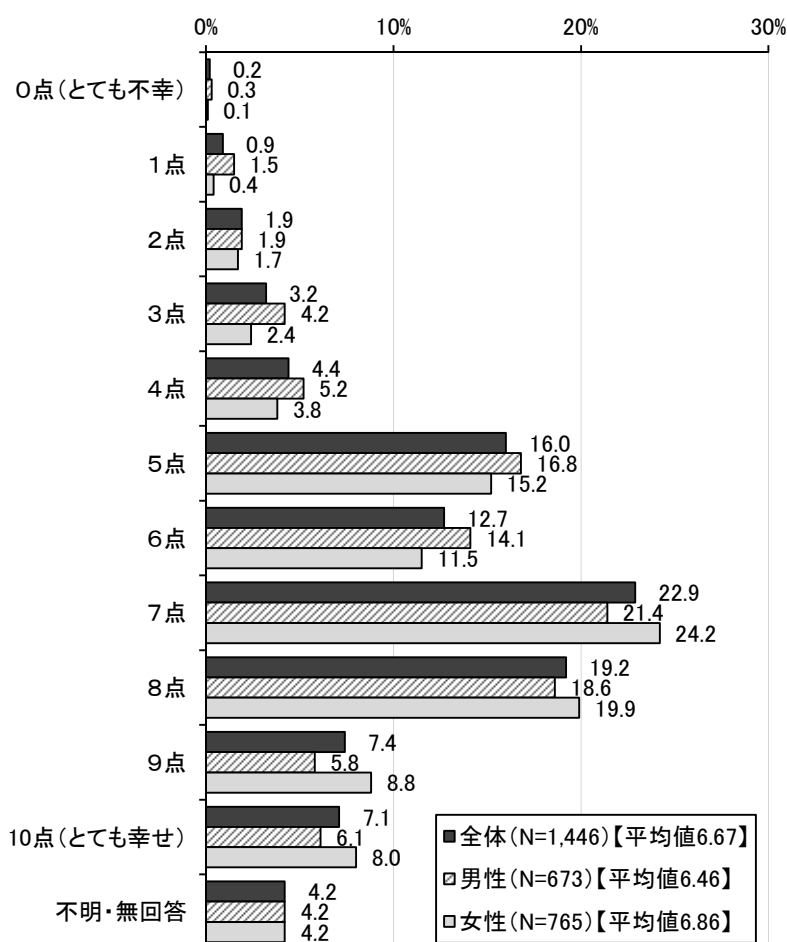
現在の幸せの程度についての平均は、全体で 6.67 点（前回平成 26 年 6.78 点）、男性で 6.46 点（前回平成 26 年 6.59 点）、女性で 6.86 点（前回平成 26 年 7.00 点）でした。

また、全体で「7 点」が 22.9%と最も高く、次いで「8 点」が 19.2%、「5 点」が 16.0%となっています。

性別では、「7 点」が男性で 21.4%、女性で 24.2%とそれぞれ最も高くなっています。

年齢別では、30～39 歳で「8 点」、それ以外の年代では「7 点」がそれぞれ最も高くなっています。

（単数回答）



■4-(1)のクロス集計(年齢別)

| 【年齢別】         | 平均点数 | 0点 [とても不幸] | 1点  | 2点  | 3点  | 4点  | 5点   |
|---------------|------|------------|-----|-----|-----|-----|------|
| 18～29歳(N=148) | 6.54 | 0.7        | 0.7 | 1.4 | 3.4 | 3.4 | 16.9 |
| 30～39歳(N=194) | 6.78 | 0.0        | 0.5 | 3.1 | 2.6 | 6.7 | 12.9 |
| 40～49歳(N=202) | 6.71 | 0.0        | 1.5 | 2.0 | 4.5 | 3.5 | 14.4 |
| 50～59歳(N=251) | 6.18 | 0.8        | 3.2 | 2.8 | 3.2 | 6.0 | 20.3 |
| 60～69歳(N=280) | 6.84 | 0.0        | 0.0 | 1.8 | 2.1 | 3.6 | 15.0 |
| 70歳以上(N=361)  | 6.86 | 0.0        | 0.0 | 0.8 | 3.6 | 3.9 | 15.8 |

| 【年齢別】         | 6点   | 7点   | 8点   | 9点  | 10点 [とても幸せ] | 不明・無回答 |
|---------------|------|------|------|-----|-------------|--------|
| 18～29歳(N=148) | 14.2 | 29.7 | 14.9 | 4.7 | 6.1         | 4.1    |
| 30～39歳(N=194) | 12.4 | 20.1 | 20.6 | 7.7 | 9.8         | 3.6    |
| 40～49歳(N=202) | 13.9 | 23.3 | 18.8 | 8.4 | 8.4         | 1.5    |
| 50～59歳(N=251) | 12.4 | 20.7 | 17.5 | 4.8 | 5.2         | 3.2    |
| 60～69歳(N=280) | 13.2 | 24.3 | 22.1 | 8.2 | 5.7         | 3.9    |
| 70歳以上(N=361)  | 11.6 | 21.3 | 19.7 | 8.9 | 7.8         | 6.6    |

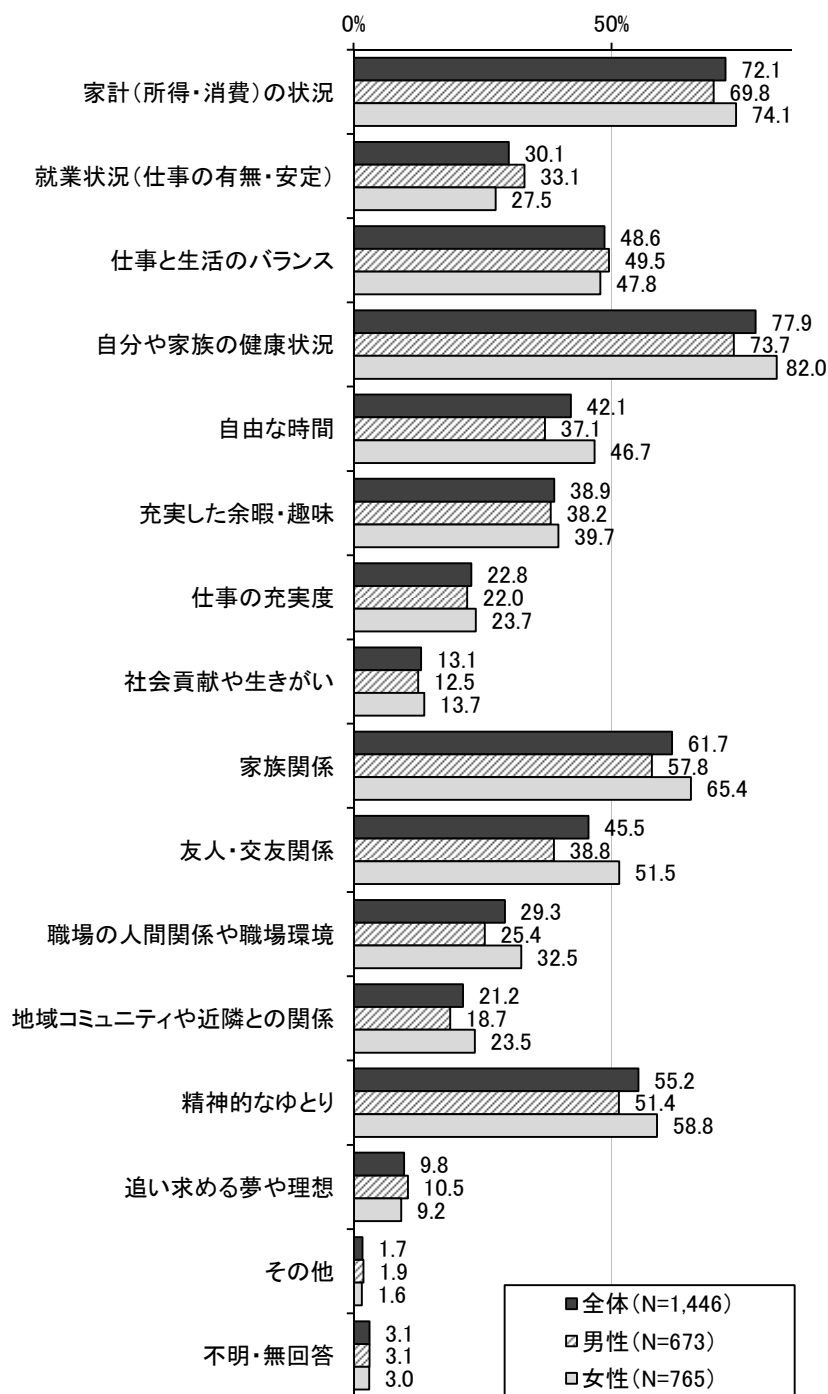
#### 4－（２）幸せであるために重要なこと

##### 問 29 あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸せであるために重要だと思うことは、全体で「自分や家族の健康状態」が 77.9%と最も高く、次いで「家計（所得・消費）の状況」が 72.1%、「家族関係」が 61.7%となっています。

性別では、男女ともに「自分や家族の健康状態」が最も高く、男性で 73.7%、女性で 82.0%となっています。

（複数回答）



## III 中学生調査

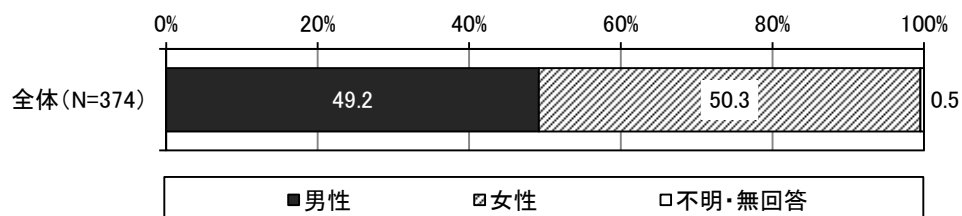
---

## (1) 性別について

### 問1 あなたの性別をお答えください。(いずれかに○)

性別について、「男性」が49.2%、「女性」が50.3%となっています。

(単数回答)

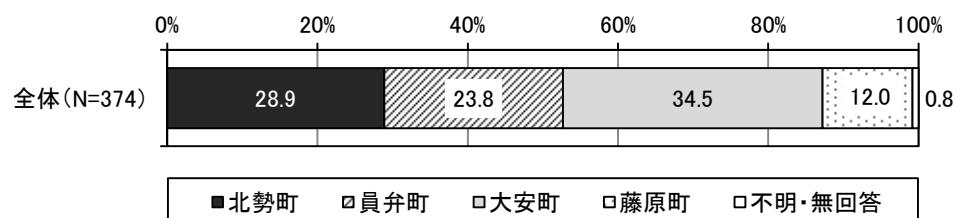


## (2) 住まいについて

### 問2 あなたがお住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

お住まいの町について、「大安町」が34.5%と最も高く、次いで「北勢町」が28.9%となっています。

(単数回答)



### (3) いなべ市のイメージについて

**問3** いなべ市のイメージ(印象)について、どう思いますか。(1～8までの項目について、それぞれあてはまるもの1つに○)

いなべ市のイメージ(印象)について、「明るいまちである」「住みよい(住みやすそうな)まちである」「ふれあいや連帯感のあるあたたかなまちである」「清潔なまちである」「郷土に誇りを持っているまちである」「活気のあるまちである」で「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』が6割を超えています。

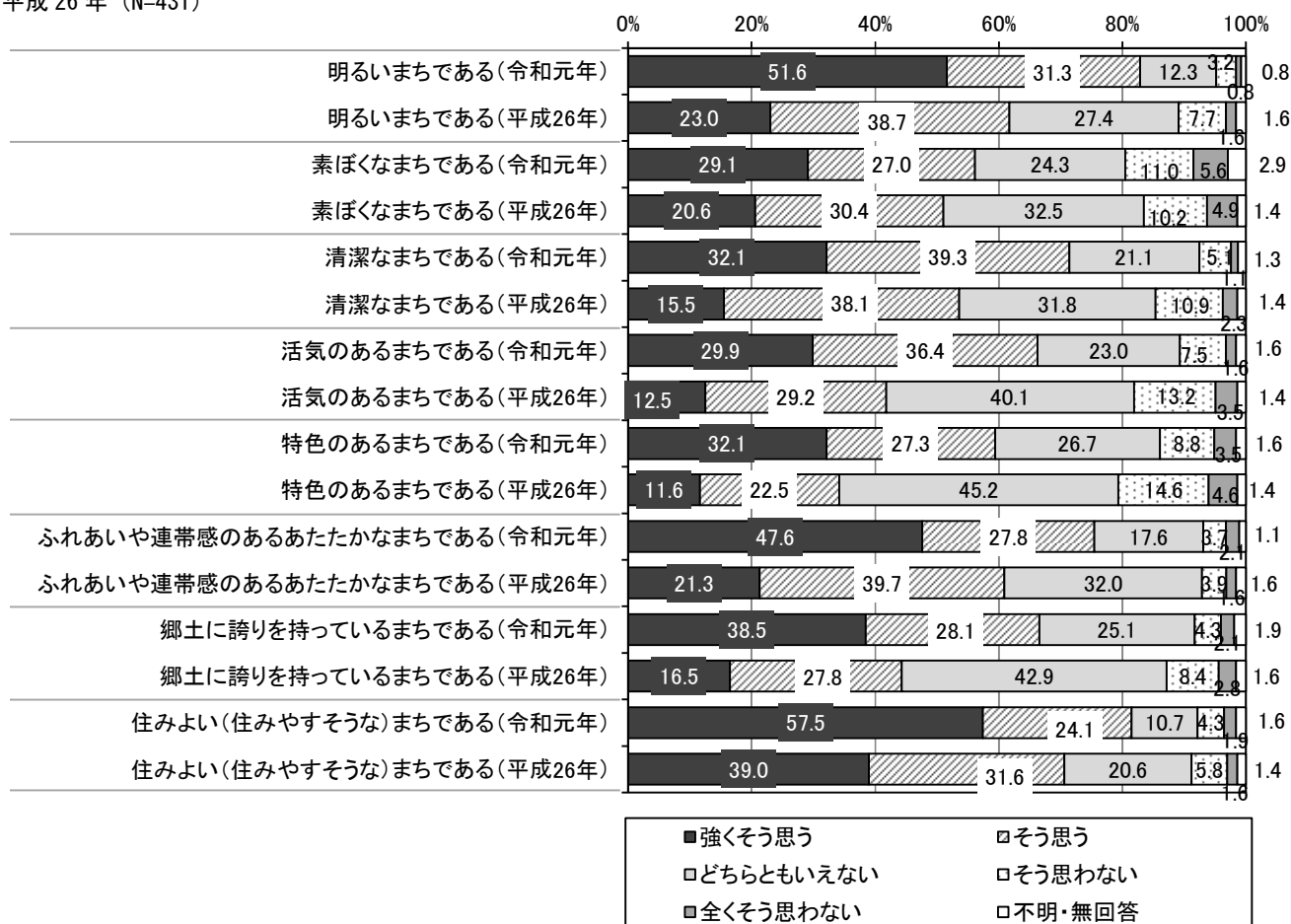
一方で、「素朴なまちである」「特色のあるまちである」で「さほど思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が1割を超えています。

経年で比較すると、全体的に「強くそう思う」が高くなっており、中でも「明るいまちである」「ふれあいや連帯感のあるあたたかなまちである」「郷土に誇りを持っているまちである」「特色のあるまちである」は、20ポイント以上高くなっています。

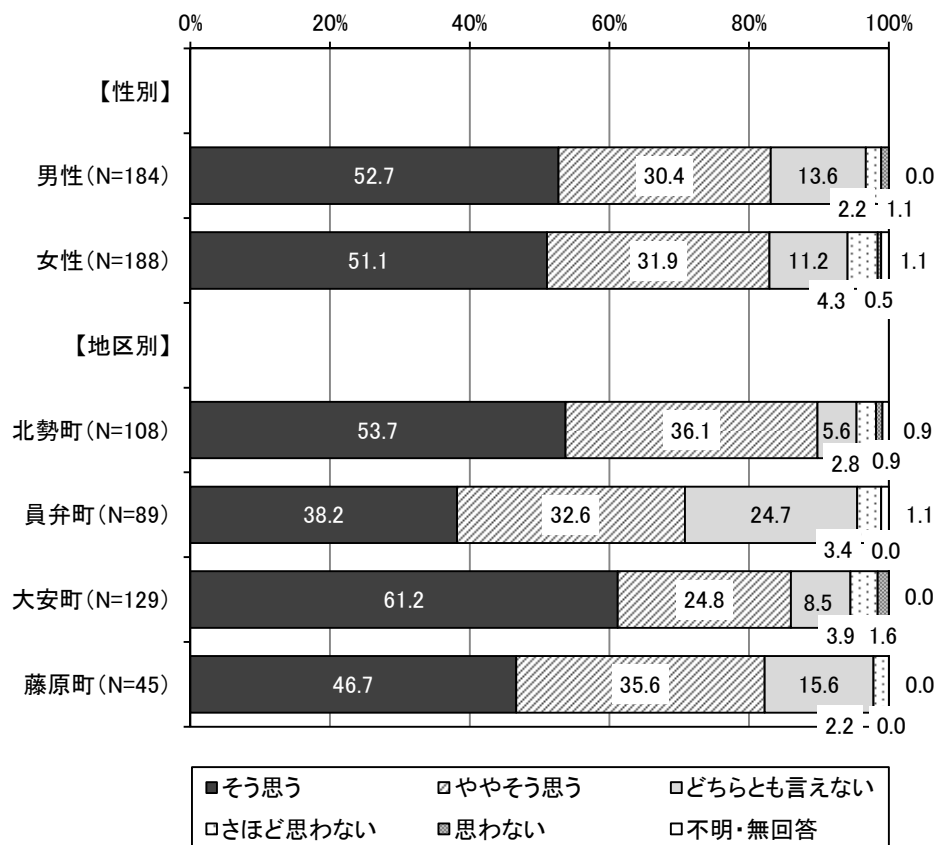
(単数回答)

令和元年 (N=374)

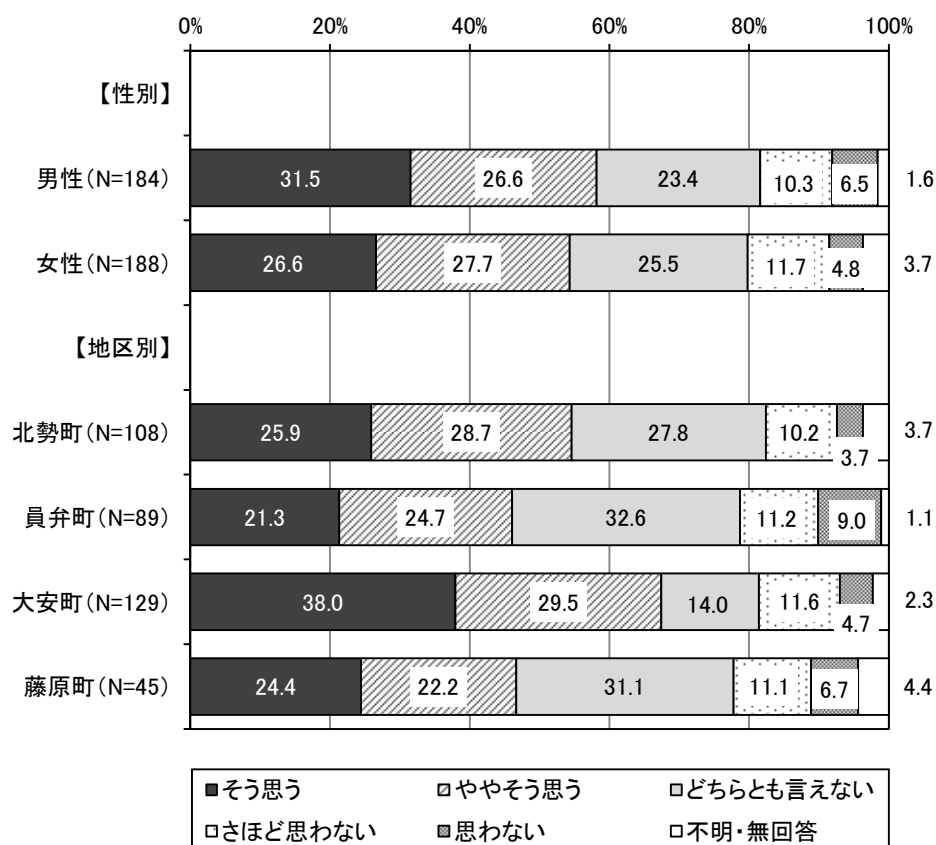
平成26年 (N=431)



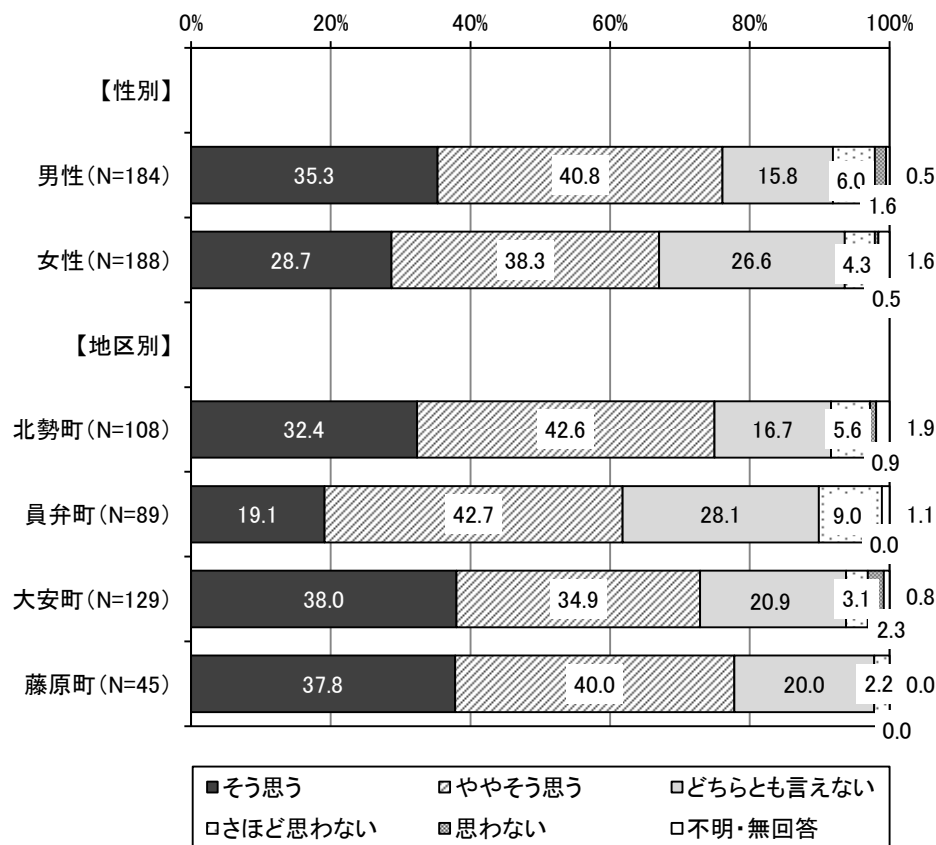
### ■3「1. 明るいまちである」のクロス集計(性別・地区別)



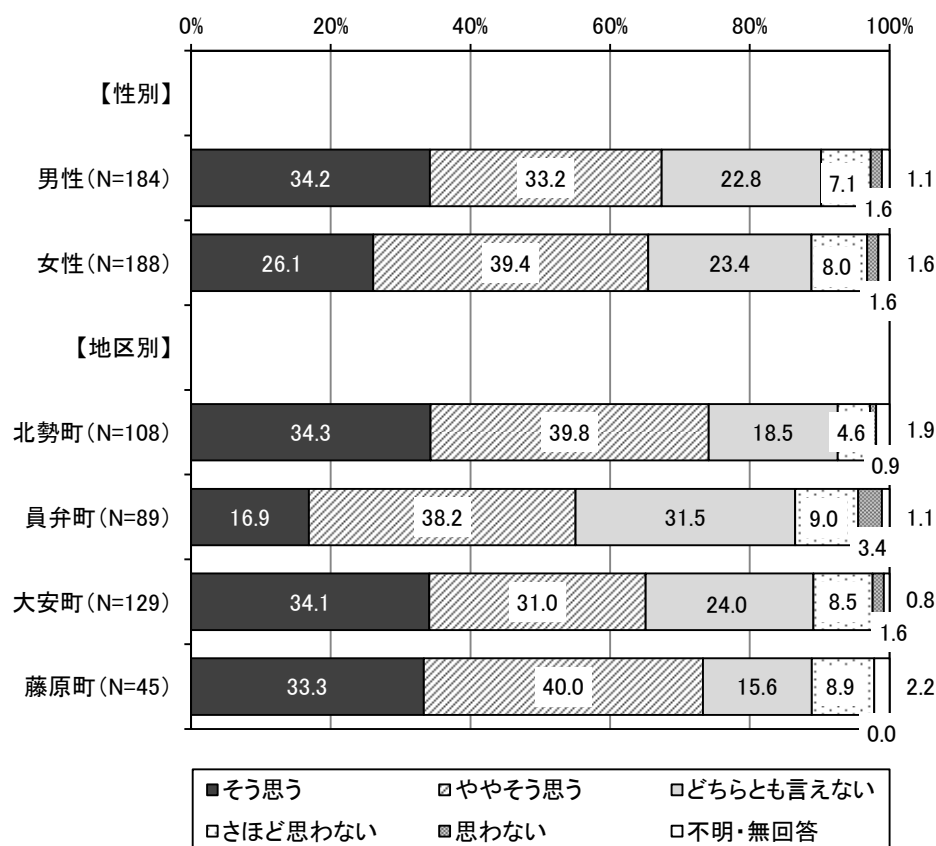
### ■3「2. 素朴なまちである」のクロス集計(性別・地区別)



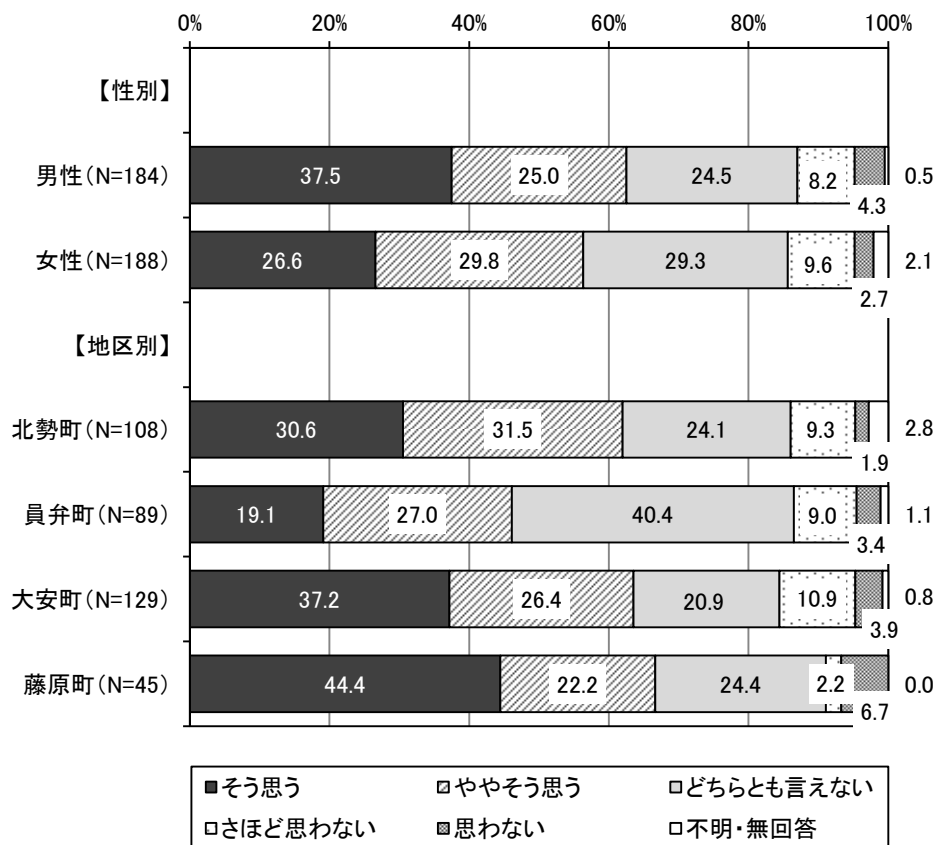
### ■3「3. 清潔なまちである」のクロス集計(性別・地区別)



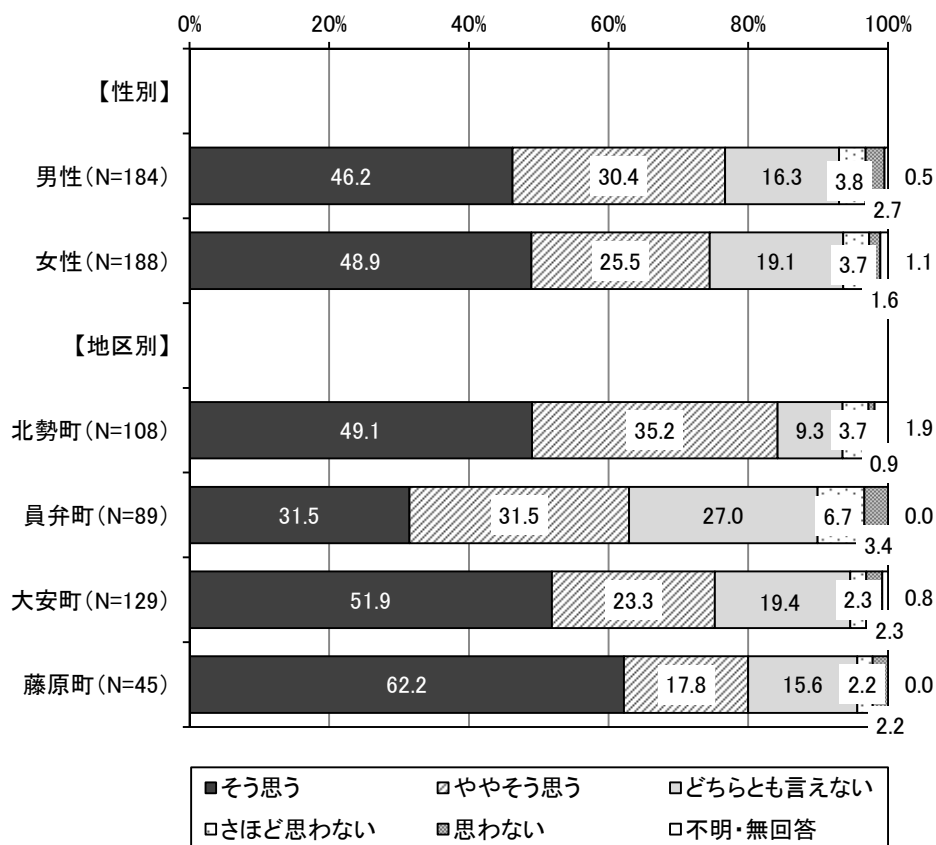
### ■3「4. 活気のあるまちである」のクロス集計(性別・地区別)



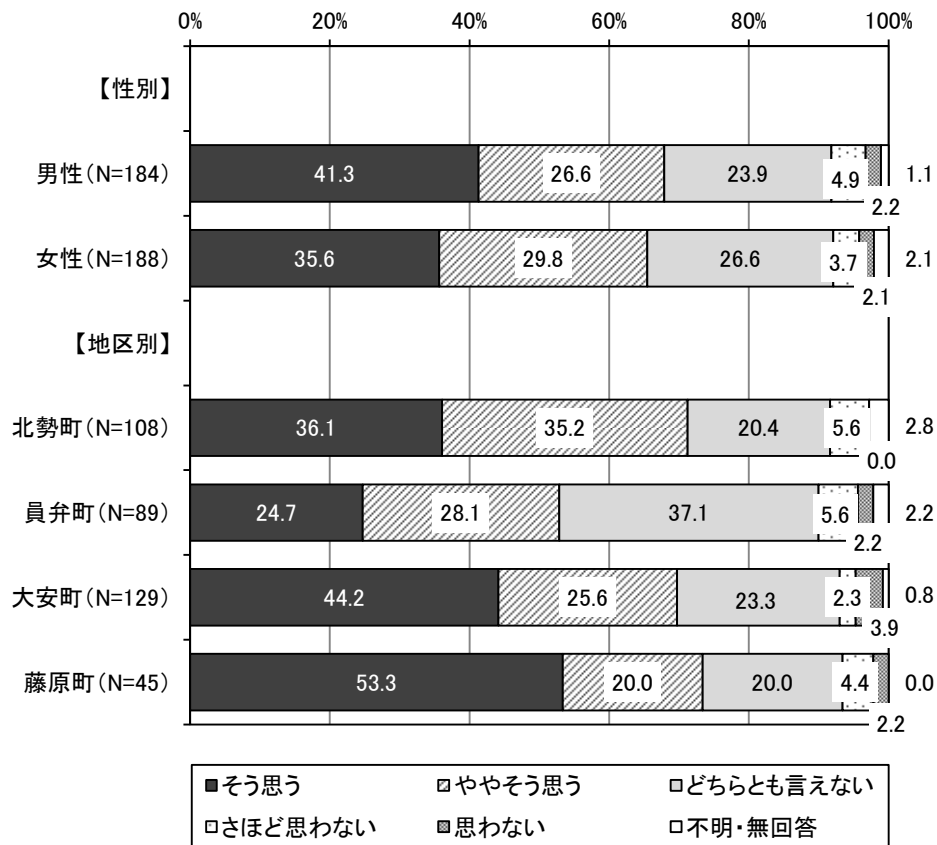
### ■3「5. 特色のあるまちである」のクロス集計(性別・地区別)



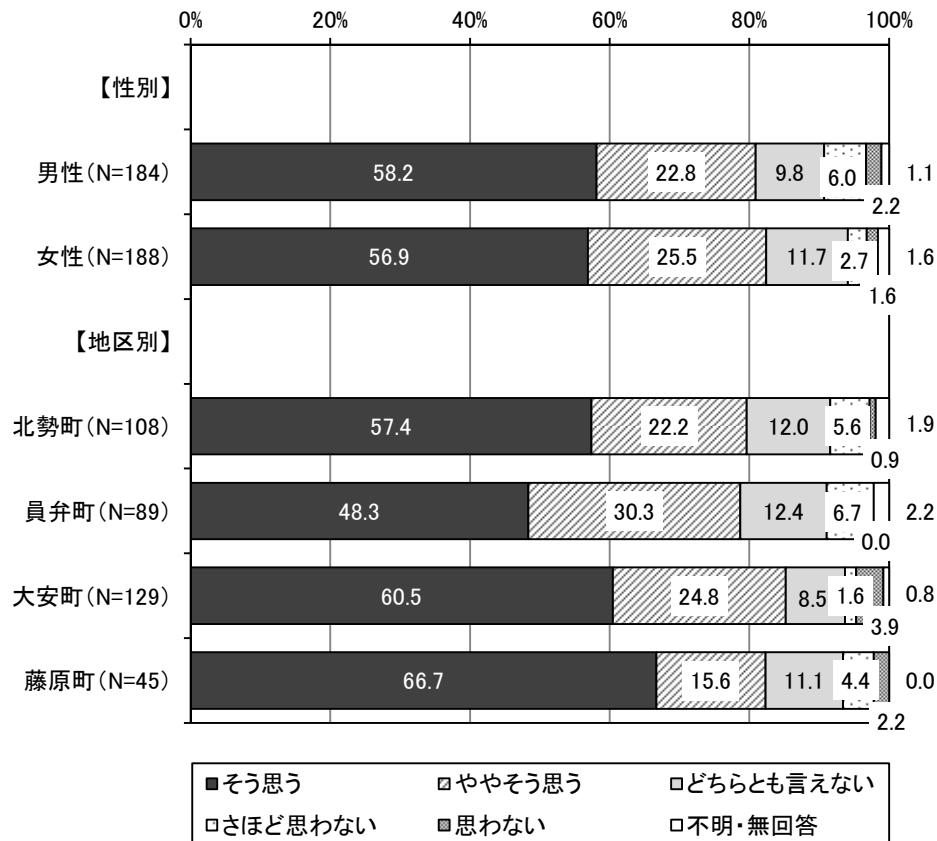
### ■3「6. ふれあいや連帯感のあるあたたかなまちである」のクロス集計(性別・地区別)



■3「7. 郷土に誇りを持っているまちである」のクロス集計(性別・地区別)



■3「8. 住みよい(住みやすそうな)まちである」のクロス集計(性別・地区別)



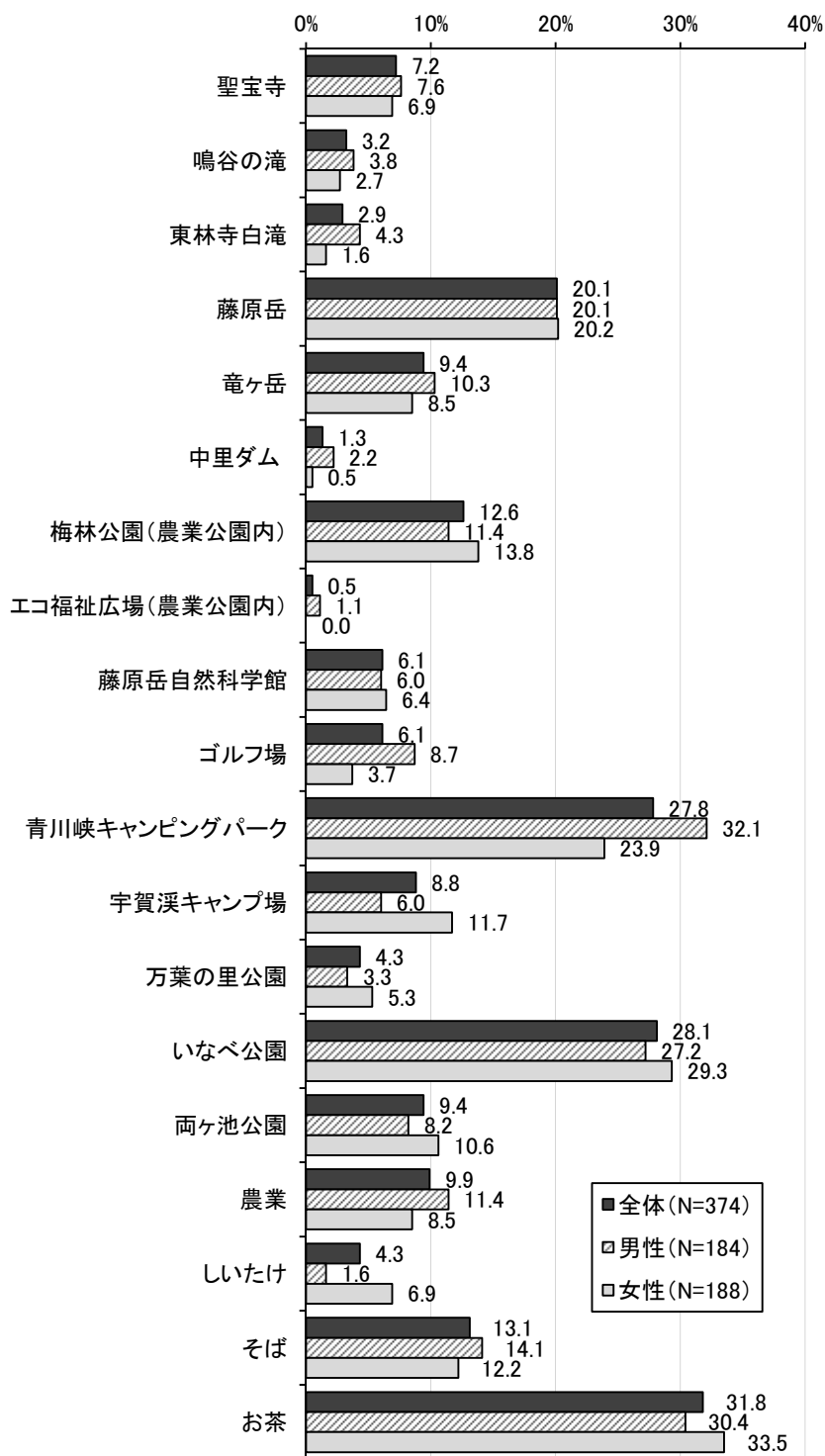
#### (4) いなべ市が誇れるもの・魅力について

##### 問4 いなべ市が誇れるもの、あるいは魅力には何がありますか。(〇は3つ)

いなべ市が誇れるもの、あるいは魅力について、全体では「お茶」が31.8%と最も高く、次いで「いなべ公園」が28.1%、「青川峡キャンプパーク」が27.8%、「藤原岳」が20.1%となっています。

性別では、男性が「青川峡キャンプパーク」が32.1%、女性が「お茶」が33.5%とそれぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



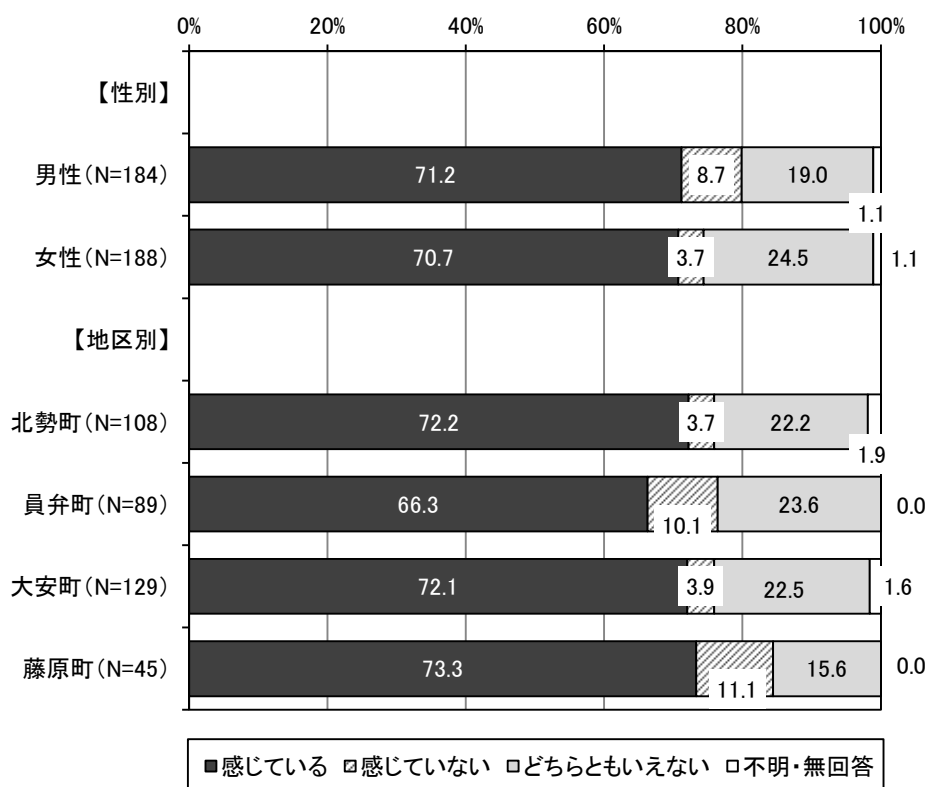
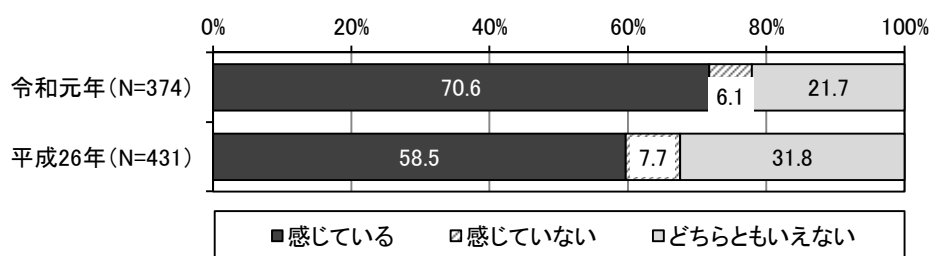
## （５）いなべ市への愛着や親しみについて

### 問5 いなべ市に愛着、親しみを感じますか。（○は1つ）

いなべ市に愛着、親しみを感じるかについて、「感じている」が 70.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 21.7%となっています。

前回調査と比較すると「感じている」が 12.1 ポイント高くなっています。

（単数回答）



## （６）いなべ市での住みやすさについて

### 問6 あなたは、いなべ市の住みやすさについてどのように感じますか。（○は1つ）

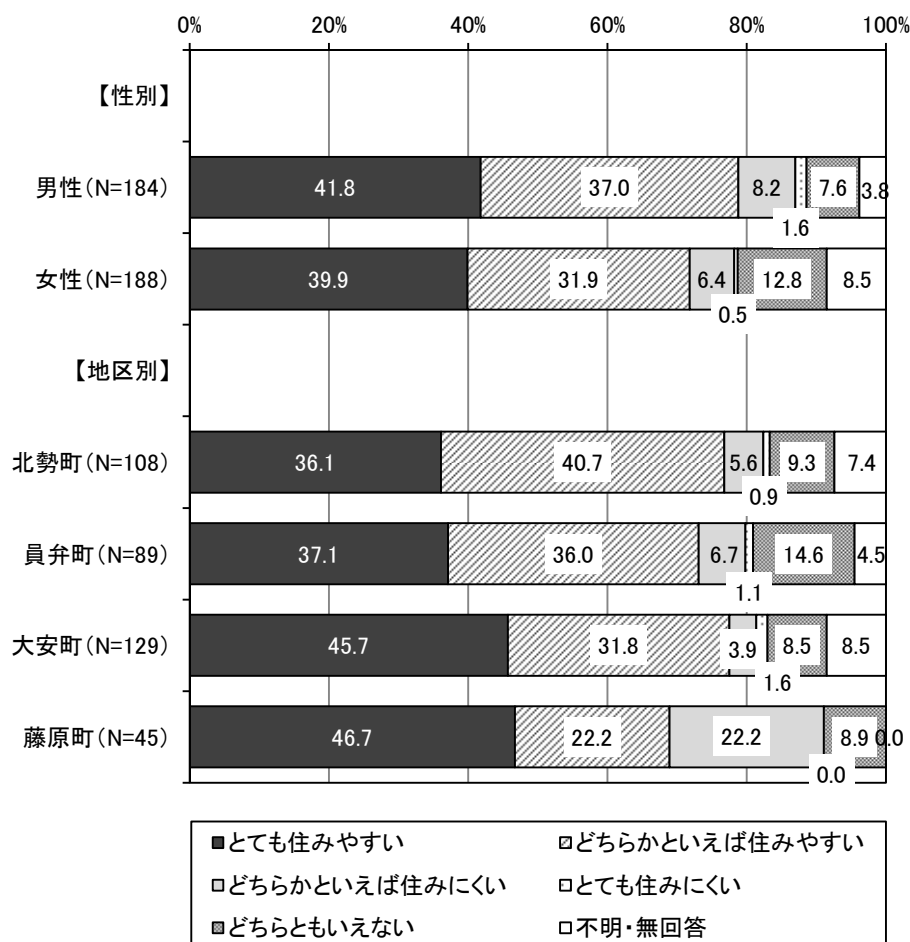
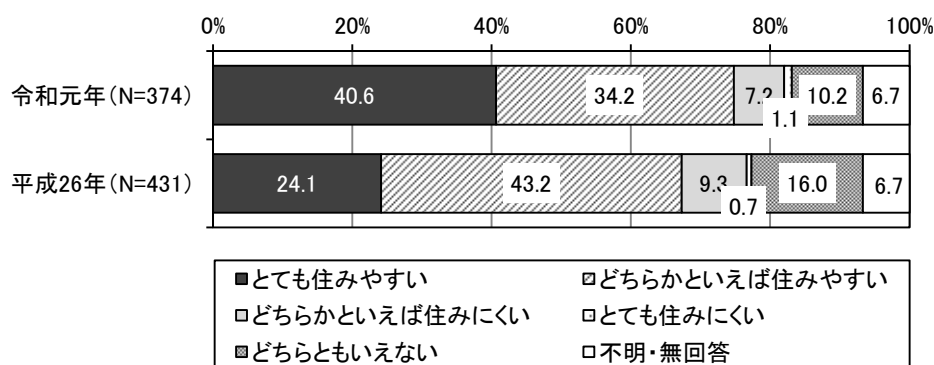
いなべ市の住みやすさについて、「とても住みやすい」が 40.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みやすい」34.2%となっています。

前回調査と比べると「とても住みやすい」が 16.5 ポイント高くなっています。

性別では、男性は「とても住みやすい」41.8%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が 37.0%、女性は「とても住みやすい」が 39.9%、次いで「どちらかといえば住みやすい」が 31.9%となっています。

地区別では、大安町、北勢町、員弁町で「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が 7 割を超えています。

（単数回答）



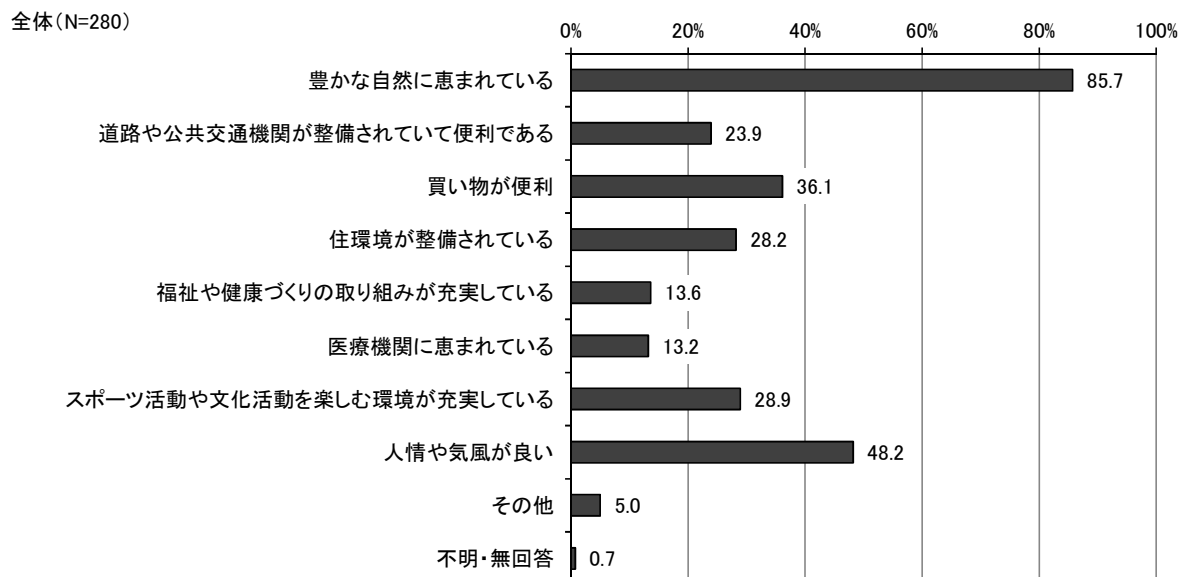
## （７）住みやすい理由について

＜問6で「1. とても住みやすい」または「2. どちらかといえば住みやすい」と回答した方におたずねします。＞

### 問7 住みやすいと感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

住みやすいと感じる理由について、「豊かな自然に恵まれている」が 85.7%と最も高く、次いで「人情や気風が良い」が 48.2%となっています。

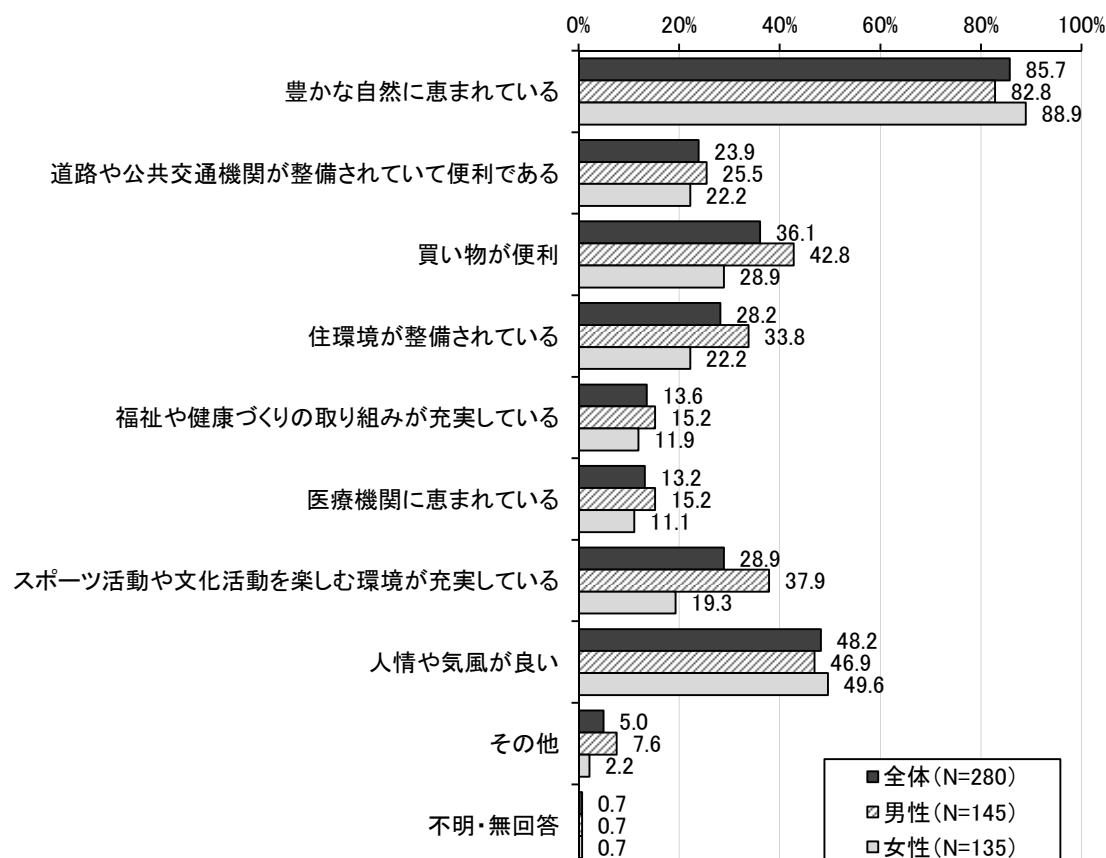
（複数回答）



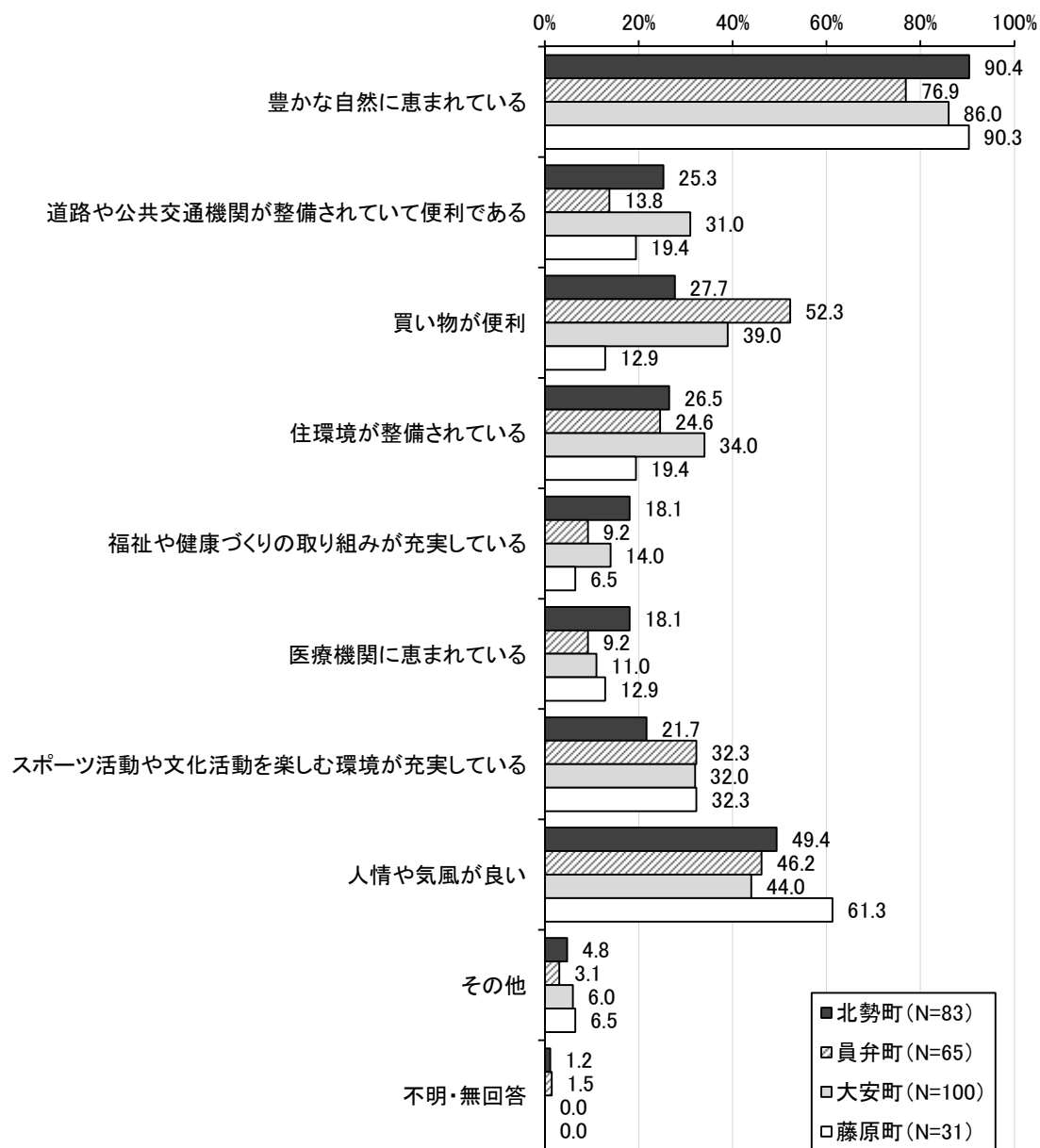
性別では、男女とも「豊かな自然に恵まれている」が８割を超え最も高く、次いで「人情や気風が良い」が５割弱となっています。

地区別では、全地区で「豊かな自然に恵まれている」最も高く、特に北勢町と藤原町では９割を超えています。次いで、北勢町、藤原町、大安町は「人情や気風が良い」、員弁町は「買い物が便利」が高くなっています。

## ■7 のクロス集計(性別)



## ■7 のクロス集計(地区別)



## （８）住みにくい理由について

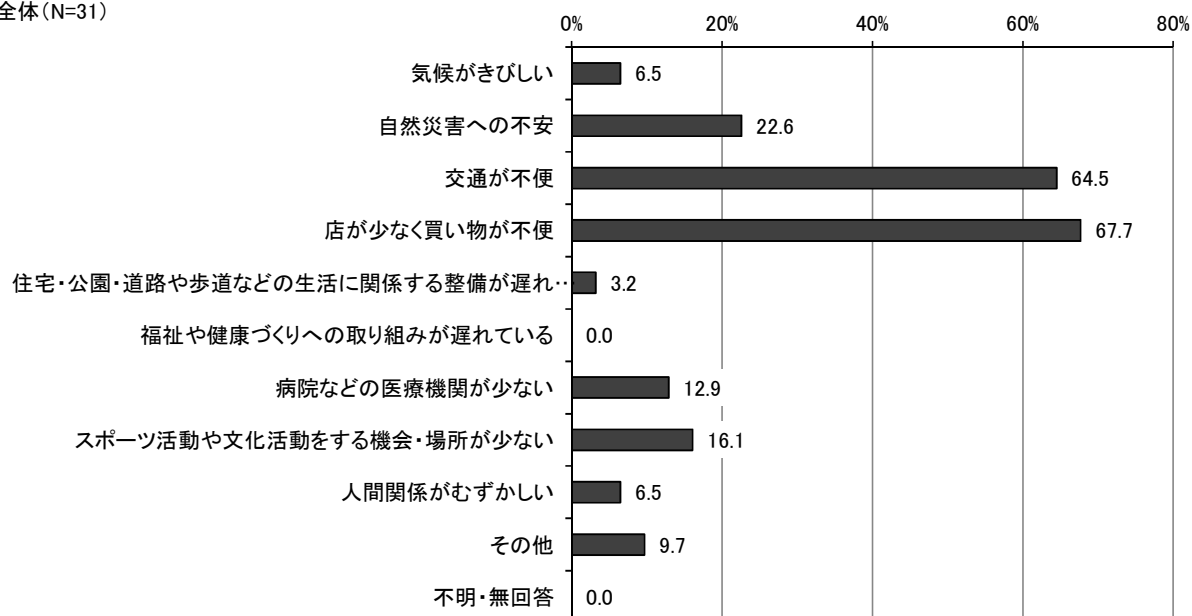
＜問6で「3. どちらかといえば住みにくい」または「4. とても住みにくい」と回答した方におたずねします。＞

**問8** 住みにくいと感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

住みにくいと感じる理由について、「店が少なく買い物が不便」が 67.7%と最も高く、次いで「交通が不便」が 64.5%となっています。

（複数回答）

全体(N=31)



## （９）いなべ市での永住について

### 問9 あなたは、いなべ市の地域内でずっと住みたいですか。（○は1つ）

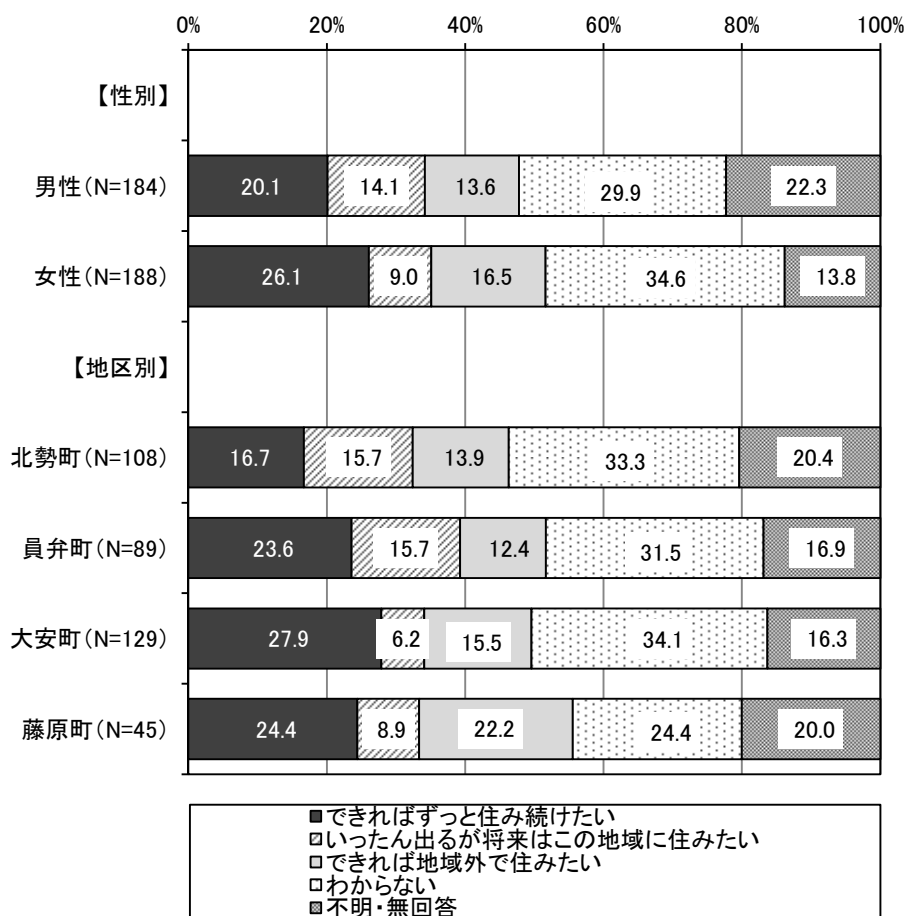
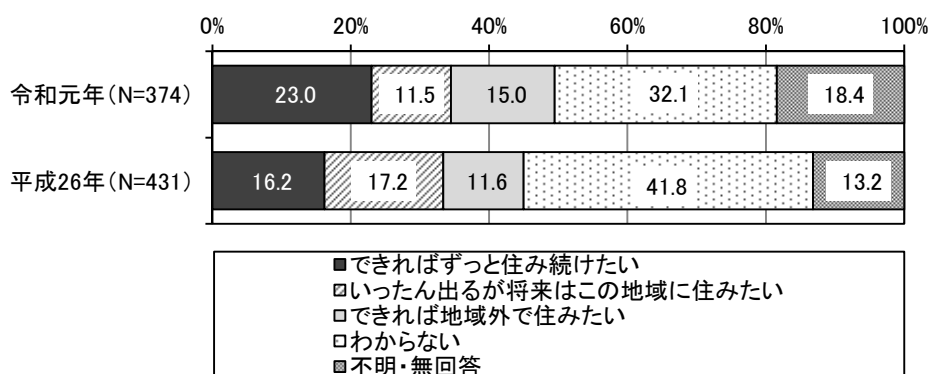
いなべ市でずっと住みたいかについて、「わからない」が32.1%と最も高く、次いで「できればずっと住みたい」が23.0%となっています。

前回調査と比べると「できればずっと住みたい」が6.8ポイント高くなっています。

性別では、「わからない」が男性は29.9%、女性は34.6%と最も高くなっています。次いで男女とも「できればずっと住みたい」が高くなっています。

地区別では、全ての地区で「わからない」が最も高くなっています。藤原町では「できればずっと住みたい」が24.4%と「わからない」と同率で最も高くなっています。

（単数回答）

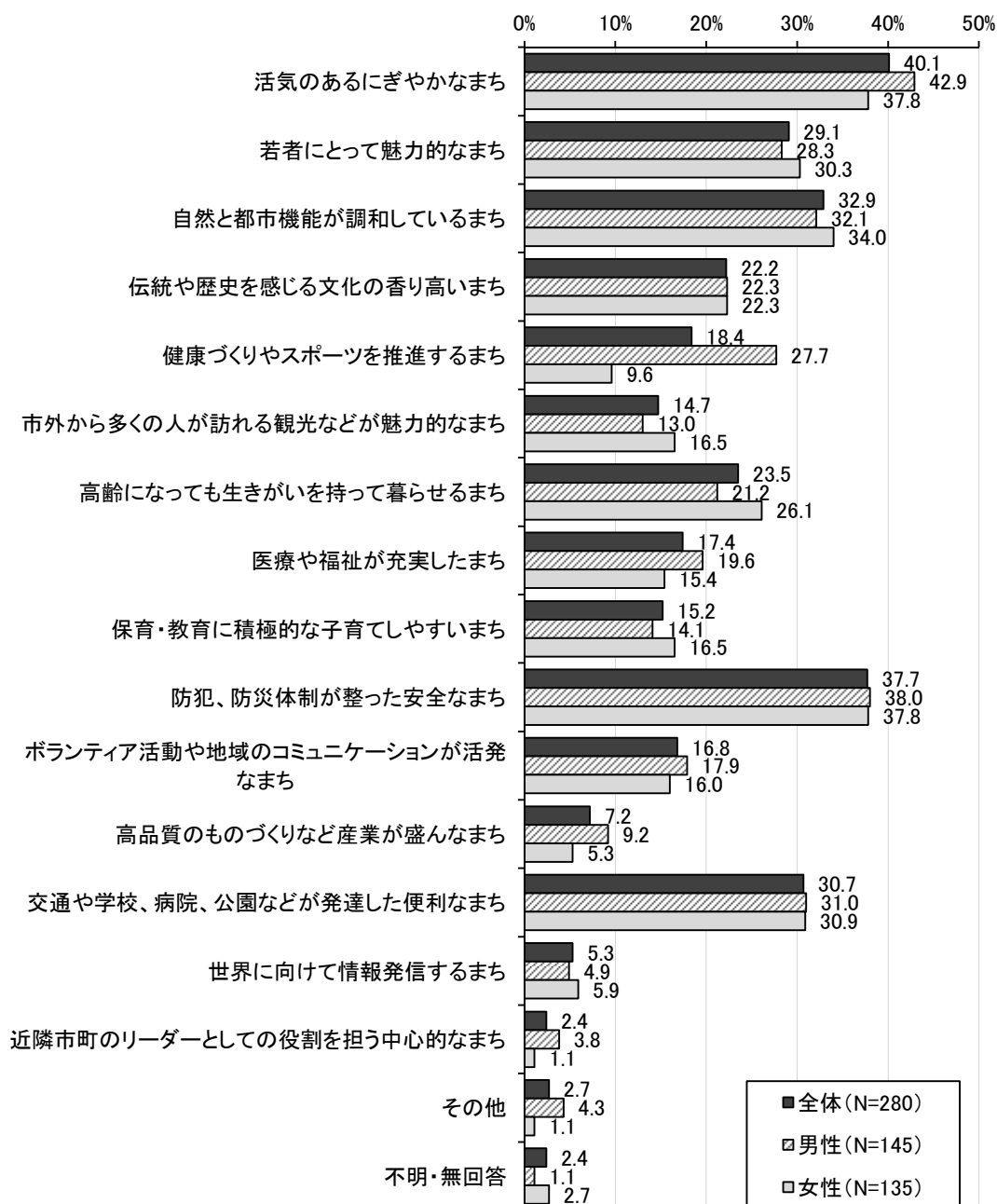


## (10) いなべ市の将来について

### 問 10 あなたは、いなべ市がどのようなまちになってほしいと思いますか。(あてはまる主なものを3つまでに○)

いなべ市がどのようなまちになってほしいと思うかについて、全体では「活気のあるにぎやかなまち」が40.1%と最も高く、次いで「防災、防犯体制が整った安全なまち」が37.7%、「自然と都市機能が調和しているまち」が32.9%となっています。

(複数回答)



地区別では、全地区で「活気のあるにぎやかなまち」がそれぞれ最も高く、員弁町では「防災、防犯体制が整った安全なまち」も同率で最も高くなっています。

## ■10 のクロス集計(地区別)

| 【地区別】      | 活気のあるにぎやかなまち | 若者にとって魅力的なまち | 自然と都市機能が調和しているまち | 伝統や歴史を感じる文化の香り高いまち | 健康づくりやスポーツを推進するまち | 市外から多くの人が訪れる観光などが魅力的なまち | 高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち | 医療や福祉が充実したまち | 保育・教育に積極的な子育てしやすいまち |
|------------|--------------|--------------|------------------|--------------------|-------------------|-------------------------|-----------------------|--------------|---------------------|
| 北勢町(N=108) | 44.4         | 31.5         | 30.6             | 24.1               | 18.5              | 16.7                    | 25.9                  | 16.7         | 18.5                |
| 員弁町(N=89)  | 38.2         | 24.7         | 34.8             | 19.1               | 20.2              | 13.5                    | 30.3                  | 27.0         | 11.2                |
| 大安町(N=129) | 38.0         | 30.2         | 37.2             | 24.8               | 17.8              | 11.6                    | 17.1                  | 11.6         | 17.1                |
| 藤原町(N=45)  | 40.0         | 28.9         | 24.4             | 15.6               | 17.8              | 22.2                    | 24.4                  | 17.8         | 11.1                |

| 【地区別】      | 防犯、防災体制が整った安全なまち | ボランティア活動や地域のコミュニケーションが活発なまち | 高品質のものづくりなど産業が盛んなまち | 交通や学校、病院、公園などが発達した便利なまち | 世界に向けて情報発信するまち | 近隣市町のリーダーとしての役割を担う中心的なまち | その他 | 不明・無回答 |
|------------|------------------|-----------------------------|---------------------|-------------------------|----------------|--------------------------|-----|--------|
| 北勢町(N=108) | 43.5             | 14.8                        | 12.0                | 34.3                    | 10.2           | 3.7                      | 3.7 | 2.8    |
| 員弁町(N=89)  | 38.2             | 16.9                        | 7.9                 | 30.3                    | 4.5            | 0.0                      | 2.2 | 1.1    |
| 大安町(N=129) | 34.9             | 22.5                        | 3.9                 | 29.5                    | 2.3            | 3.1                      | 2.3 | 2.3    |
| 藤原町(N=45)  | 33.3             | 6.7                         | 4.4                 | 28.9                    | 4.4            | 2.2                      | 2.2 | 0.0    |

## (11) 学校や地域での生活について

**問 11** あなたは、以下の項目にあるような学校や地域での生活についてどう思いますか。(1～5までの項目について、それぞれあてはまるもの1つに○)

学校や地域での生活について、「学校生活は楽しい」「地域の祭や行事などを楽しみにしている」「5. 近所の人をみかけたらあいさつをしている」が7割を超えています。

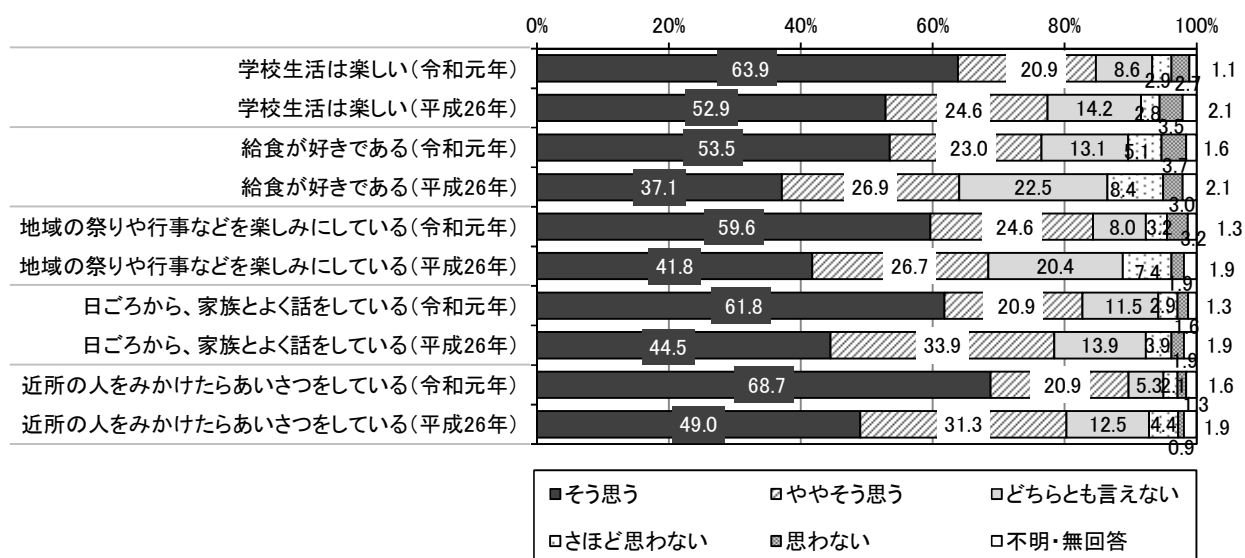
それに対し、「給食が好きである」「近所の人をみかけたらあいさつをしている」で「さほど思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が1割を超えています。

前回調査と比べると、全ての項目で『思う』の割合が高くなっています。

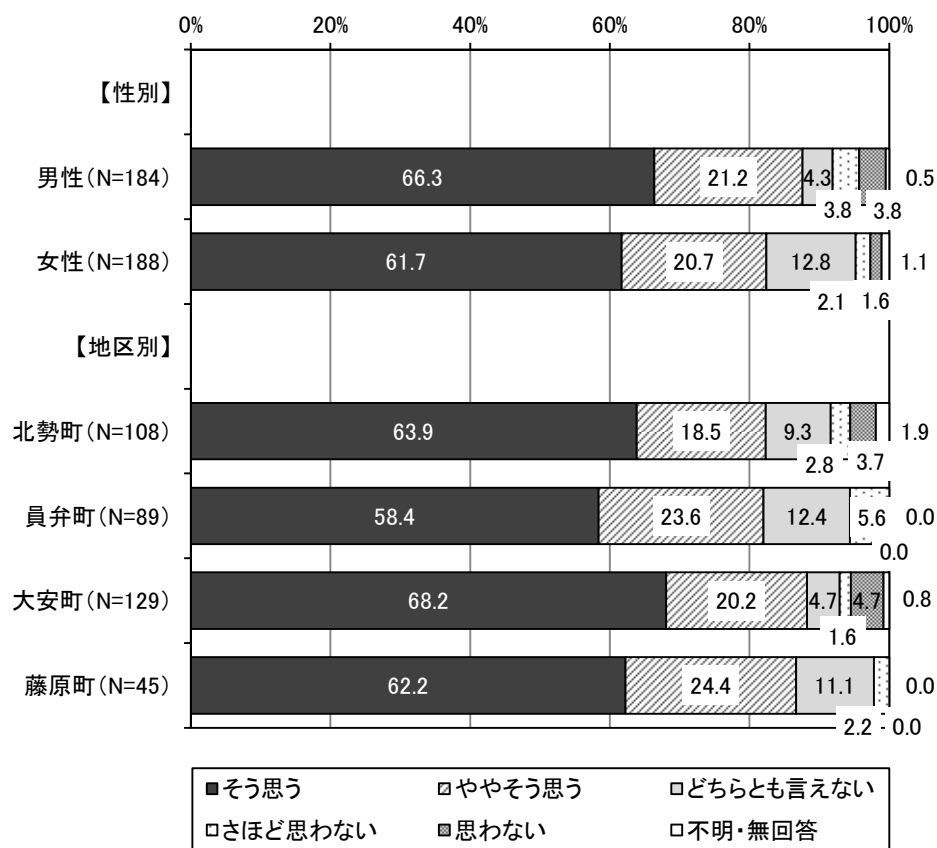
(単数回答)

令和元年(N=374)

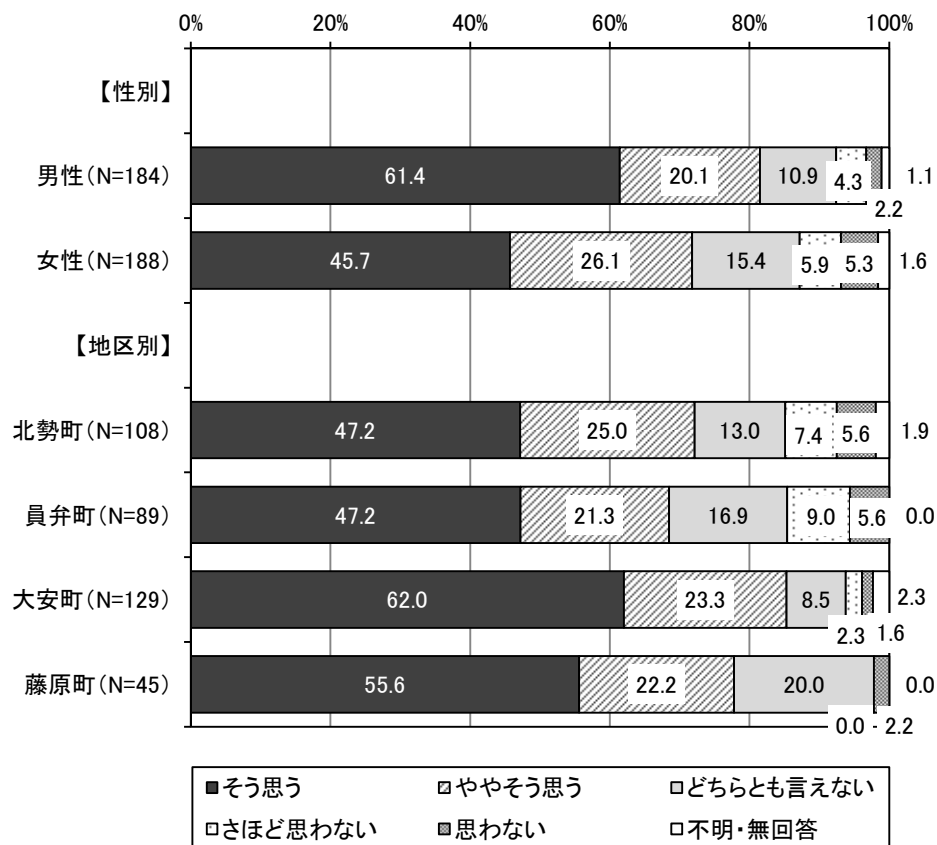
平成26年(N=431)



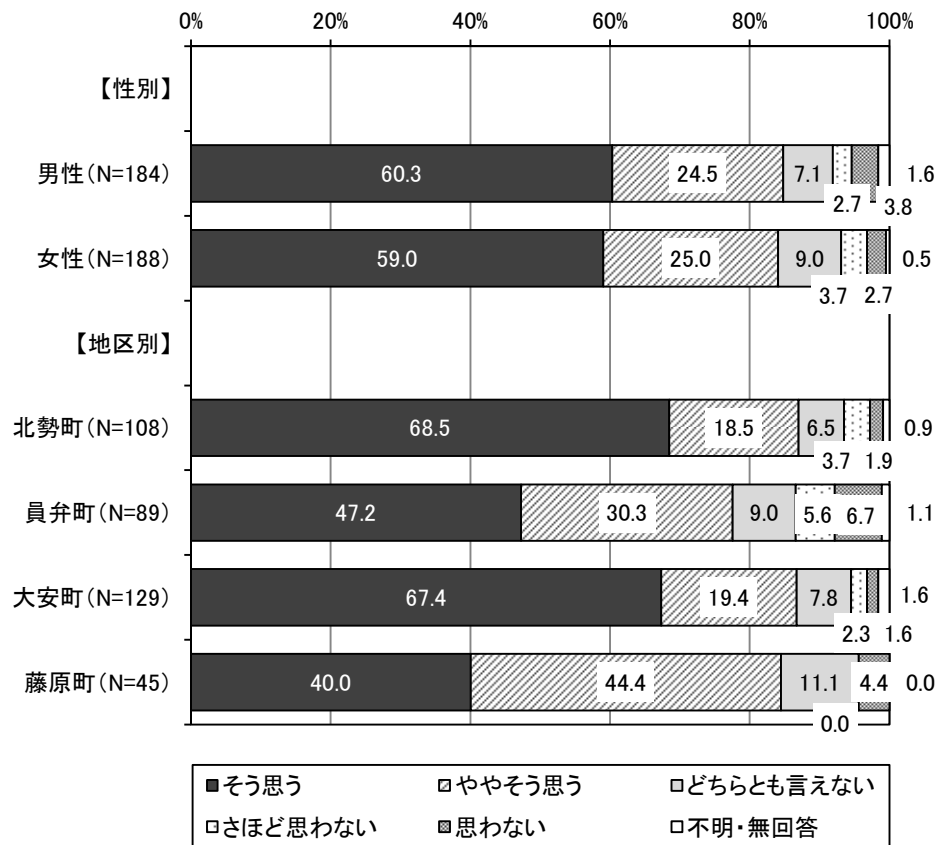
## ■11「1. 学校生活は楽しい」のクロス集計(性別・地区別)



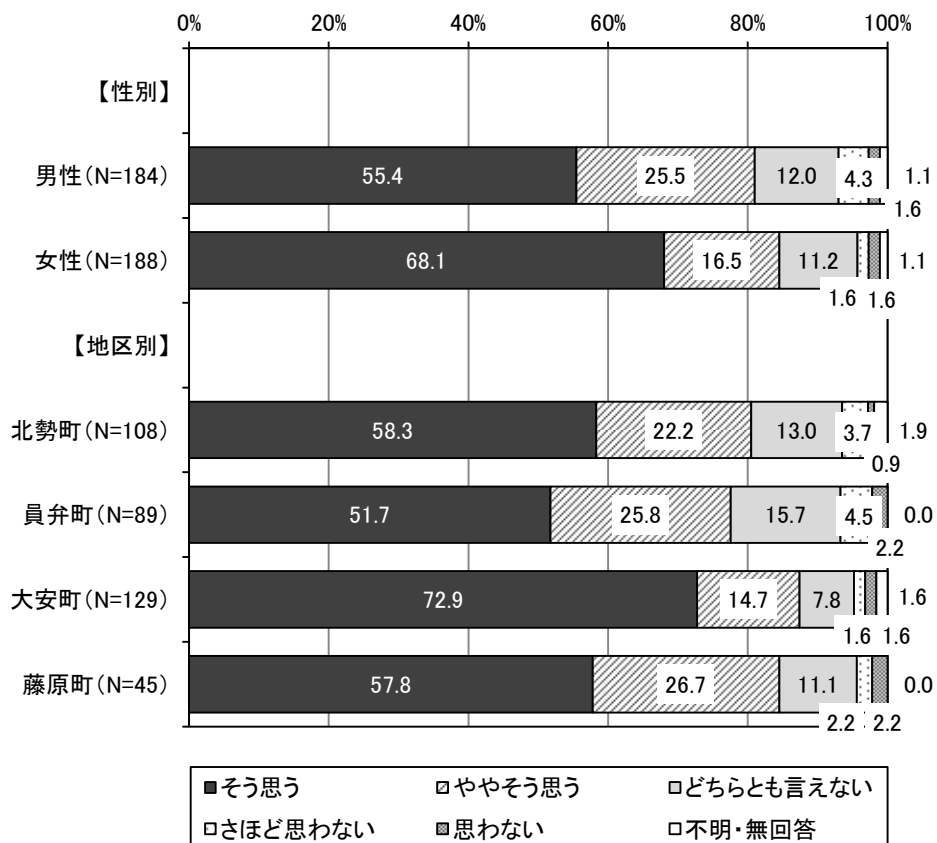
## ■11「2. 給食が好きである」のクロス集計(性別・地区別)



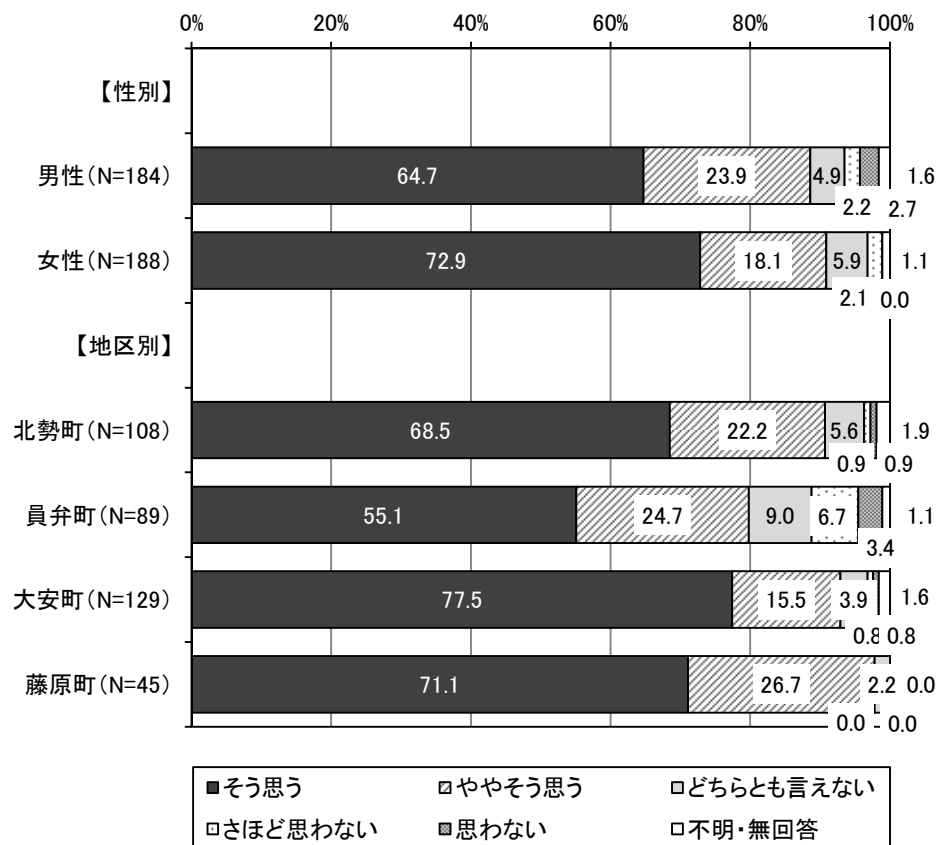
■ 11「3. 地域の祭りや行事などを楽しみにしている」のクロス集計(性別・地区別)



■ 11「4. 日ごろから、家族とよく話をしている」のクロス集計(性別・地区別)



■11「5. 近所の人をみかけたらあいさつをしている」のクロス集計(性別・地区別)



## (12) 幸福度について

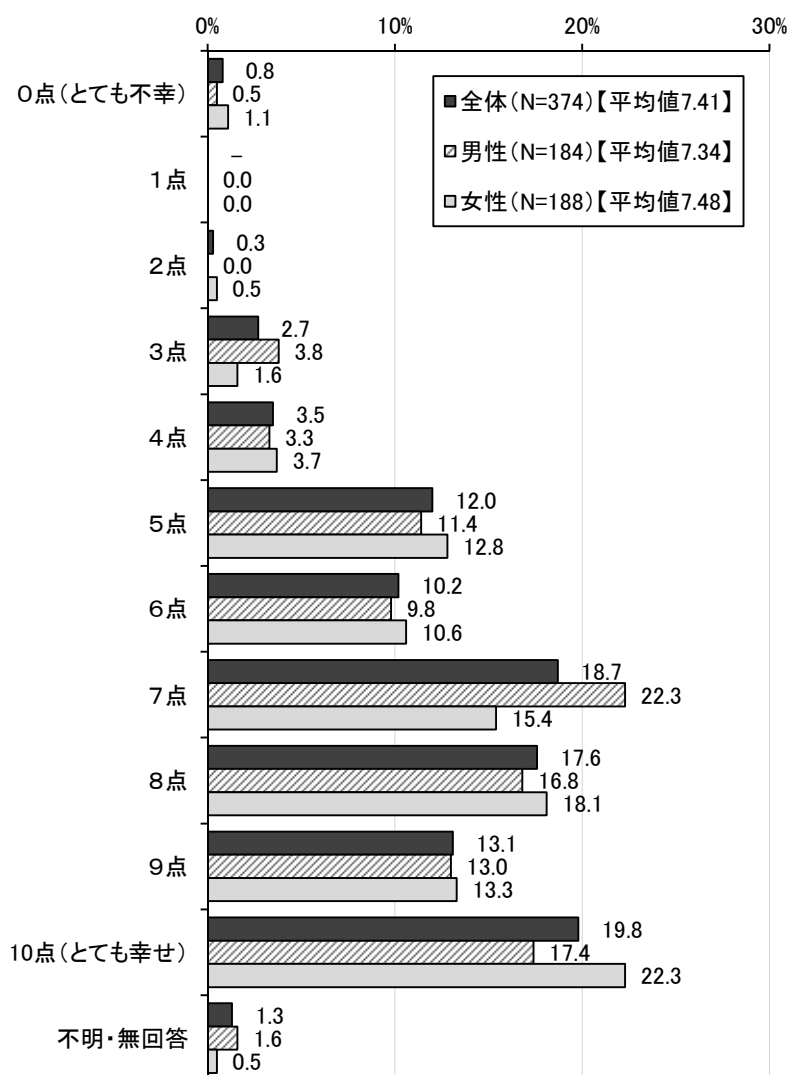
**問 13** 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点として、何点くらいになると思いますか。(0～10 点までの間で、1 つに○)

幸福度については、全体の平均は 7.41 点（前回調査 7.06 点）でした。また、「10 点」が 19.8%と最も高く、次いで「7 点」が 18.7%となっています。

性別では、男性は「7 点」が 22.3%と最も高く、次いで「10 点」17.4%となっています。女性は「10 点」が 22.3%と最も高く、次いで「8 点」が 18.1%となっています。

地区別では、大安町、藤原町、員弁町は「10 点」が、北勢町は「8」がそれぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



■ 13 のクロス集計(性別・地区別)

|            | 0点   | 1点   | 2点   | 3点   | 4点   | 5点     |
|------------|------|------|------|------|------|--------|
| 【地区別】      |      |      |      |      |      |        |
| 北勢町(N=108) | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 2.8  | 4.6  | 10.2   |
| 員弁町(N=89)  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 3.4  | 4.5  | 12.4   |
| 大安町(N=129) | 2.3  | 0.0  | 0.8  | 1.6  | 1.6  | 10.1   |
| 藤原町(N=45)  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 4.4  | 4.4  | 22.2   |
|            |      |      |      |      |      |        |
|            | 6点   | 7点   | 8点   | 9点   | 10点  | 不明・無回答 |
| 【地区別】      |      |      |      |      |      |        |
| 北勢町(N=108) | 10.2 | 23.1 | 24.1 | 13.0 | 12.0 | 0.0    |
| 員弁町(N=89)  | 14.6 | 12.4 | 15.7 | 15.7 | 19.1 | 2.2    |
| 大安町(N=129) | 7.8  | 20.2 | 17.1 | 11.6 | 25.6 | 1.6    |
| 藤原町(N=45)  | 8.9  | 17.8 | 6.7  | 11.1 | 24.4 | 0.0    |

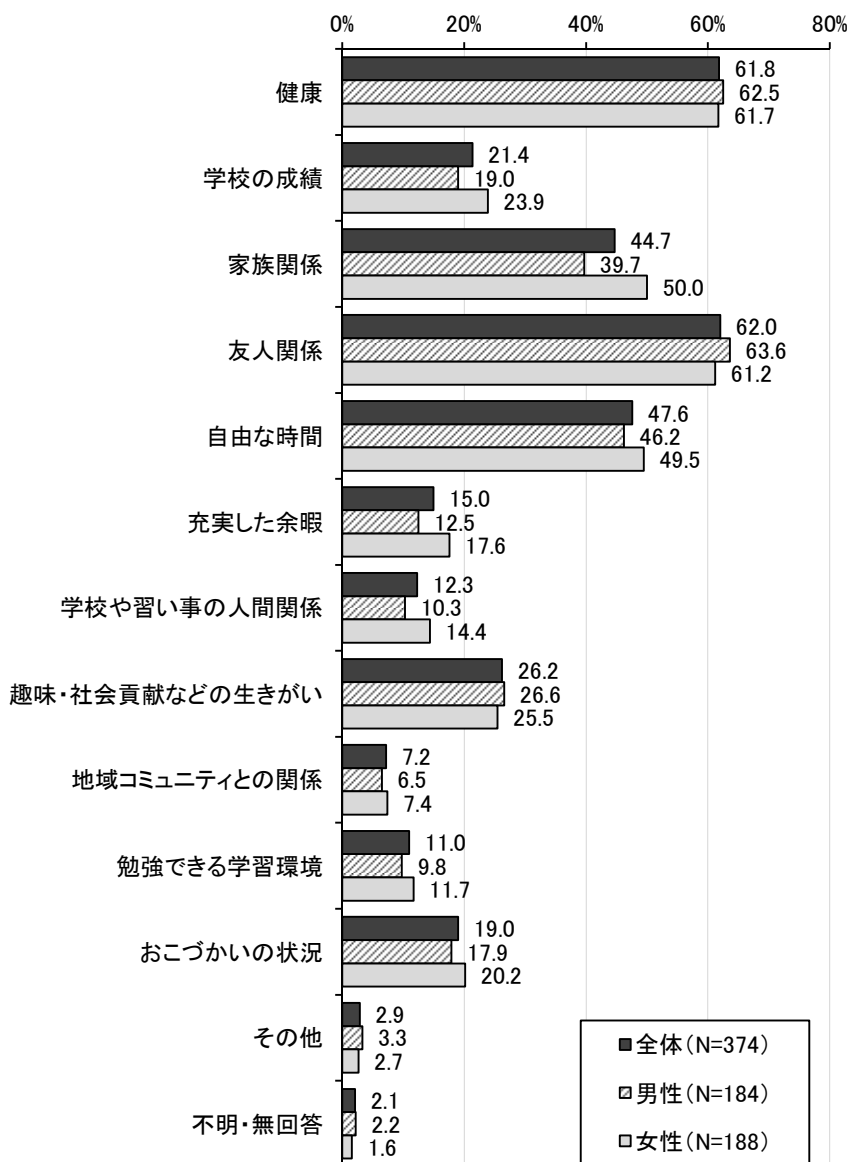
### (13) 幸せであるため重要だと思うことについて

#### 問 14 あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。(あてはまる主なものを3つまでに○)

あなたが幸せであるために重要だと思うことについて、全体では「友人関係」が 62.0%と最も高く、次いで「健康」が 61.8%、「自由な時間」が 47.6%となっています。

性別では、男性では「友人関係」が 63.6%、女性では「健康」が 61.7%とそれぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



# ■ 14 のクロス集計(性別・地区別)

| 【地区別】      | 健康   | 学校の成績 | 家族関係 | 友人関係 | 自由な時間 | 充実した余暇 | 学校や習い事の人間関係 | 趣味・社会貢献などの生きがい | 地域コミュニティとの関係 |
|------------|------|-------|------|------|-------|--------|-------------|----------------|--------------|
| 北勢町(N=108) | 63.0 | 17.6  | 39.8 | 65.7 | 50.0  | 13.9   | 10.2        | 31.5           | 11.1         |
| 員弁町(N=89)  | 51.7 | 20.2  | 47.2 | 61.8 | 57.3  | 11.2   | 15.7        | 23.6           | 2.2          |
| 大安町(N=129) | 66.7 | 27.1  | 49.6 | 63.6 | 40.3  | 15.5   | 13.2        | 21.7           | 7.8          |
| 藤原町(N=45)  | 66.7 | 17.8  | 40.0 | 53.3 | 44.4  | 24.4   | 8.9         | 28.9           | 4.4          |

| 【地区別】      | 勉強できる学習環境 | おこづかいの状況 | その他 | 不明・無回答 |
|------------|-----------|----------|-----|--------|
| 北勢町(N=108) | 5.6       | 22.2     | 2.8 | 1.9    |
| 員弁町(N=89)  | 19.1      | 21.3     | 2.2 | 1.1    |
| 大安町(N=129) | 10.9      | 17.1     | 2.3 | 3.1    |
| 藤原町(N=45)  | 6.7       | 13.3     | 6.7 | 0.0    |



## IV 事業所調査

---

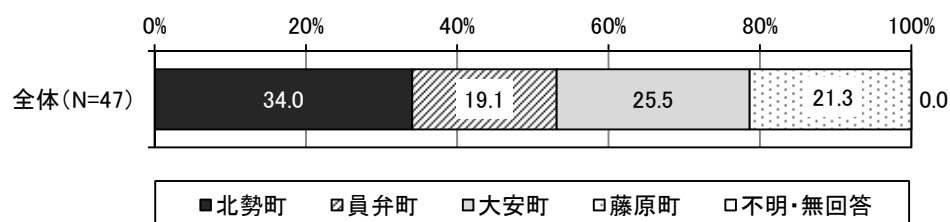
# 1 事業所について

## 1－（１）事業所について

### 問1 貴事業所の所在地はどちらですか。（○は1つ）

事業所の所在地は、「北勢町」が34.0%と最も高く、次いで「大安町」が25.5%、「藤原町」が21.3%、「員弁町」が19.1%となっています。

（単数回答）



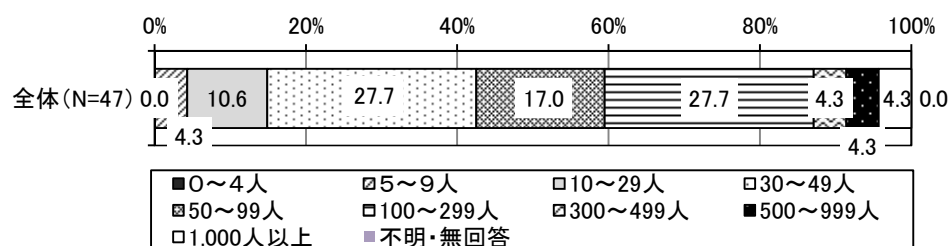
## 1－（２）従業員数について

### 問2 貴事業所の従業員数はどのくらいですか。（○は1つ）

事業所の従業員数は、「30～49 人」及び「100～299」が27.7%と最も高く、次いで「50～99 人」が17.0%、「10～29 人」が10.6%となっています。

前回調査と比べると「30～49 人」及び「100～299」の割合が高く、「0～4人」「5～9人」の割合が低くなっています。

（単数回答）



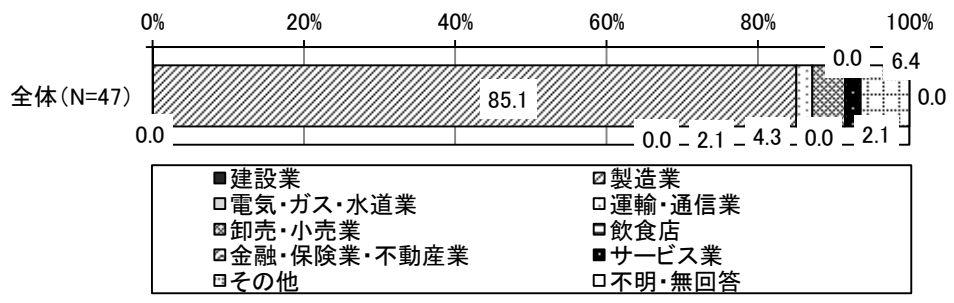
|             | 0～4人 | 5～9人 | 10～29人 | 30～49人 | 50～99人 | 100～299人 | 300～499人 | 500～999人 | 1,000人以上 | 不明・無回答 |
|-------------|------|------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 令和元年(N=47)  | 0.0  | 4.3  | 10.6   | 27.7   | 17.0   | 27.7     | 4.3      | 4.3      | 4.3      | 0.0    |
| 平成26年(N=19) | 57.9 | 26.3 | 5.3    | 5.3    | 0.0    | 5.3      | 0.0      | 0.0      | 0.0      | 0.0    |

1－（3）事業所の業種について

問3 貴事業所の業種は次のうちどれにあたりますか。（○は1つ）

事業所の業種は、「製造業」が85.1%と最も高くなっています。  
前回調査と比べると「製造業」が53.5ポイント高くなっています。

（単数回答）



|                | 建設業  | 製造業  | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸売・小売業 | 飲食店 | 金融・保険業・不動産業 | サービス業 | その他  | 不明・無回答 |
|----------------|------|------|-----------|--------|--------|-----|-------------|-------|------|--------|
| 令和元年 (N=47)    | 0.0  | 85.1 | 0.0       | 2.1    | 4.3    | 0.0 | 0.0         | 2.1   | 6.4  | 0.0    |
| 平成 26 年 (N=19) | 21.1 | 31.6 | 0         | 0      | 10.5   | 5.3 | 0           | 15.8  | 10.5 | 5.3    |

## 2 企業活動上の地域環境について

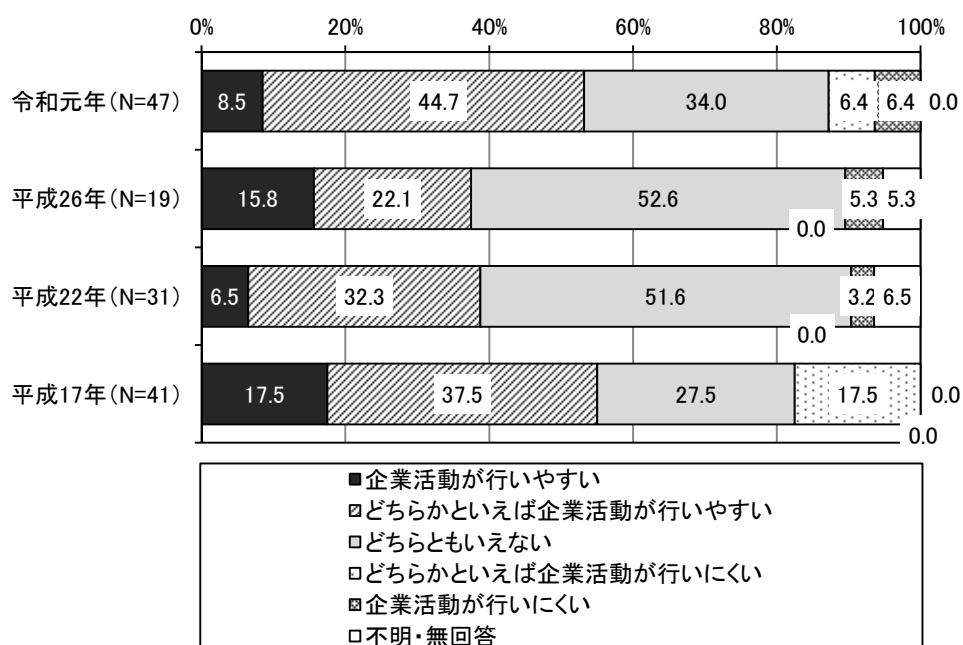
### 2－（１）企業活動について

#### 問4 貴事業所にとって、いなべ市は、全体として企業活動が行いやすい地域だと思いますか。（○は1つ）

企業活動が行いやすい地域かどうかは、令和元年度では、「どちらかといえば企業活動が行いやすい」が44.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が34.0%、「企業活動が行いやすい」が8.5%となっています。

経年比較では、「企業活動が行いやすい」「どちらかといえば企業活動が行いやすい」を合わせた割合が、平成26年の37.9%から令和元年では53.2%に上昇しています。

（単数回答）



## 2－（２）企業活動上でいなべ市の良い面について

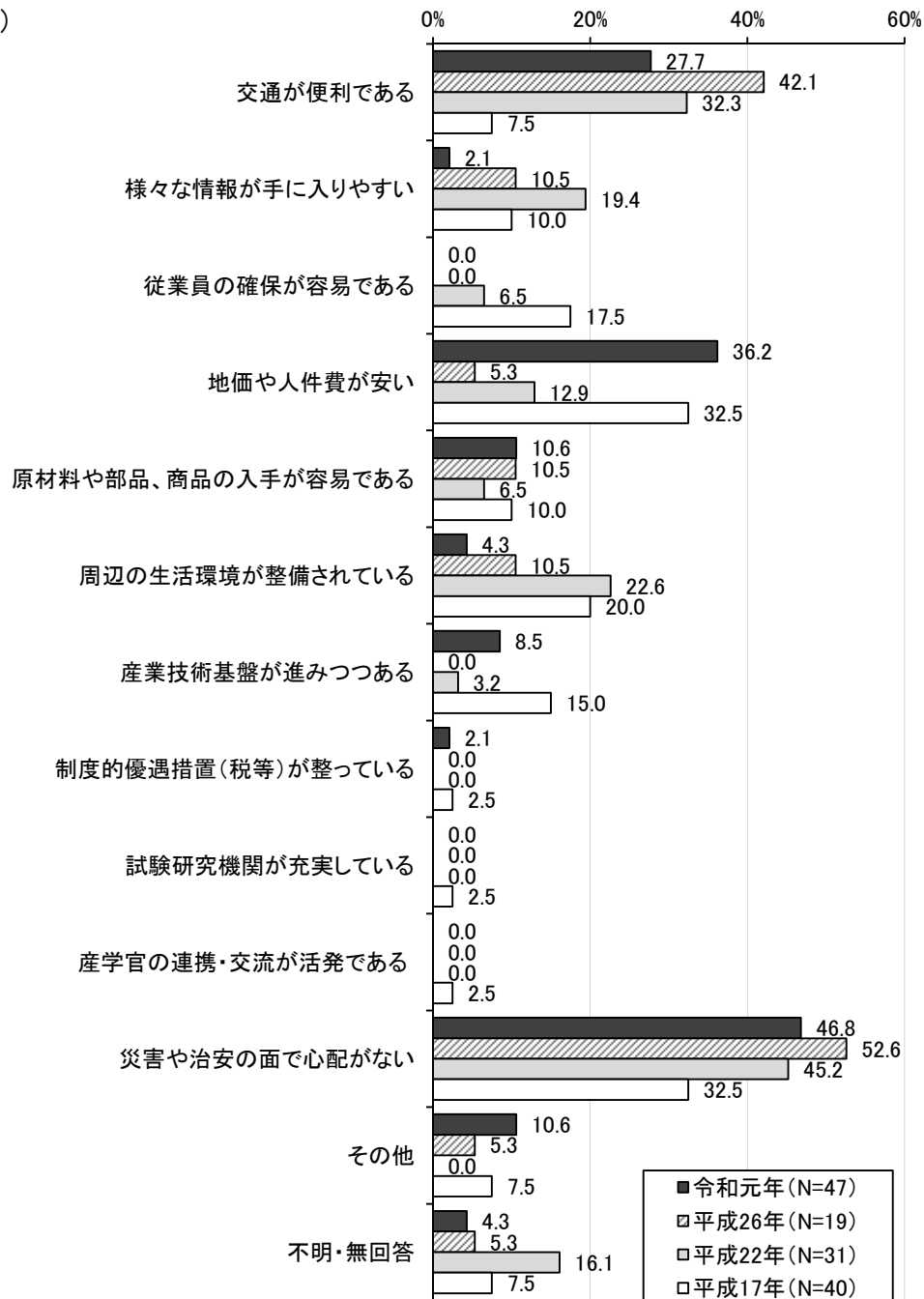
**問5** 貴事業所が企業活動を行うに当たって、いなべ市の良い面、悪い面はそれぞれ何ですか。（○は良い面、悪い面それぞれ2つまで）

企業活動を行うに当たって、いなべ市の良い面は、令和元年では、「災害や治安の面で心配がない」が46.8%と最も高く、次いで「地価や人件費が安い」が36.2%となっています。悪い面は、「従業員の確保が難しい」が72.3%と最も高く、次いで「交通が不便である」が48.9%となっています。

経年比較では、良い面は、「地価や人件費が安い」が、悪い面では、「従業員の確保が難しい」「交通が不便である」が平成26年と比べてそれぞれ増加しています。

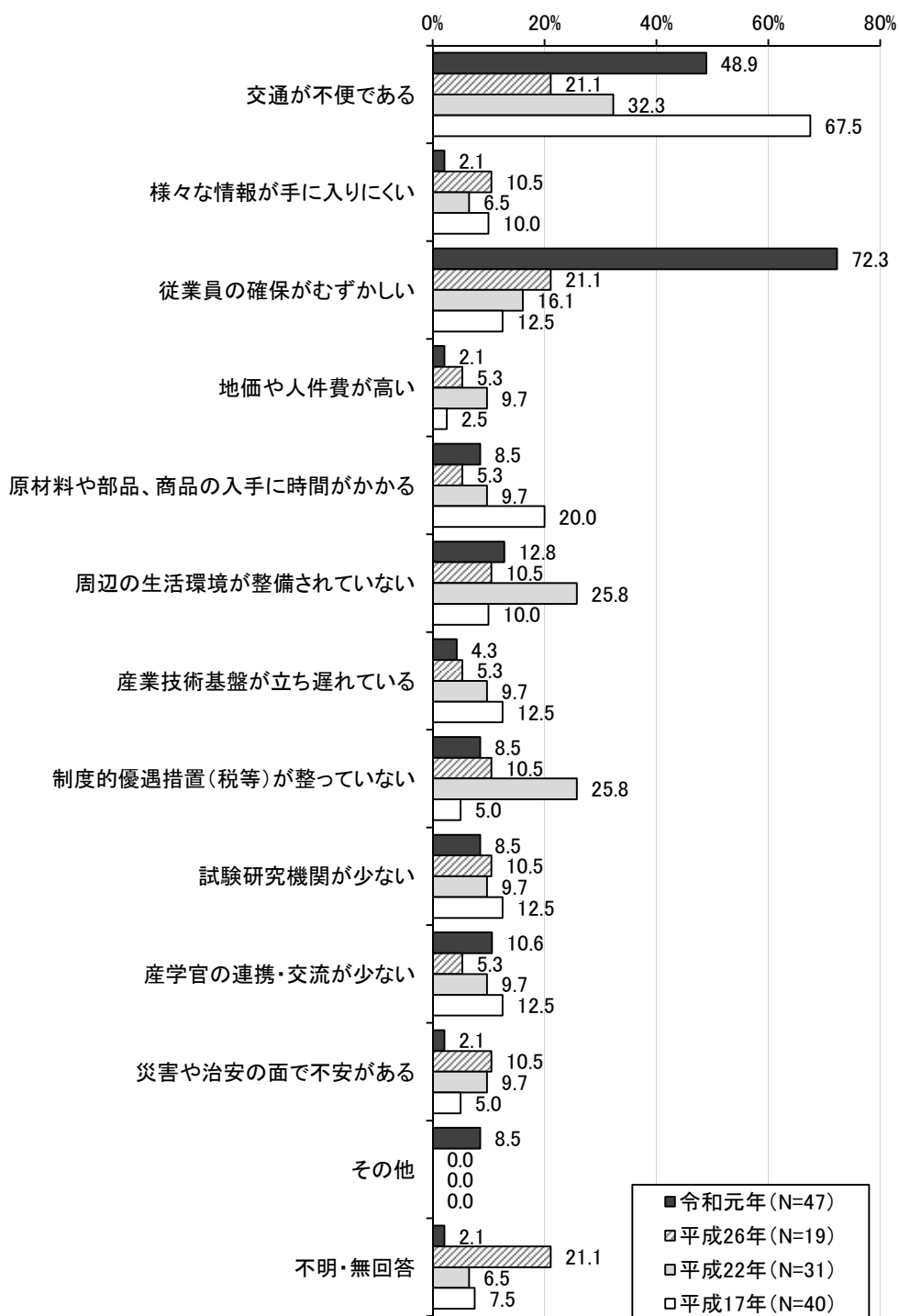
### 【良い面】

（複数回答）



## 【悪い面】

(複数回答)



### 3 今後の企業活動に必要なことについて

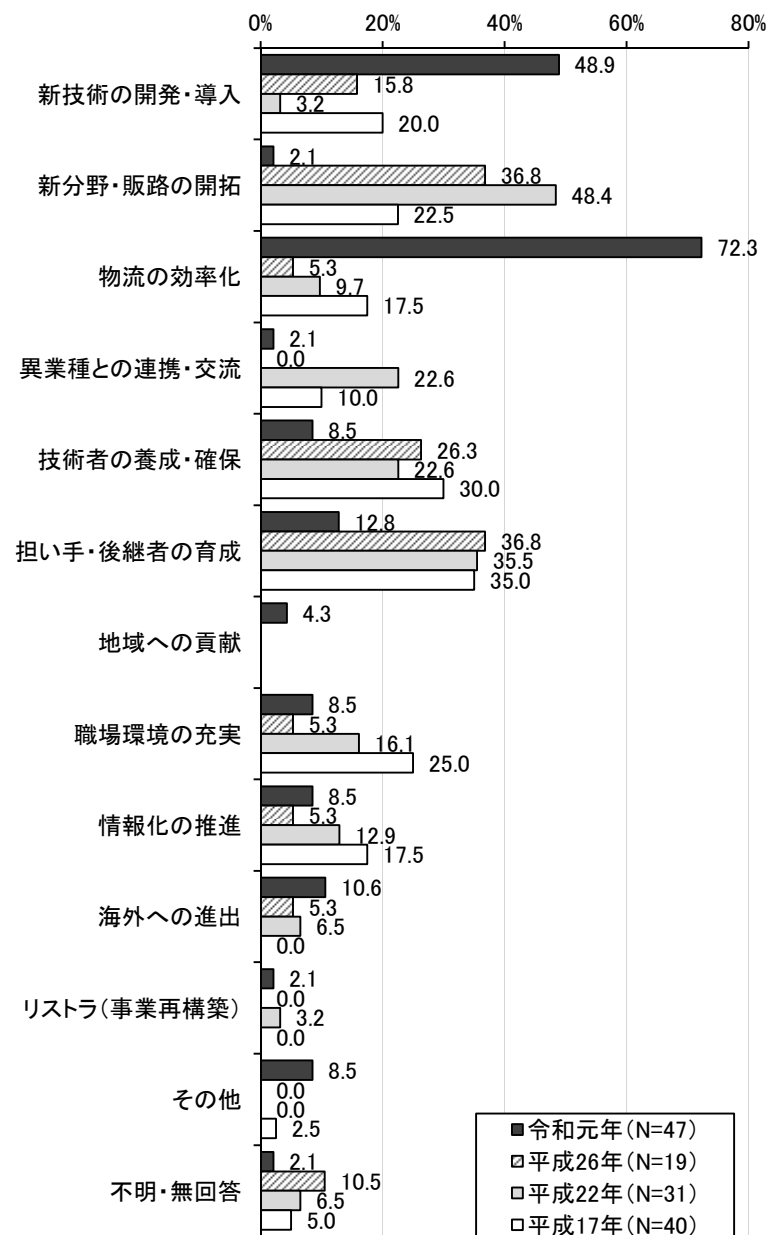
#### 3－（１）企業経営について

**問6** 貴事業所では、今後の企業経営を考えた場合、どのようなことに取り組む必要があると考えていますか。  
（〇は2つまで）

今後取り組むべきことについては、令和元年では、「物流の効率化」が72.3%と最も高く、次いで「新技術の開発・導入」が48.9%となっています。

経年比較では、「物流の効率化」「新技術の開発・導入」が平成26年から大きく増加しています。一方で、「新分野・販路の開拓」「担い手・後継者の育成」「技術者の養成・確保」は減少しています。

（複数回答）



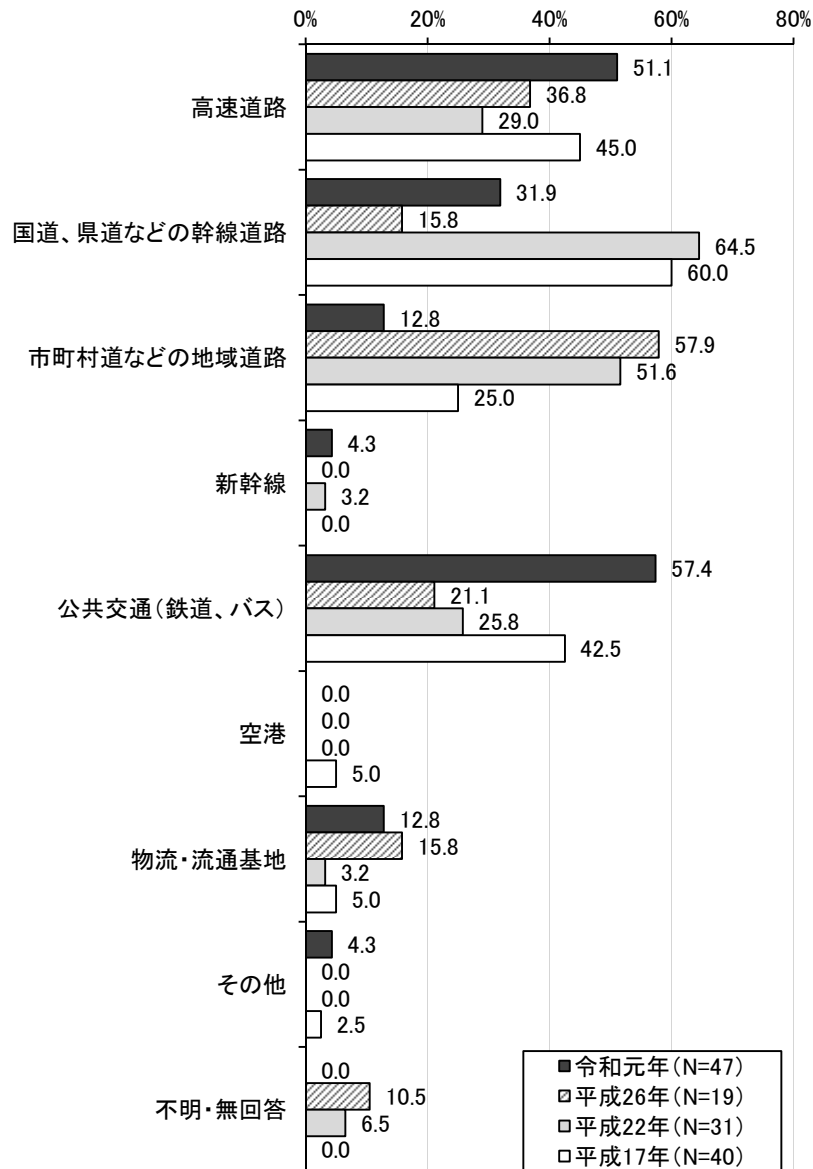
### 3－（２）必要な交通基盤の整備について

**問7** 企業活動を行っていく上で、今後、どのような交通基盤が整備されることが、特に必要だと思いますか。  
（〇は2つまで）

今後必要な交通基盤整備については、令和元年では、「公共交通（鉄道、バス）」が57.4%と最も高く、次いで「高速道路」が51.1%、「国道、県道などの幹線道路」が31.9%となっています。

経年比較では、「公共交通（鉄道、バス）」が平成26年から大きく増加し、「市町村道などの地域道路」が減少しています。

（複数回答）



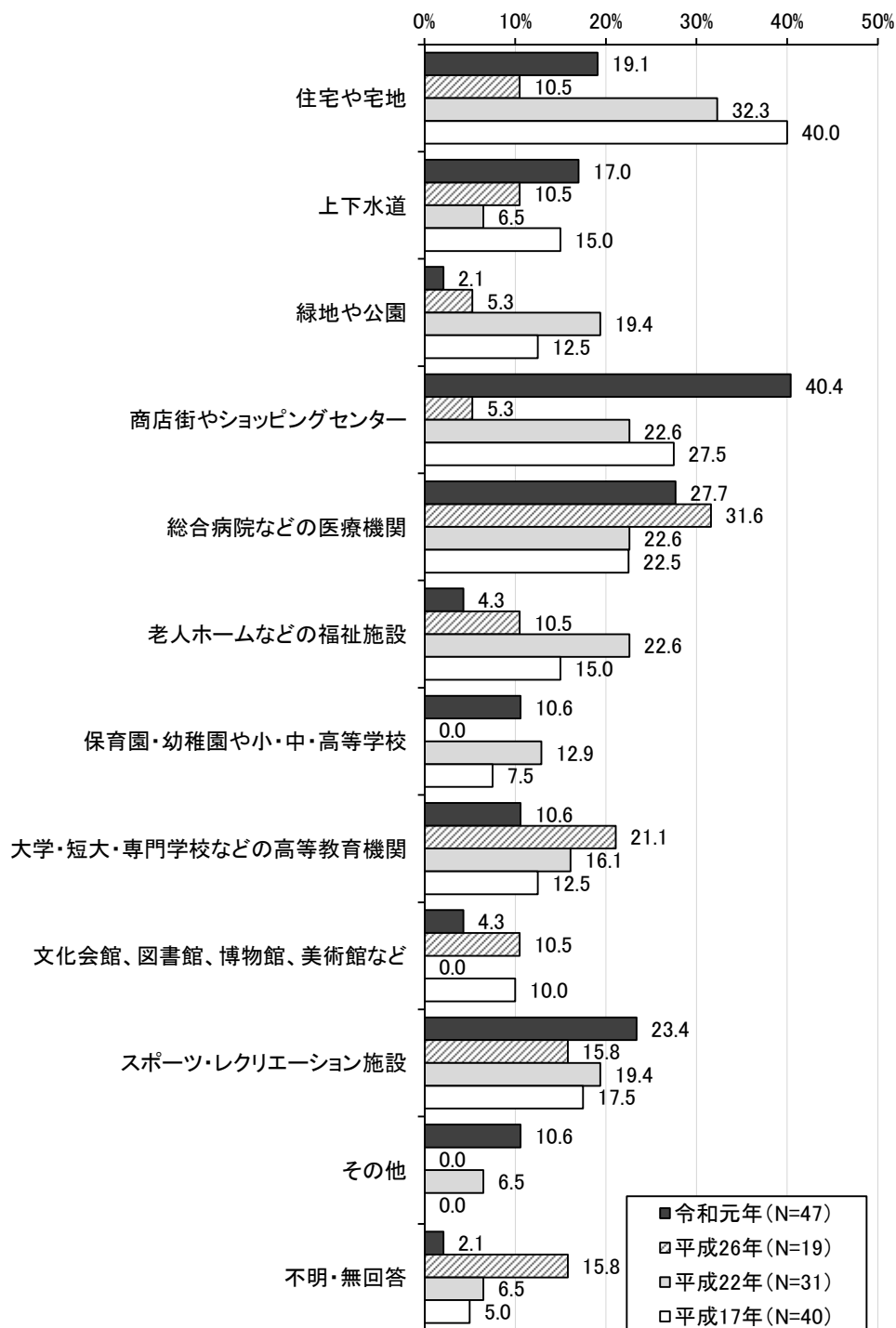
### 3－（3）事業所周辺に必要な整備について

**問8** 企業活動や従業員の日常生活の面から見て、どのような施設が事業所の周辺に整備されていることが、特に必要だと思いますか。（〇は2つまで）

事業所周辺に求められる整備については、令和元年では、「商店街やショッピングセンター」が40.4%と最も高く、次いで「総合病院などの医療機関」が27.7%、「スポーツ・レクリエーション施設」が23.4%となっています。

経年比較では、「商店街やショッピングセンター」「保育園・幼稚園や小・中・高等学校」「住宅や宅地」「スポーツ・レクリエーション施設」が増加し、「大学・短大・専門学校などの高等教育機関」が1割以上減少しています。

（複数回答）



## 4 環境問題への取り組みについて

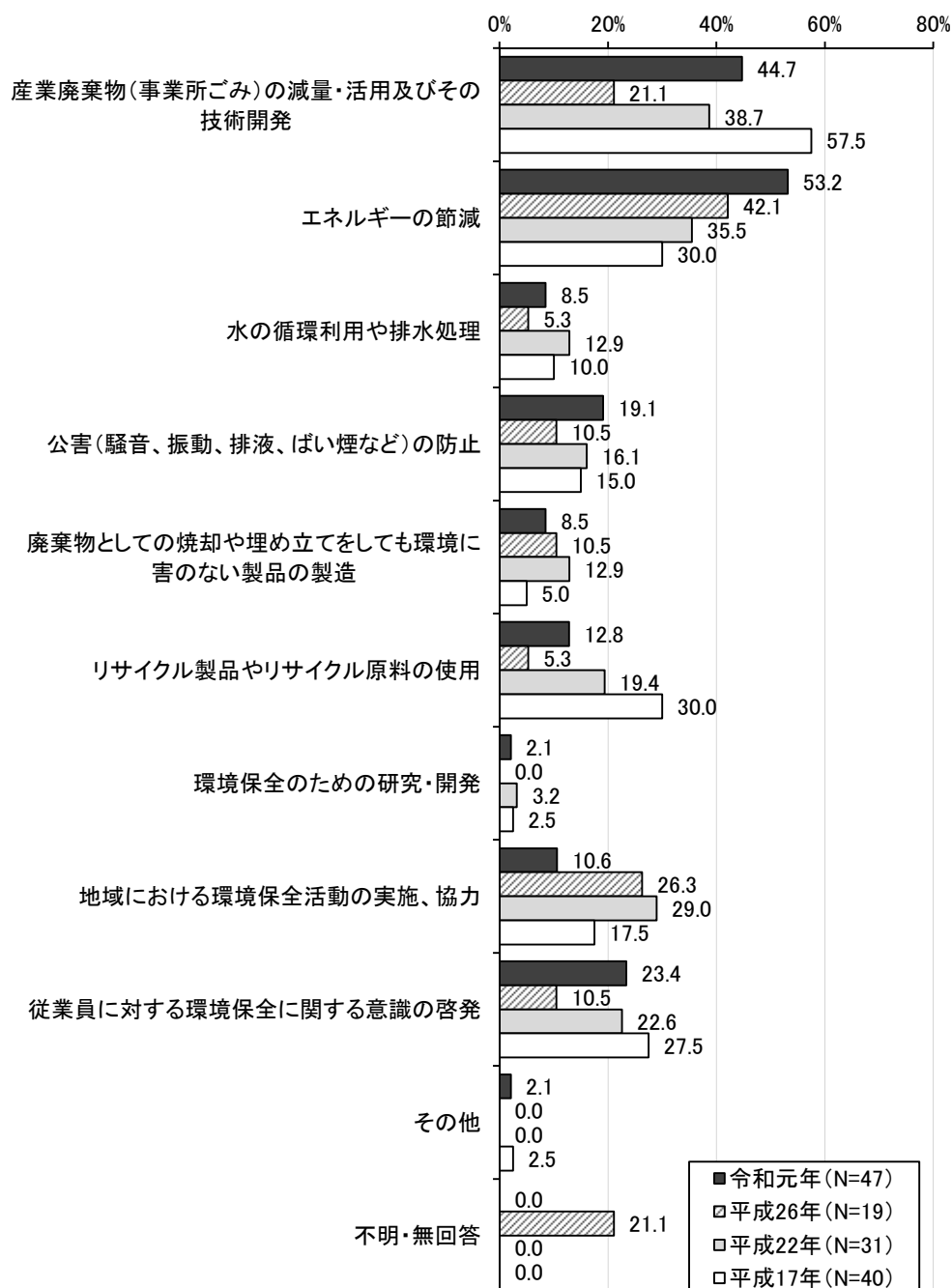
### 4－（１）環境問題への取り組みについて

**問9** 環境問題への取り組みが社会的な課題となっています。貴事業所として、取り組む必要のあるもの、あるいは貢献できるものは何だと思いますか。（〇は2つまで）

環境問題への取り組みについては、令和元年では、「エネルギーの節減」が53.2%と最も高く、次いで「産業廃棄物（事業所ごみ）の減量・活用及びその技術開発」が44.7%となっています。

経年比較では、「産業廃棄物（事業所ごみ）の減量・活用及びその技術開発」「エネルギーの節減」「従業員に対する環境保全に関する意識の啓発」が増加し、「地域における環境保全活動の実施、協力」が減少しています。

（複数回答）



## 5 誰もが働きやすい環境づくりについて

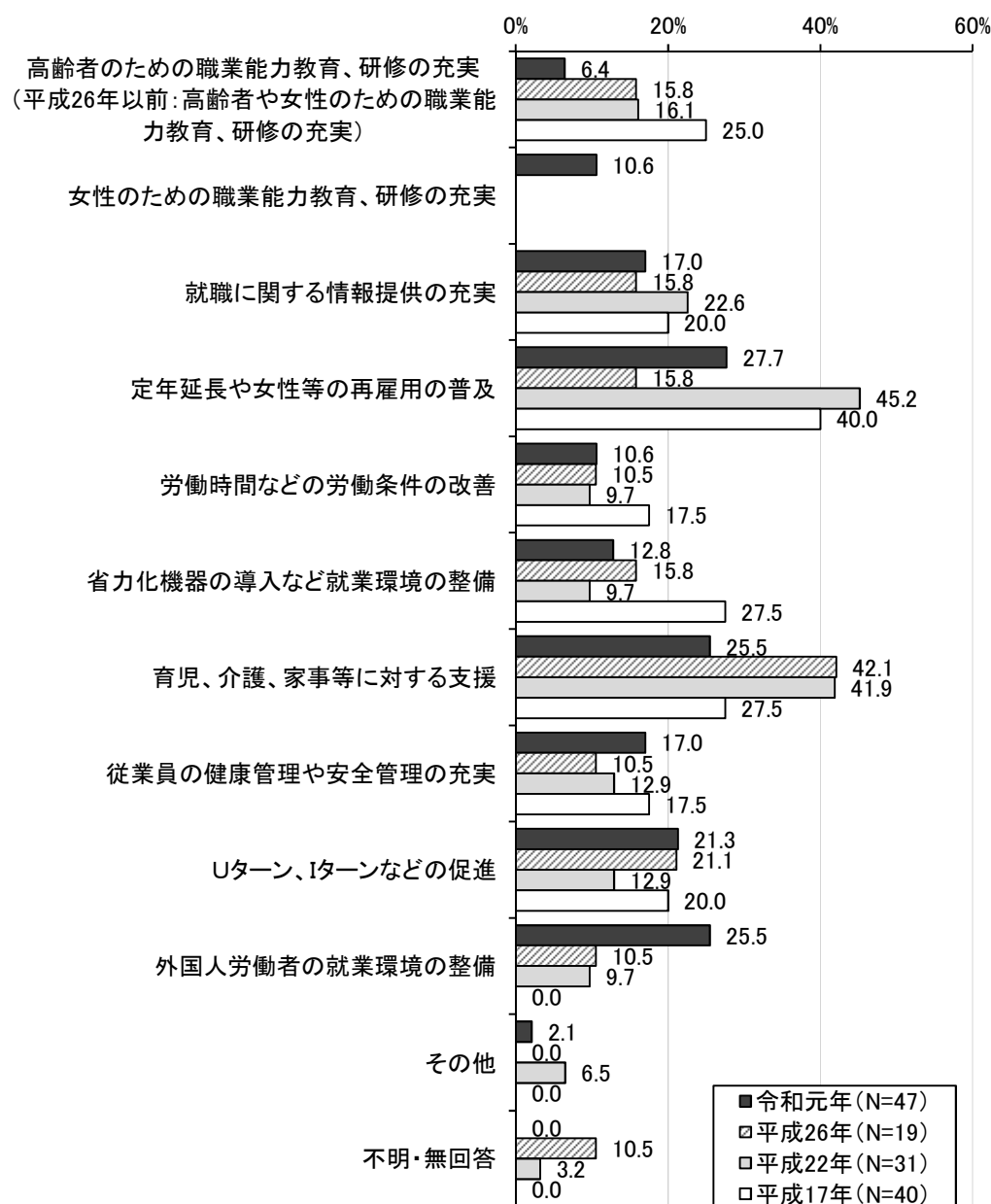
### 5－（１）少子・高齢化を踏まえた誰もが働きやすい環境づくりについて

**問 10** 人口の少子化や高齢化が進んでいます。このような中で、活力を失わない地域経済を構築し、誰もが働きやすい環境をつくっていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

誰もが働きやすい環境づくりについては、令和元年では、「定年延長や女性等の再雇用の普及」が27.7%と最も高く、次いで「育児、介護、家事等に対する支援」「外国人労働者の就業環境の整備」がそれぞれ25.5%、「Uターン、Iターンなどの促進」が21.3%となっています。

経年比較では、「外国人労働者の就業環境の整備」「定年延長や女性等の再雇用の普及」が増加し、「育児、介護、家事等に対する支援」が減少しています。

（複数回答）



## 6 情報化について

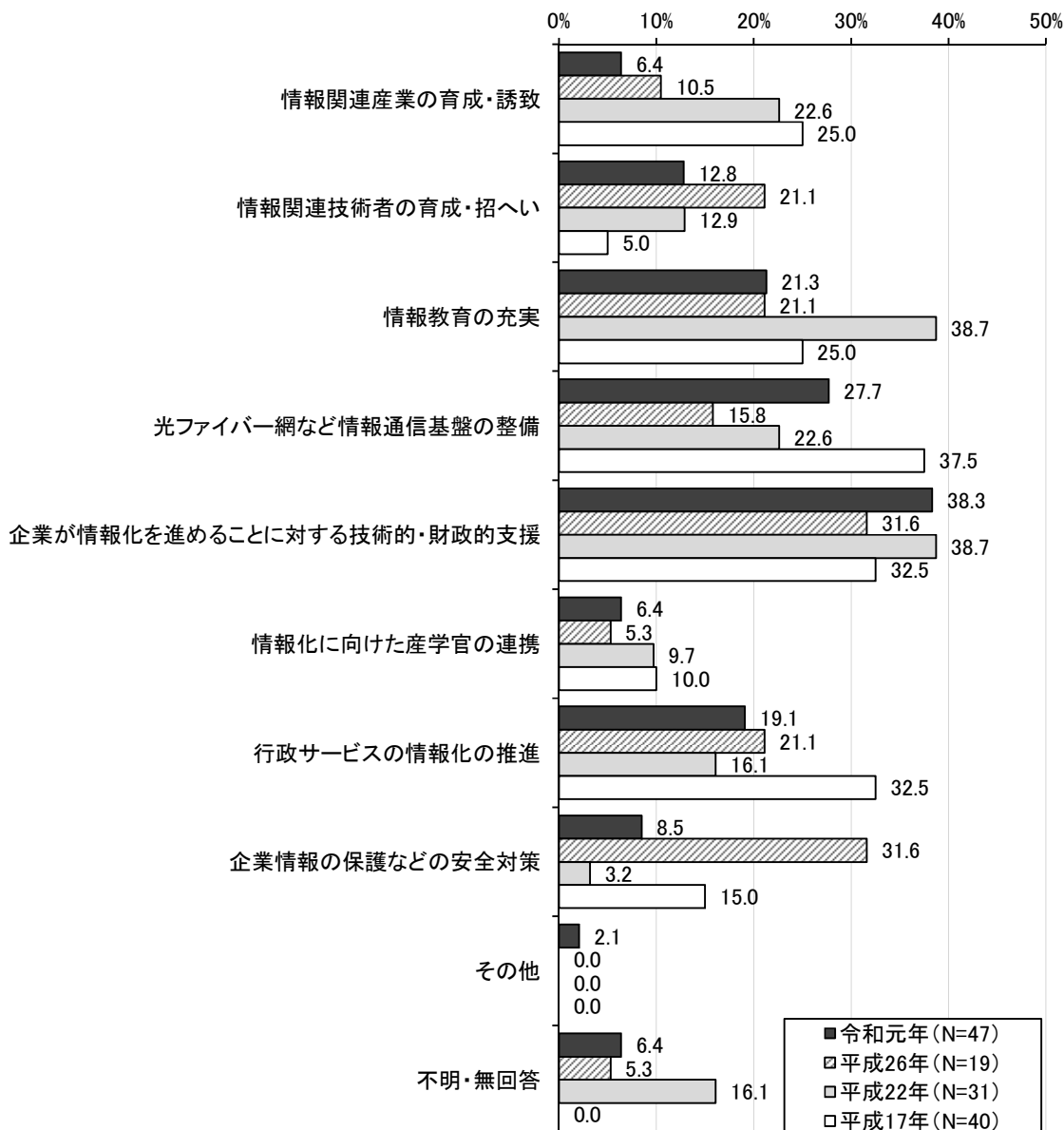
### 6－（１）企業活動や産業発展に役立つ情報化の方向性について

**問 11** 社会の様々な分野で、情報化が進んでいます。情報化を企業活動や産業の発展に役立てていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

情報化に当たって特に大切なことについては、令和元年では、「企業が情報化を進めることに対する技術的・財政的支援」が38.3%と最も高く、次いで「光ファイバー網など情報通信基盤の整備」が27.7%、「情報教育の充実」が21.3%となっています。

経年比較では、平成26年と比べて「光ファイバー網など情報通信基盤の整備」が増加し、「企業情報の保護などの安全対策」が減少しています。

（複数回答）



## 7 地域活動等について

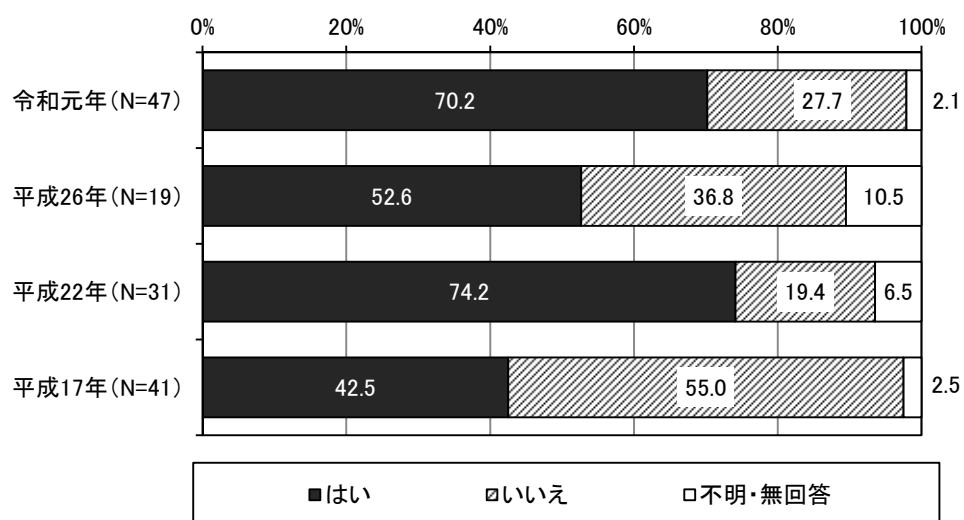
### 7－（１）地域活動等への取組み状況

**問 12** 貴事業所は地域活動等(ボランティア活動や地域の福祉活動、社会的活動)に取り組んでいますか。(○は1つ)

地域活動等に取り組んでいるかは、令和元年では「はい」が70.2%、「いいえ」が27.7%となっています。

経年比較では、「はい」が平成26年の約5割から令和元年では7割まで増加しています。

(単数回答)



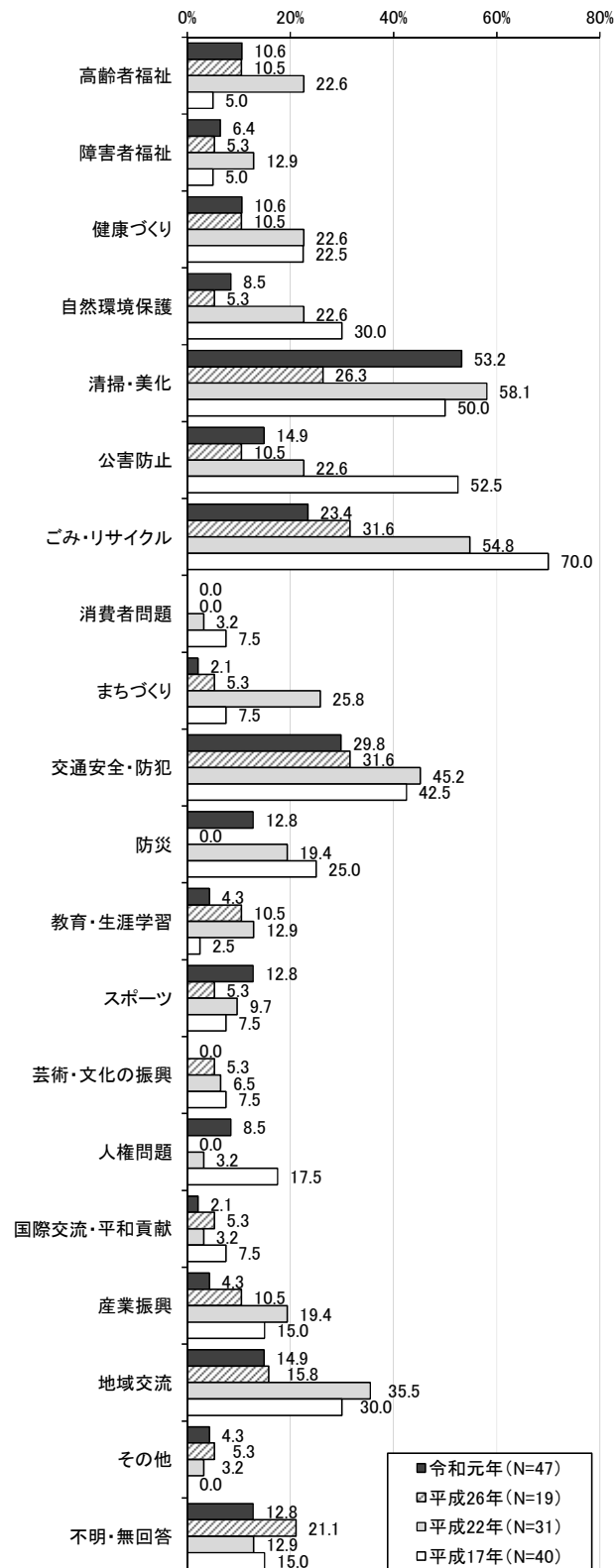
## 7-(2) 取組んでいる地域活動等について

**問 13** 貴事業所が取り組んでいる地域活動等は何ですか。(特に力を入れている活動を選んで、ご記入ください。なお、労働組合活動は除いてください。)(〇はいくつでも)

事業所が取り組んでいる地域活動については、令和元年では「清掃・美化」が 53.2%、次いで「交通安全・防犯」が 29.8%、「ごみ・リサイクル」が 23.4%となっています。

経年比較では、平成 26 年と比べると「清掃・美化」増加しています。1 割以上減少した項目はありません。

(複数回答)

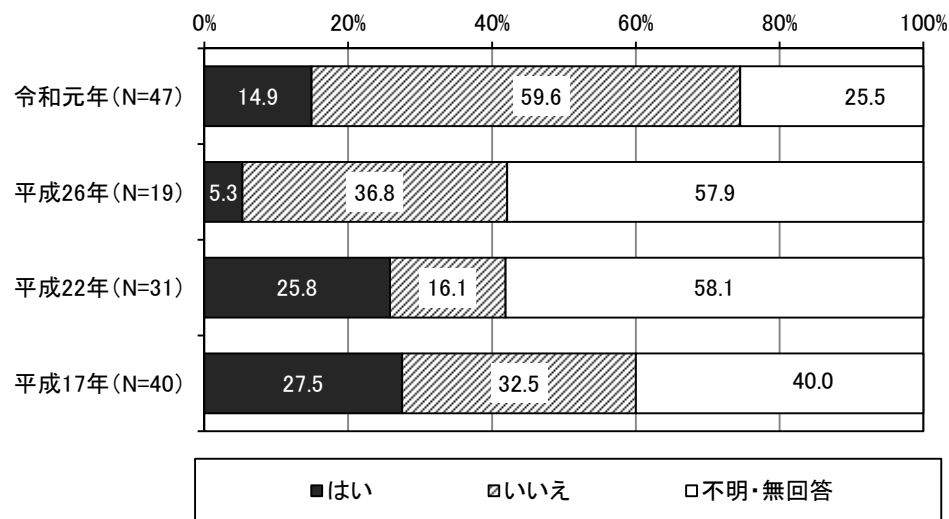


7－（３）事業所の福利厚生施設や人材の交流について

**問 14** 貴事業所が福利厚生施設（体育館、運動施設、集会施設等）をお持ちの場合、市民がその施設を利用すること、又は貴社の社員等が地域活動等を実施している場合、そのサークル・人材等と市民が連携することは可能ですか。（○は 1 つ）

事業所の福利厚生施設の市民利用や事業所のサークル・人材等と市民との交流・連携が可能かどうかは、令和元年では、「はい」が 14.9%、「いいえ」が 59.6%となっています。  
経年比較では、「はい」が約 1 割、「いいえ」が約 2 割、それぞれ増加しています。

（単数回答）



第2次いなべ市総合戦略・第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定のための  
まちづくり市民満足度調査  
報告書

令和元年10月  
いなべ市 企画部 政策課

(現)いなべ市第2次総合計画第1期基本計画(2016～2020)

| ◆共通目標                           |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 |                              | 1 市民が主役のまちづくり<br>2 いなべブランドの創造<br>3 定住・移住・交流の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ◆基本目標                           | (分野)                         | (施策)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 第1章<br>快適で豊かな<br>交流を生むま<br>ちづくり | 公共交通<br>道路                   | 1-1 公共交通の充実<br>1-2 快適な道路網の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 | 上下水道                         | 1-3 暮らしを支える上水道の充実<br>1-4 美しい水環境の創出                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | 都市計画、土地利用                    | 1-5 秩序ある土地利用の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 防災、防犯<br><br>環境、美化<br><br>住宅 | 2-1 安全で安心な危機管理対策の推進<br>2-2 交通事故のない安全なまちづくりの推進<br>2-3 安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進<br>2-4 環境にやさしいまちづくりの推進<br>2-5 みどり豊かなまちづくりの推進<br>2-6 良好な居住環境づくりの推進                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第2章<br>安全で自然と<br>調和した暮ら<br>しづくり | 教育                           | 3-1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成<br>3-2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進<br>3-3 教職員の資質の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                                 |                              | 3-4 青少年の夢を育む地域づくりの推進<br>3-5 生涯学習の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                                 |                              | 3-6 文化芸術活動の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                                 | 生涯学習                         | 3-7 総合的なスポーツの推進<br>3-8 自然環境の保全・充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                                 | 文化芸術                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | スポーツ                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 自然学習                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 地域福祉                         | 4-1 地域の助け合いによる福祉の充実<br>4-2 地域医療体制の充実<br>4-3 生涯を通じた健康づくりの推進<br>4-4 子どもと母親の健康の確保<br>4-5 保育サービスの充実<br>4-6 地域における子育て支援の充実<br>4-7 子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実<br>4-8 要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進<br>4-9 高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進<br>4-10 高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進<br>4-11 地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進<br>4-12 社会保障制度の健全で円滑な運用<br>4-13 適切な生活保護制度の推進<br>4-14 思いやりのある人権のまちづくりの推進<br>4-15 女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合うまちづくりの推進 |
| 第3章<br>健やかに育ち<br>個性が輝く人<br>づくり  | 健康医療                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 子育て                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 高齢者                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 障がい者                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 社会保障                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 人権                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第4章<br>生きがいと安<br>心の地域づく<br>り    | 男女共同参画                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 農林・畜産                        | 5-1 魅力ある農林業の振興<br>5-2 強い農業基盤の整備<br>5-3 企業立地による産業の振興<br>5-4 にぎわいのある商工業の振興<br>5-5 魅力ある観光地づくりの推進<br>5-6 良好な労働環境づくりの促進                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | 産業振興                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 観光                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 労働                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第5章<br>活弁な産業に<br>よる賑わいつ<br>くり   |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

※地方創生の国の方針に基づき、人口減少の抑制、関係人口の増加に特化した「いなべ市総合戦略を策定」

(現)いなべ市 総合戦略(2015～2019)

| 分野                                                 | プロジェクト名                                                                                                               |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (国の政策分野1)<br>地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする               | しごと創生プロジェクト【企業立地による産業の振興/にぎわいのある商工業の振興/女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合うまちづくりの推進/魅力ある農林業の振興】                                        |
| (国の政策分野2)<br>地方への新しい人の流れをつくる                       | であい創生プロジェクト【良好な居住環境づくりの推進/快適な道路網の充実/公共交通の充実/いなべブランドの創造/定住・移住・交流の促進/魅力ある観光地づくりの推進】                                     |
| (国の政策分野3)<br>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる                | みらい創生プロジェクト【子どもと母親の健康の確保/創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進/「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成/保育サービスの充実/地域における子育て支援の充実/子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実】 |
| (国の政策分野4)<br>時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する | くらし創生プロジェクト【高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進/地域医療体制の充実/安全で安心な危機管理対策の推進/安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進/地域の助け合いによる福祉の充実/市民が主役のまちづくり】     |

(新)いなべ市第2次総合計画第2期基本計画(2021～2026)

| ◆共通視点                           |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 |                              | 1 地方創生の推進<br>2 SDGsの推進<br>3 国土強靱化の推進<br>4 外部人材の活用<br>5 ダイバーシティの推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ◆基本目標                           | (分野)                         | (施策)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 第1章<br>快適で豊かな<br>交流を生むま<br>ちづくり | 公共交通<br>道路                   | 1-1 公共交通の充実<br>1-2 快適な道路網の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 | 上下水道                         | 1-3 暮らしを支える上水道の充実<br>1-4 美しい水環境の創出                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | 都市計画、土地利用                    | 1-5 秩序ある土地利用の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 防災、防犯<br><br>環境、美化<br><br>住宅 | 2-1 安全で安心な危機管理対策の推進<br>2-2 交通事故のない安全なまちづくりの推進<br>2-3 安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進<br>2-4 環境にやさしいまちづくりの推進<br>2-5 みどり豊かなまちづくりの推進<br>2-6 良好な居住環境づくりの推進                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第2章<br>安全で自然と<br>調和した暮ら<br>しづくり | 教育                           | 3-1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成<br>3-2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進<br>3-3 教職員の資質の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                                 |                              | 3-4 青少年の夢を育む地域づくりの推進<br>3-5 生涯学習の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                                 |                              | 3-6 文化芸術活動の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                                 | 生涯学習                         | 3-7 総合的なスポーツの推進<br>3-8 自然環境の保全・充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                                 | 文化芸術                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | スポーツ                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 自然学習                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 地域福祉                         | 4-1 地域の助け合いによる福祉の充実<br>4-2 地域医療体制の充実<br>4-3 生涯を通じた健康づくりの推進<br>4-4 子どもと母親の健康の確保<br>4-5 保育サービスの充実<br>4-6 地域における子育て支援の充実<br>4-7 子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実<br>4-8 要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進<br>4-9 高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進<br>4-10 高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進<br>4-11 地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進<br>4-12 社会保障制度の健全で円滑な運用<br>4-13 適切な生活保護制度の推進<br>4-14 思いやりのある人権のまちづくりの推進<br>4-15 女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合うまちづくりの推進 |
| 第3章<br>健やかに育ち<br>個性が輝く人<br>づくり  | 健康医療                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 子育て                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 高齢者                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 障がい者                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 社会保障                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 人権                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第4章<br>生きがいと安<br>心の地域づく<br>り    | 男女共同参画                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 農林・畜産                        | 5-1 魅力ある農林業の振興<br>5-2 強い農業基盤の整備<br>5-3 企業立地による産業の振興<br>5-4 にぎわいのある商工業の振興<br>5-5 魅力ある観光地づくりの推進<br>5-6 良好な労働環境づくりの促進                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | 産業振興                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 観光                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 労働                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第5章<br>活弁な産業に<br>よる賑わいつ<br>くり   |                              | 6-1 パートナーシップのまちづくりの推進<br>6-2 簡素で効率的な行政経営の実行<br>6-3 効果的で効率的な財政運営の実現                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第6章<br>計画の推進に<br>あたって           | 協働                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 行政経営                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                 | 財政運営                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

※黄色の網掛は新規項目

(新)いなべ市 第2次総合戦略(2020～2024)

| 分野                                                 | プロジェクト名                                                                                                               |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (国の政策分野1)<br>地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする               | しごと創生プロジェクト【企業立地による産業の振興/にぎわいのある商工業の振興/女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合うまちづくりの推進/魅力ある農林業の振興】                                        |
| (国の政策分野2)<br>地方への新しい人の流れをつくる                       | であい創生プロジェクト【良好な居住環境づくりの推進/快適な道路網の充実/公共交通の充実/いなべブランドの創造/定住・移住・交流の促進/魅力ある観光地づくりの推進】                                     |
| (国の政策分野3)<br>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる                | みらい創生プロジェクト【子どもと母親の健康の確保/創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進/「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成/保育サービスの充実/地域における子育て支援の充実/子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実】 |
| (国の政策分野4)<br>時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する | くらし創生プロジェクト【高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進/地域医療体制の充実/安全で安心な危機管理対策の推進/安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進/地域の助け合いによる福祉の充実/市民が主役のまちづくり】     |

黄色の箇所を追加・修正

体系の変更はなし